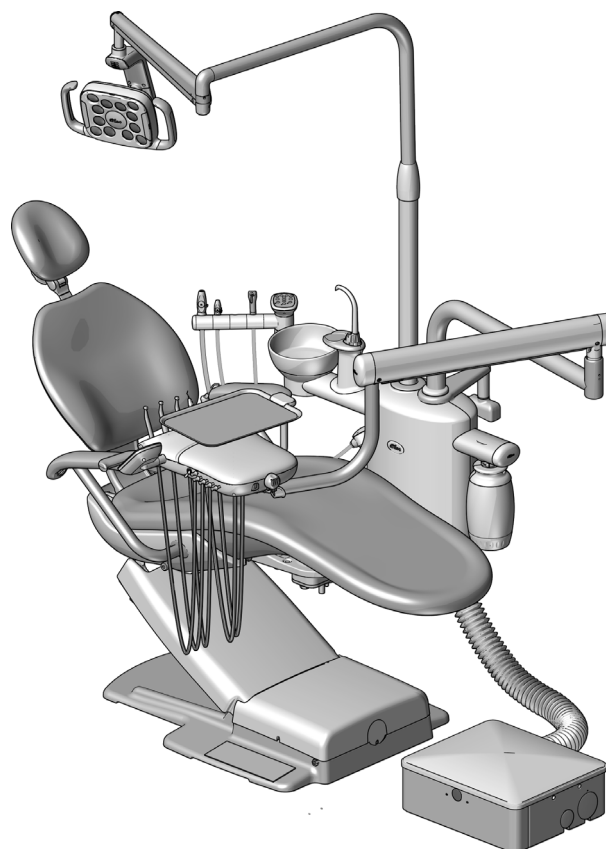


A-dec® 362 サポートセンター サービスガイド



目次

| | |
|--|----|
| 開始する前に..... | 2 |
| サポートセンターの取り付け.... | 4 |
| A-dec 352/353 歯科助手用器具の 取り付け..... | 11 |
| A-dec 334pro/335pro/334/335 デリバリーシステムの取り付け. | 18 |
| A-dec 歯科ライトの取り付け...28 | |
| モニターマウントの取り付け...28 | |
| スピットンの取り付け.....29 | |
| リモートフロアボックスの取り 付け..... | 31 |
| ユーティリティの配線..... | 32 |
| サポートセンターの配管..... | 43 |
| 電線とデータ回線の接続..... | 45 |
| フロアボックスユーティリティの 接続..... | 58 |
| システムの準備..... | 60 |
| システムの調整..... | 61 |
| システムの水平調整..... | 62 |
| タッチコントロール操作..... | 66 |
| システムのテスト..... | 68 |
| カバーの取り付け..... | 69 |
| 付録 A：エアバキュームシステム (AVS) の接続..... | 72 |
| 規制情報および保証..... | 76 |



A-dec 311 歯科用椅子に取り付けられた A-dec 362 サポートセンター

本書で取り扱う機種とバージョン

| 機種 | バージョン | 説明 |
|---|-------|-----------|
| 352/353 | A | 歯科助手用器具 |
| 334pro/335pro | なし | デリバリーシステム |
| 334/335 | B | デリバリーシステム |
| 511 | A/B | 歯科用椅子 |
| 411/Cascade®/Decade® Performer®/Priority | A | 歯科用椅子 |
| 311 | B | 歯科用椅子 |
| 362 | A | サポートセンター |

開始する前に



注 本書では、正しく安全に取り付けるために重要な情報をこの注のように背景色付きで示します。



確認 歯科用椅子を床に固定してから、本書の手順を実施してください。チェアが固定されていない場合は、チェアに付属のサービスガイドに記載されている固定手順を参照してください。



警告 感電の危険があります。カバーを外したり元に戻す際には、ワイヤーやチューブに損傷を与えないよう注意してください。また、カバーを再度取り付け後は、しっかりと固定されていることを確認してください。

A-dec 362 サポートセンターは、チェアのどちら側にも取り付けが可能です。ここでご紹介する手順は、右利きの医師用の設置方法です。

歯科用椅子が A-dec 362 サポートセンターに対応しているかどうかの確認



警告 A-dec 362 サポートセンターは、ポストマウントに対応する歯科用椅子の大半に取り付け可能です。チェアが A-dec 362 に対応しているかどうかを確認するには、以下のいずれかを行ってください。

- **A-dec チェア** - A-dec カスタマーサービスにお問い合わせください。
- **他メーカーのチェア** - そのチェアが以下の表に記載されている使用荷重に対応可能かどうか、メーカーにお問い合わせください。

システムの使用荷重を計算するには、システム構成に含まれる各モジュールの値を合計します。その結果としての重量とモーメントを、システムが支える必要があります。

| 機器モジュール | 重量 | モーメント |
|-------------------------------------|--------------------|-------------------------|
| A-dec 362 サポートセンターおよびウォーターボトル | 16.5 kg (36.3 ポンド) | なし |
| A-dec 334pro/335pro デリバリーシステムおよびトレイ | 22.1 kg (48.7 ポンド) | 293 N•m (215.7 フィートポンド) |
| A-dec 352/353 歯科助手用器具 | 8.5 kg (18.6 ポンド) | 103 N•m (75.7 フィートポンド) |
| A-dec 571/571L 歯科ライト | 9.6 kg (21.1 ポンド) | 63.5 N•m (46.8 フィートポンド) |
| A-dec 482 モニターマウントおよびモニター | 16.7 kg (36.7 ポンド) | 64.7 N•m (47.7 フィートポンド) |

たとえば、デリバリーシステムと歯科ライトを含むシステムの場合は、48.2 kg (106.1 ポンド) の重量と 356.5 N•m (262.5 フィートポンド) のモーメントを支える必要があります。

| 機器モジュール | 重量 | モーメント |
|-----------|---------------------|---------------------------|
| サポートセンター | 16.5 kg (36.3 ポンド) | なし |
| デリバリーシステム | 22.1 kg (48.7 ポンド) | 293 N•m (215.7 フィートポンド) |
| 歯科ライト | 9.6 kg (21.1 ポンド) | 63.5 N•m (46.8 フィートポンド) |
| 使用荷重 | 48.2 kg (106.1 ポンド) | 356.5 N•m (262.5 フィートポンド) |

推奨する工具

- 六角レンチセット
- 5/16 インチのビット付きトルクレンチ
- 3/8 インチのコンビネーション・レンチ
- 1/4 インチおよび 1/2 インチのコンビネーション・レンチ
- ワイヤーストリッパー
- 5/16 インチのソケットとラチェット
- 磁気水準器
- スリーブプッシャー
- 斜ニッパー
- プラスドライバー
- 標準ドライバー
- 電圧計

アダプターアームの取り付け



確認 これらの手順を開始する前に、ポストマウントシステム用のアダプターアームをチェアに取り付けます。取り付け方法の説明書は、A-dec アダプターアームに同梱されています。

設置手順

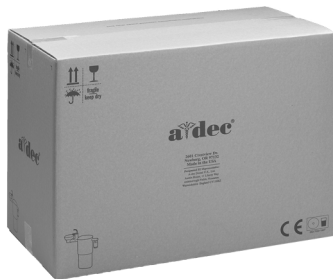
A-dec 362 サポートセンターの取り付けに関連するモジュールは、以下のとおりです。設置方法によっては、本書に記載されている一部のモジュールは必要ありません。

1. サポートセンターにどのモジュールを取り付けるかを確認してください。
2. モジュールの取り付け順序については、この設置手順を参照してください。



注 各モジュールの梱包箱には、当該モジュールの取り付けに必要なすべての部品が梱包されています。

1



サポートセンター

2



歯科助手用器具

3



デリバリーシステム

4



歯科ライト

サポートセンターの取り付け

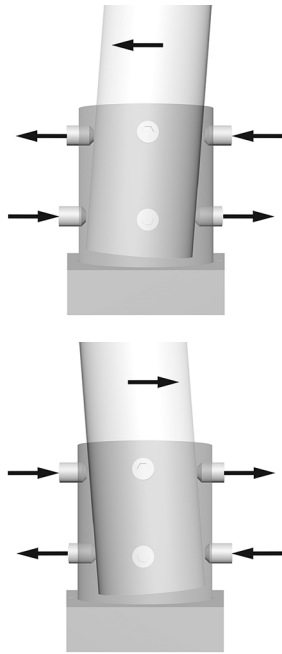
推奨する工具

- 1/8 インチ、5/32 インチ、3/16 インチ、5/16 インチの六角レンチ
- 5/16 インチのヘックスビット付きトルクレンチ
- 磁気水準器
- 斜ニッパー

手順 1.



- 1** サポートセンターポストをアダプターアームに設置します。
矩形の穴を、チェアを足側から見た場合の右側に向けます。

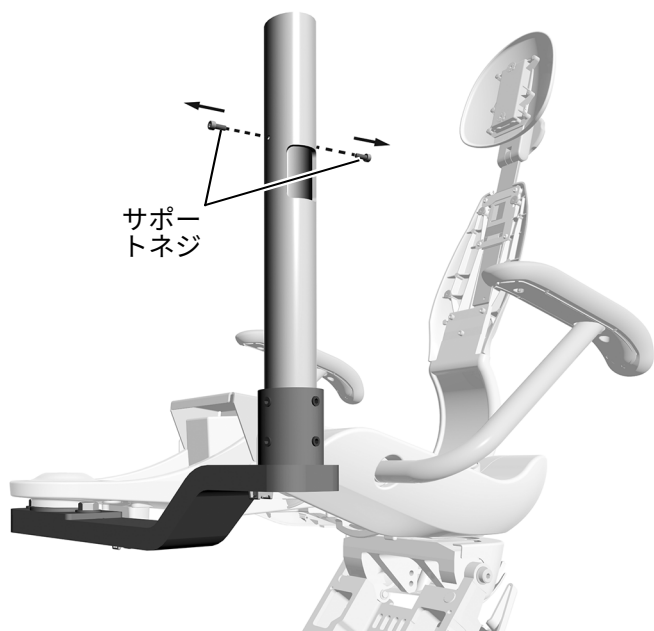
手順 2.

1. 支柱をマウント内部の中心に置きます。
2. 支柱に対して垂直に、レベリングスクリューのすぐ上に磁気水準器を置きます。
3. 六角レンチを使用して、マウント周囲のネジを締めます。支柱をできるだけマウントの中心に保ちます。
4. 傾きを変更するには、マウントの上下にあるレベリングスクリューを互いに反対方向に調整します。どのスクリューを締めたり緩めたりするかは、修正したい傾きの方向によって決まります。レベリングスクリューは、2本を1組として締めたり緩めたりします。
5. 水平になるまで、マウントの周囲にある8本すべてのレベリングスクリューを調整します。
6. システムが水平になったら、レベリングスクリューをしっかりと締め付けます。



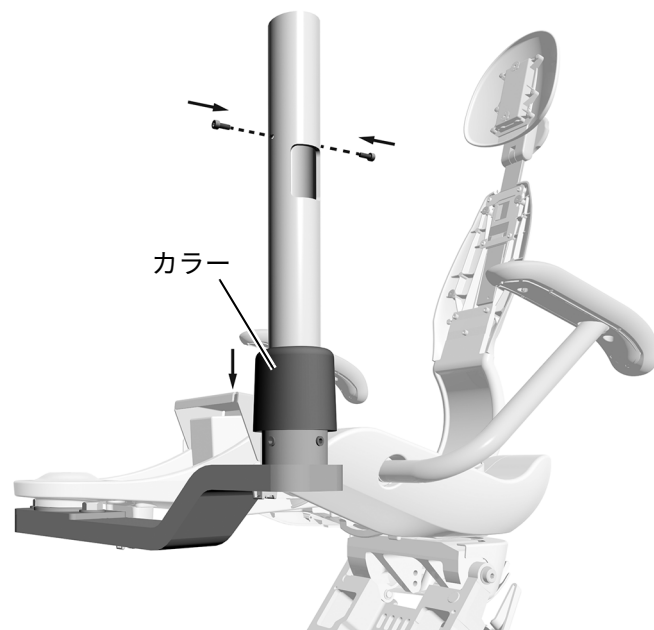
注 これが支柱の初期的なレベリングです。さらに、すべてのモジュールを取り付けた後、サポートセンターの最終レベリングを行う必要があります。

手順 3.

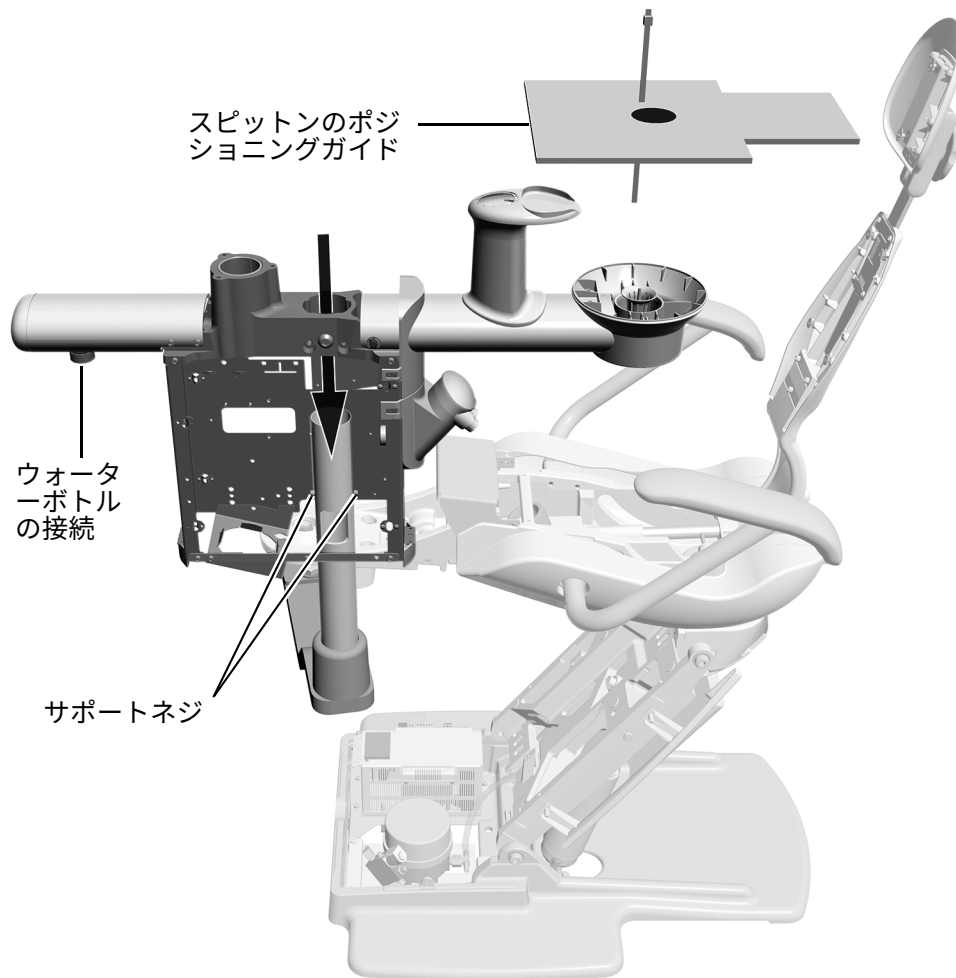


- 1** 六角レンチを使用して、2本のサポートネジを取り外します。

手順 4.



- 1** カラーをレベリングスクリューの上に被せます。
- 2** サポートネジを再度取り付けます。

手順 5.

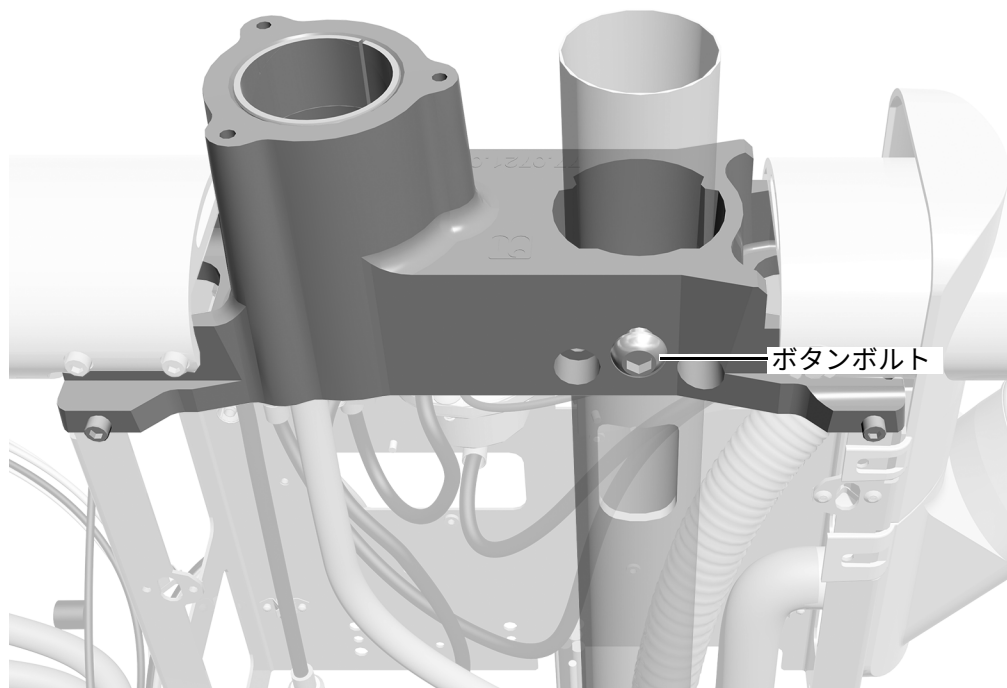
- 1** 腕にサポートセンターチュービングの束を巻き付け、サポートセンターを箱から持ち上げます。
- 2** サポートセンターからカバーを外します。
- 3** システムにスピットンが含まれる場合は、斜ニッパーを使用してケーブル留めを切断し、スピットンのポジショニングガイドとフォームプラグを取り外します。これらは、廃棄してください。
- 4** ウォーターボトル接続をチェアアの足側に向け、サポートセンターポストの上でサポートセンターを保持します。



注意 ワイヤーやチューブは、引っ掛かったり損傷したりするおそれがあるため、いずれもサポートセンターポストの上部に来ないように注意してください。

- 5** フレームがサポートネジに接触するまで、サポートセンターを支柱に沿って下ろします。

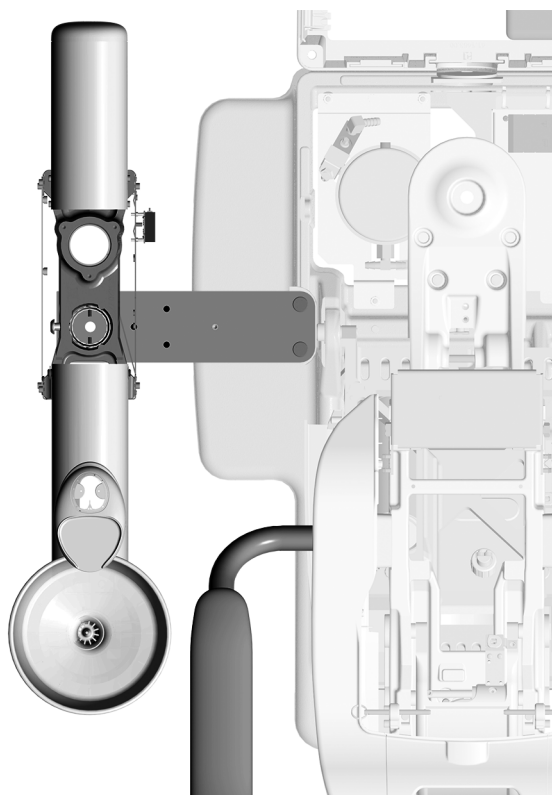
手順 6.



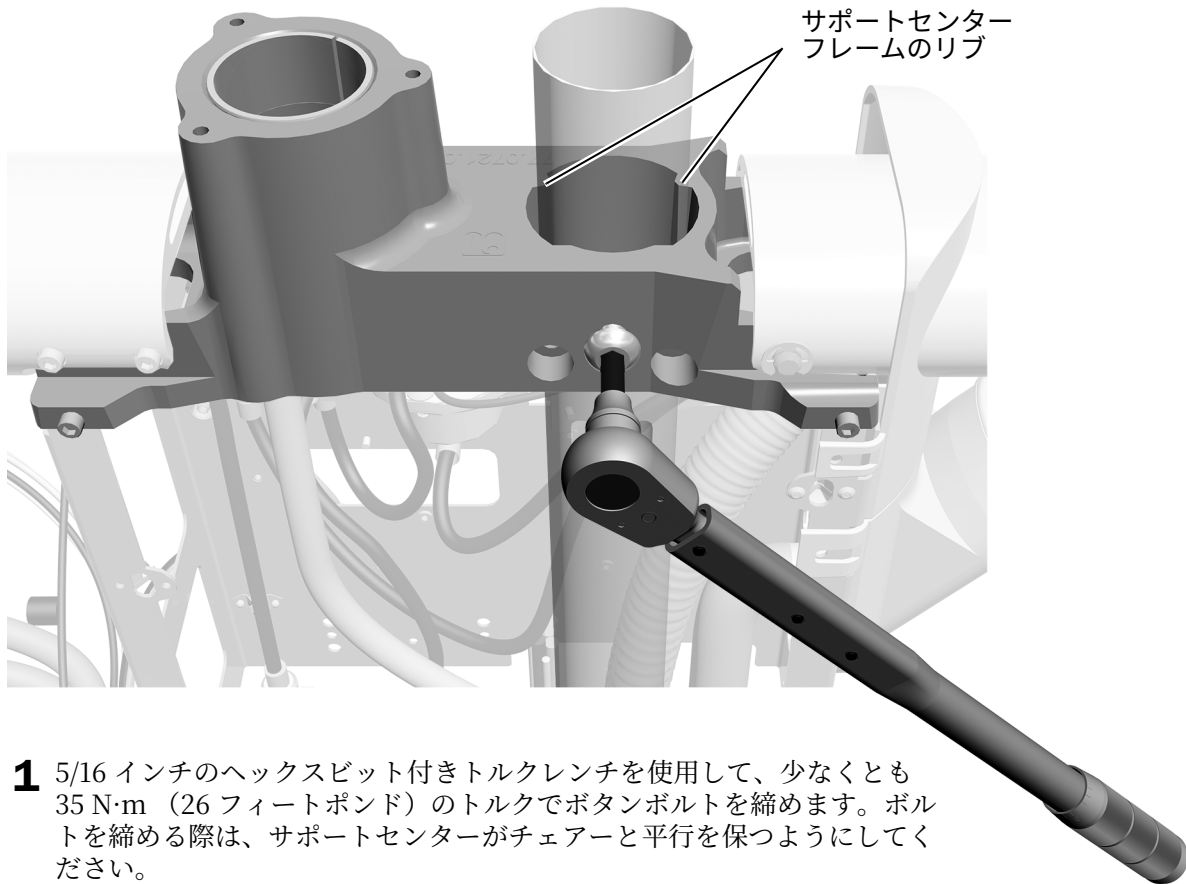
- 1 5/16 インチの六角レンチを使用してボタンボルトを締め、サポートセンターが手動で回転可能かつ自動的には回らない状態にします。

手順 7.

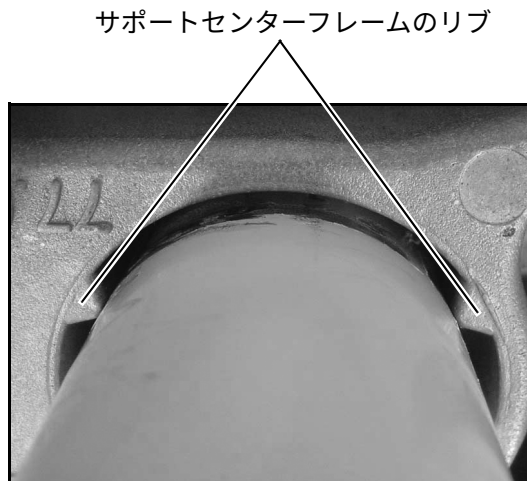
- 1 チェアと平行になるよう、サポートセンターを調整します。



手順 8.



- 1 5/16 インチのヘックスビット付きトルクレンチを使用して、少なくとも 35 N·m (26 フィートポンド) のトルクでボタンボルトを締めます。ボルトを締める際は、サポートセンターがチェアと平行を保つようにしてください。



- 2 サポートセンターのフレームのリブが支柱に対してしっかり差し込まれていることを確認します。必要に応じて、ボタンボルトをより大きなトルクで締めます。

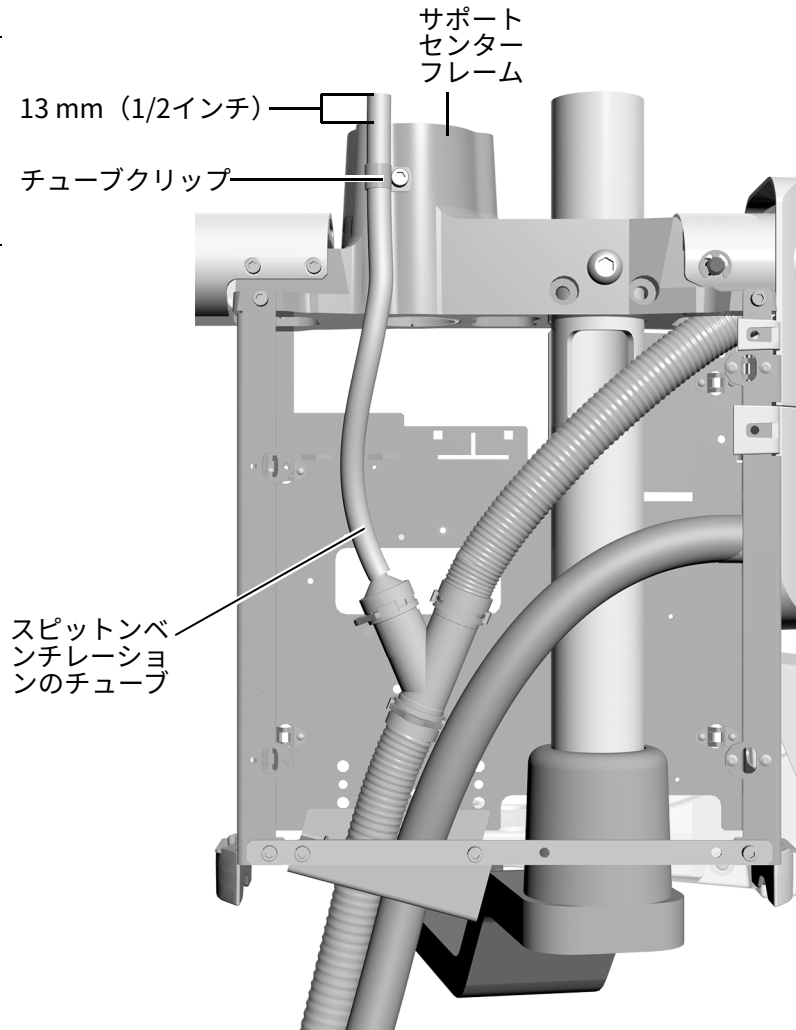
注 サポートセンターのフレームのリブ全体が完全に支柱に差し込まれている必要があります。差し込みが不完全な場合、取り付け作業後半のレベリングで問題が発生します。

手順 9.



注意 スピットンベンチレーションのチューブの終端がサポートセンターのフレームの 13 mm (1/2 インチ) 上に位置していることを確認します。これにより、スピットンが適切に排水されます。

- 1** スピットンベンチレーションのチューブの長さを調整する必要がある場合は、六角レンチを使用して、スピットンベンチレーションのチューブをサポートセンターに固定しているクリップを緩めます。
- 2** チューブの端がサポートセンターのフレームの 13 mm (1/2 インチ) 上に位置するようにチューブを引き上げます。
- 3** クリップを締めて、ベンチレーションのチューブを固定します。



A-dec 352/353 歯科助手用器具の取り付け

| | |
|---|----|
| 伸縮式アームに装着された A-dec 352 歯科助手用器具の取り付け | 11 |
| A-dec 353 スピットン装着型歯科助手用器具の取り付け | 15 |



A-dec 352伸縮式歯科助手用器具タッチパッド付き（オプション）



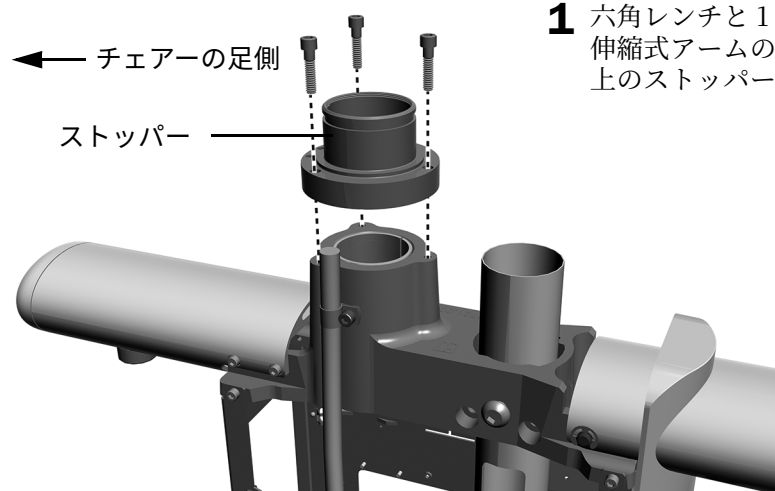
A-dec 353スピットン装着型歯科助手用器具タッチパッド付き（オプション）

伸縮式アームに装着された A-dec 352 歯科助手用器具の取り付け

推奨する工具

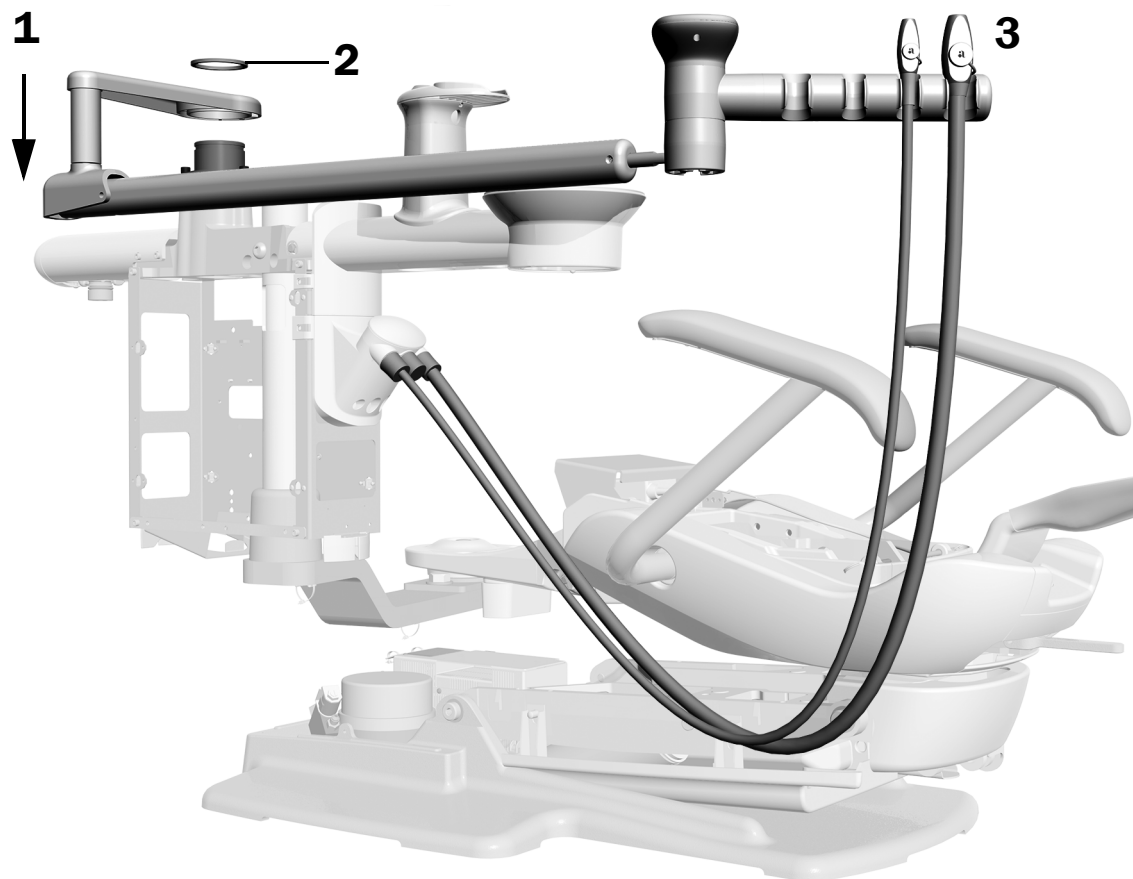
- 3/16 インチの六角レンチ
- 斜ニッパー

手順 1.



- 1** 六角レンチと1インチのソケットスクリュー 3本を使用して、伸縮式アームのハブをサポートセンターに取り付けます。ハブ上のストッパーがチェアの足側を向くようにします。

手順 2.



1. 歯科助手用アームをハブにセットします。
2. ウェーブワッシャーの端を押し下げ、ハブの突起部にセットします。ワッシャーが完全に押し下げられ、適切に取り付けられるまで、ハブ周りを合理的に調整します。
3. 高容量吸引装置（HVE）と排唾管をそれぞれのホルダーに配置してから、それぞれのチューブをバキュームキャニスターに取り付けます。



注 システムにエアバキュームシステム（AVS）が含まれている場合、HVE と排唾管は出荷時に取り付けられているため、取り外すことはできません。

手順 3.

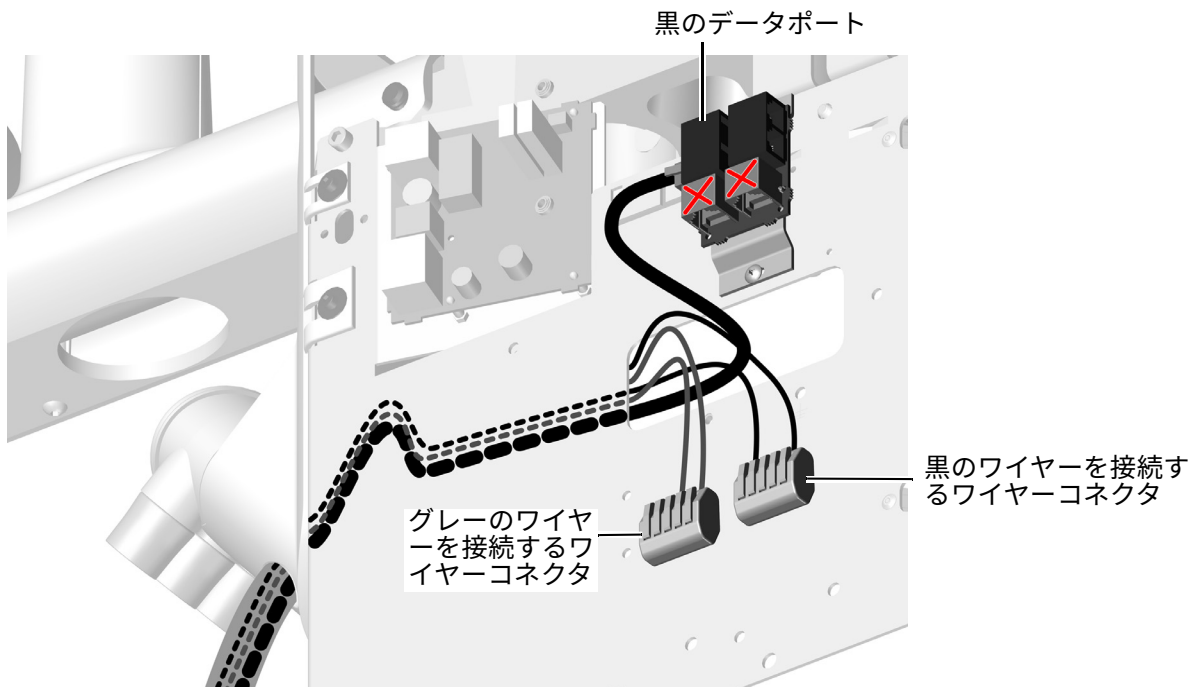
注記 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

- 1 システムにタッチパッドが含まれている場合は、タッチパッドのチューブをバキュームキャニスターの下から右の穴（最も大きな穴）に通します。
- 2 チューブ上にワッシャーを取り付けてから、チューブ内にブッシング（軸受筒）を差し込んで、タッチパッドのチューブの張力緩和を行います。



ヒント 張力緩和装置をセットする際は、他の器具のチューブの緩みに合わせ、十分な長さのチューブを残してください。

- 3 タッチパッドのデータ回線と電源ケーブルを、サポートセンターから矩形の穴を通してサポートセンターのフレームの外側に出します。

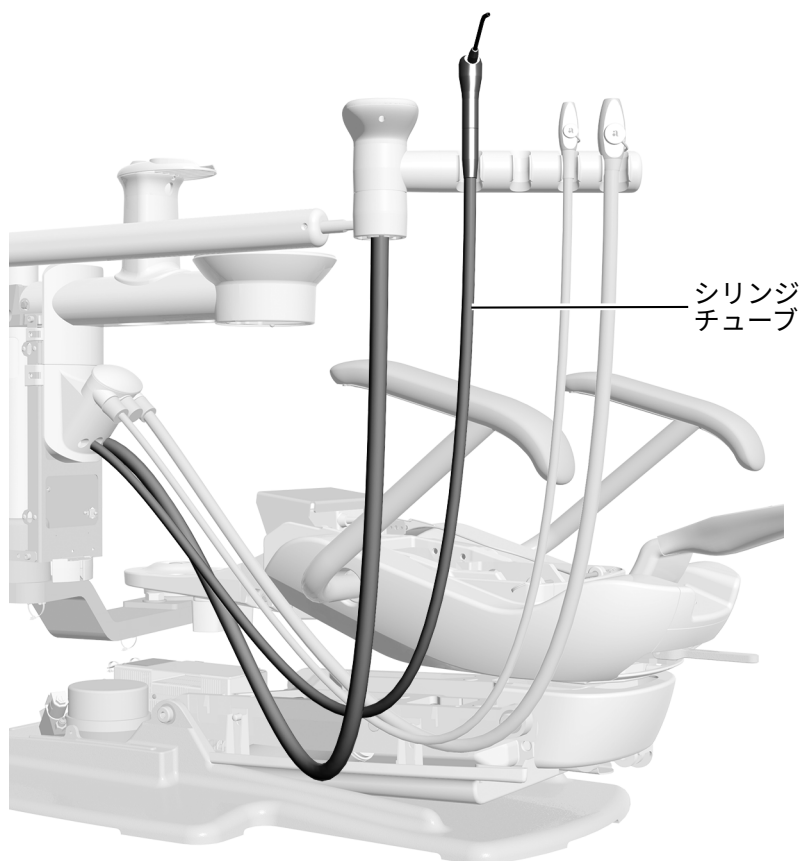


注意 黒の DCS1 データ回線をグレーの DCS2 ポートに差し込むと、製品が損傷することがあります。

- 4 データ回線を黒の DCS1 データポートに差し込みます。
- 5 各電源ワイヤーを、同色のワイヤーが接続されたワイヤーコネクタに取り付けます。

手順 4.

- 1 シリンジをホルダーに配置し、そのチューブをバキュームキャニスターの下にある中央の穴に通します。

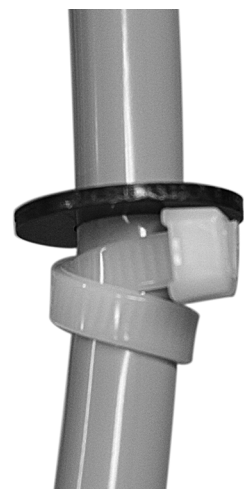


手順 5.

- 1 ケーブル留めと黒のワッシャーを使用して、シリンジチューブの張力緩和を行います。チューブをしっかりと支えるため、ケーブル留めを2周させます。



ヒント 張力緩和装置をセットする際は、他の器具のチューブの緩みに合わせ、十分な長さのチューブを残してください。



A-dec 353 スピットン装着型歯科助手用器具の取り付け

推奨する工具

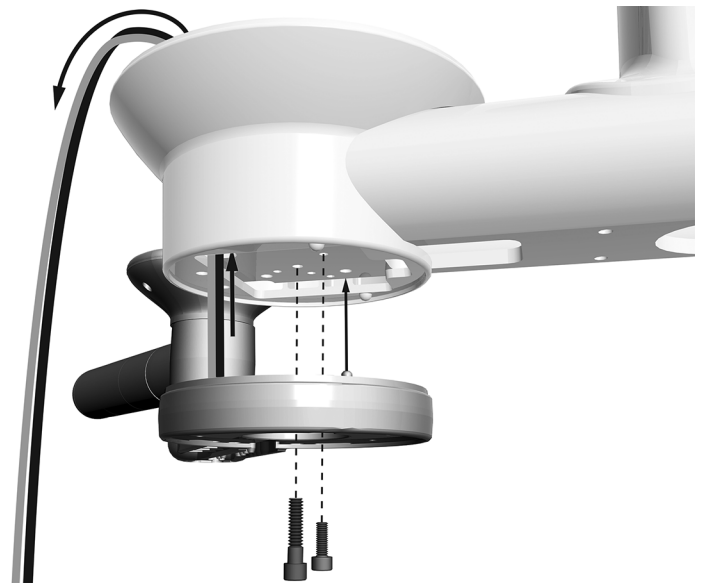
- 1/8 インチ、3/16 インチ、5/32 インチの六角レンチ
- 斜ニッパー

手順 1.

- 1 システムにエアバキュームシステム (AVS) が含まれている場合は、六角レンチを使用して、トグルスイッチアセンブリをスピットンボウルサポートの底部に接続している 2 本のネジを取り外します。

手順 2.

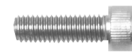
- 1 歯科助手用器具にタッチパッドが含まれている場合は、電源ケーブルとデータ回線を上のスピットンホルダーに通します。
- 2 歯科助手用器具をスピットンホルダーの下に配置し、支柱がスピットンボウルサポートの底部の穴に合うよう、チェアから離れる方向に回転させます。
- 3 歯科助手用器具をスピットンホルダーの底部に取り付けます。
 - 3/16 インチの六角レンチを使用して、中央のネジを取り付けます。
 - 5/32 インチの六角レンチを使用して、中心からずれ、周囲がくぼんだ大きい穴にネジを取り付けます。
- 4 手順 1 で AVS トグルスイッチアセンブリを取り外した場合は、ここで接続し直します。



ソケットスクリュー (実寸表示)



中央の穴用
(1/4-20 x 1インチ
のネジ)



周囲がくぼんだ穴用
(10-32 x 5/8インチ
のネジ)

手順 3.

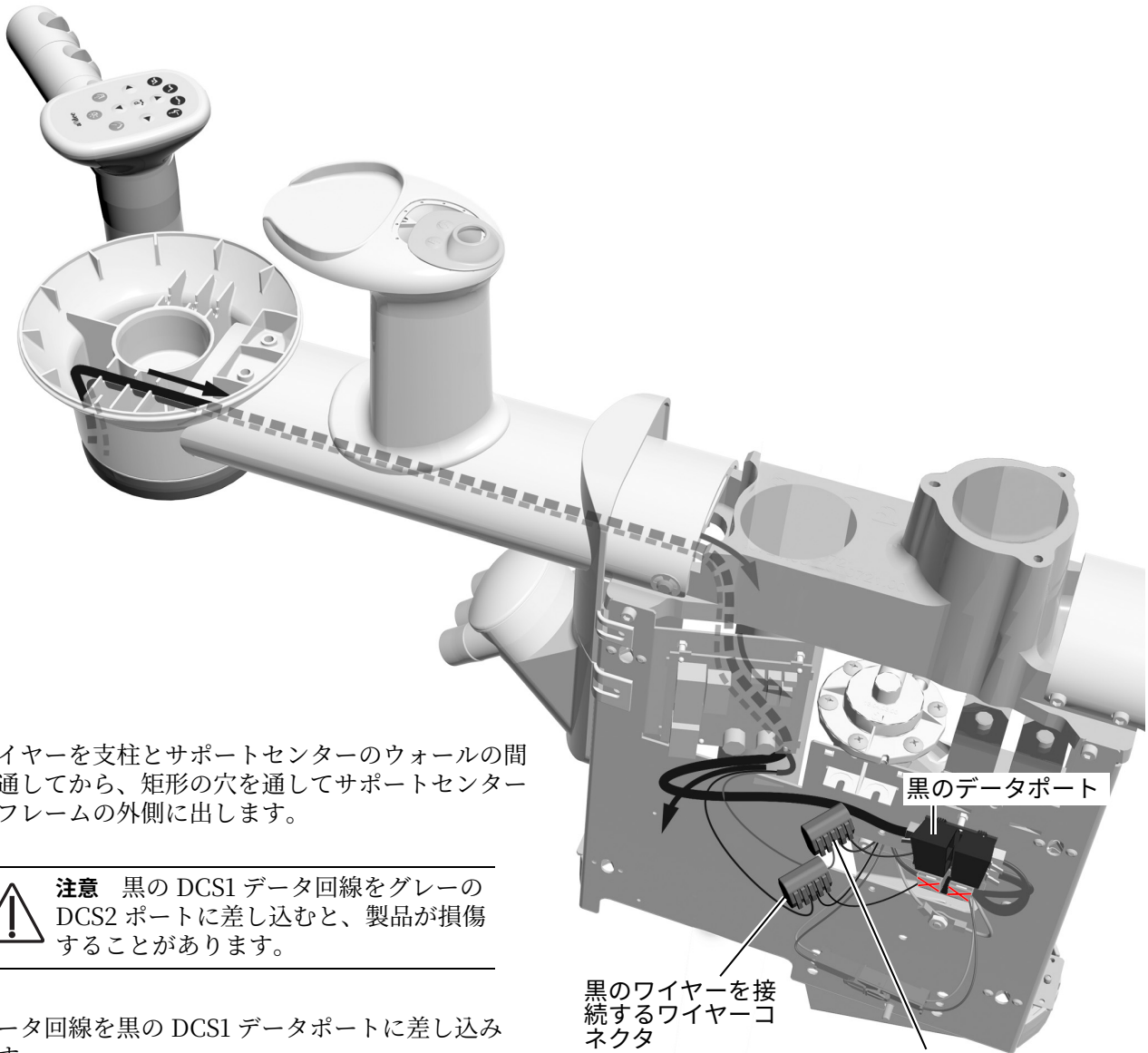
歯科助手用器具にタッチパッドが含まれる場合：

- 1 電源ケーブルとデータ回線を、スピットンアームを通してサポートセンターに配線します。



ヒント ケーブル留めをワイヤーの端に取り付け、スピットンアームに通します。

- 2 電源ケーブルとデータ回線をスピットンの溝に通します。



- 3 ワイヤーを支柱とサポートセンターのウォールの間を通してから、矩形の穴を通してサポートセンターのフレームの外側に出します。



注意 黒の DCS1 データ回線をグレーの DCS2 ポートに差し込むと、製品が損傷することがあります。

- 4 データ回線を黒の DCS1 データポートに差し込みます。
- 5 各電源ワイヤーを、同色のワイヤーが接続されたワイヤーコネクタに取り付けます。

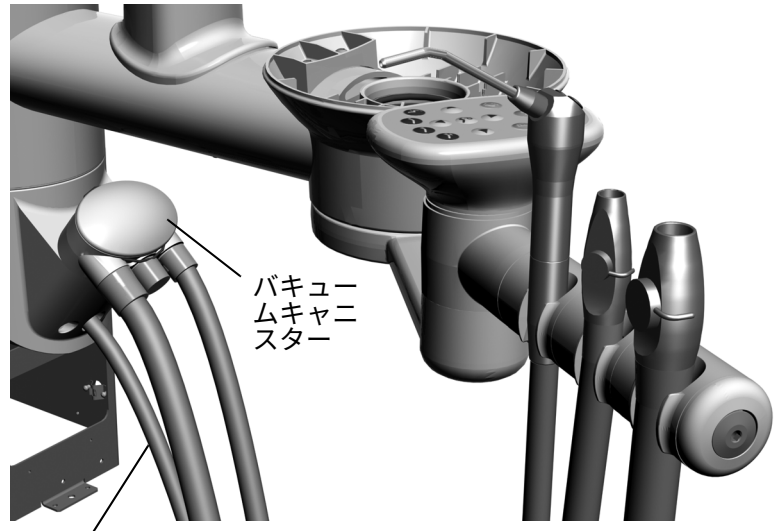
手順 4.

- 1 高容量吸引装置（HVE）と排唾管をそれぞれのホルダーに配置してから、それぞれのチューブをバキュームキャニスターに取り付けます。

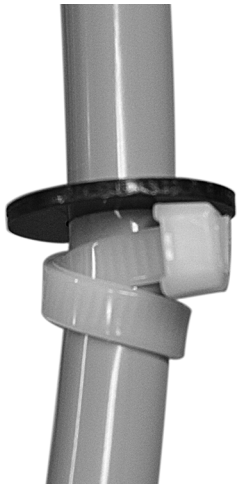


注 システムに AVS が含まれている場合、HVE と排唾管は出荷時に取り付けられているため、取り外すことはできません。

- 2 シリンジをホルダーに配置し、そのチューブをバキュームキャニスターの下にある中央の穴に通します。



シリンジチューブ

手順 5.

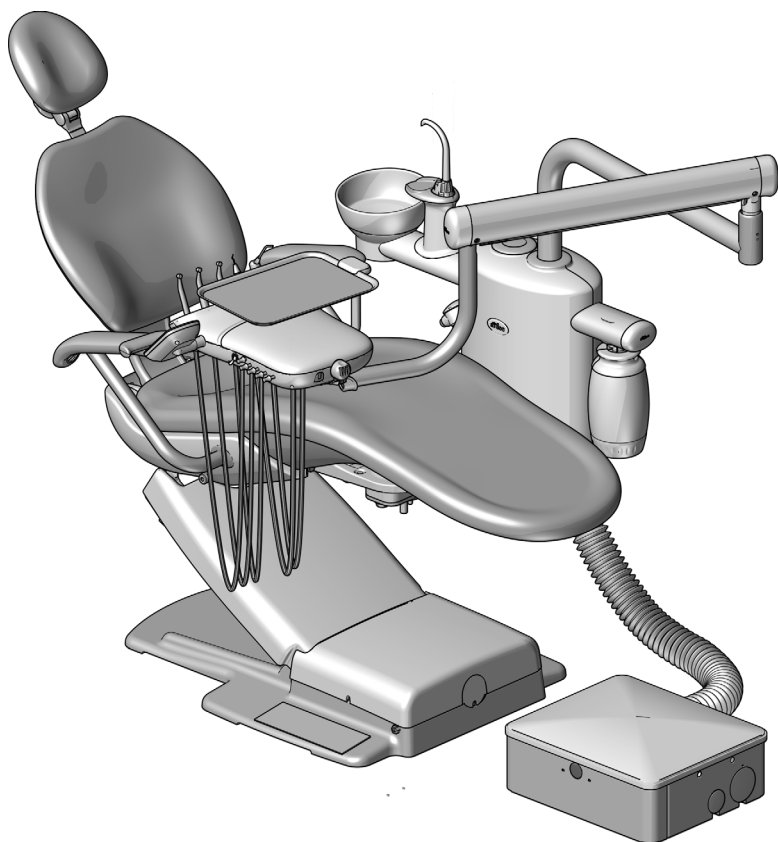
- 1 ケーブル留めと黒のワッシャーを使用して、シリンジチューブの張力緩和を行います。チューブをしっかりと支えるため、ケーブル留めを 2 周させます。



ヒント 張力緩和装置をセットする際は、他の器具のチューブの緩みに合わせ、十分な長さのチューブを残してください。

A-dec 334pro/335pro/334/335 デリバリーシステムの取り付け

A-dec 334pro/335pro/334/335 を A-dec 362 サポートセンターに取り付ける場合も、手順は同じです。

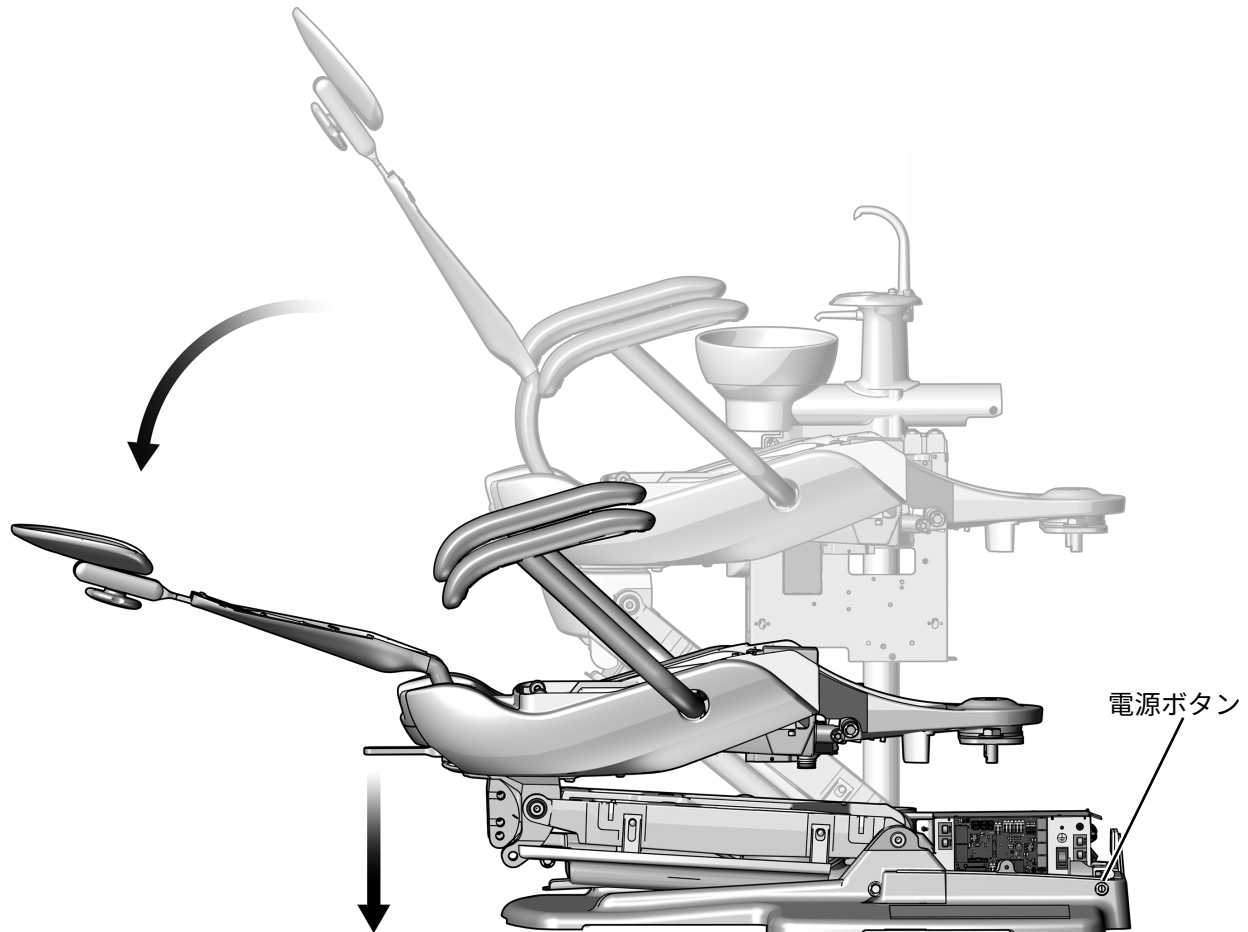


A-dec 311 歯科用椅子に取り付けられた A-dec 334pro Traditional デリバリーシステム

推奨する工具

- 六角レンチセット
- 3/8 インチのコンビネーション・レンチ

デリバリーシステムのコンポーネントの取り付け 手順 1.



- 1 チェアの電源をオンにします。



注記 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

- 2 ジャンパーを使用してチェアを完全に下げます。



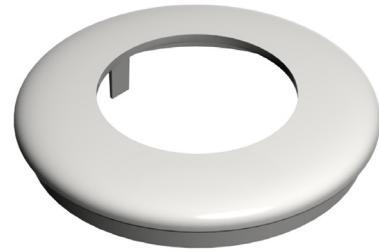
警告 この手順を開始する前に電源をオフにしないと、製品の損傷や、重傷または死亡事故につながるおそれがあります。

- 3 チェアの電源をオフにします。

手順 2.

1 デリバリーシステムの支柱には、必ず正しいトリムリングを取り付けてください。

- デリバリーシステムは含まれているが、伸縮式アームに装着された歯科助手用器具はない場合、デリバリーシステムの支柱に付属のトリムリングを使用します。



デリバリーシステムで使用されるトリムリング。歯科助手用器具なしの場合。

- デリバリーシステムと伸縮式アームに装着されたA-dec 352 歯科助手用器具が含まれている場合、そのキットに付属のトリムリングを使用します。



デリバリーシステムで使用されるトリムリング。伸縮式アームに装着されたA-dec 352 歯科助手用器具がある場合。

手順 3.

1 デリバリーシステムを持ち上げて肩の上でバランスを取り、チューブとワイヤーの束を通すために片方の腕を空けてください。

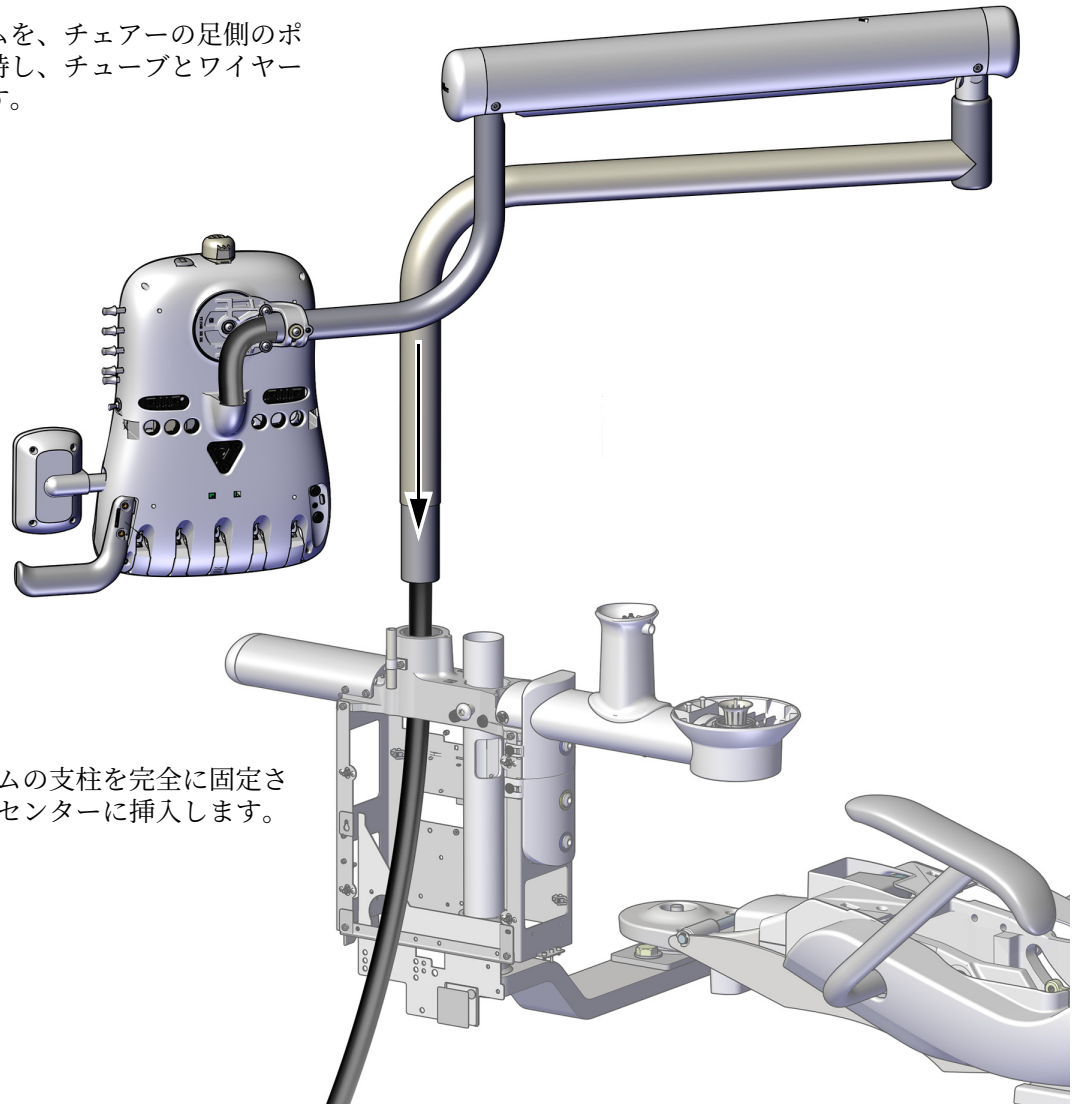


A-dec 334pro の図

手順 4.

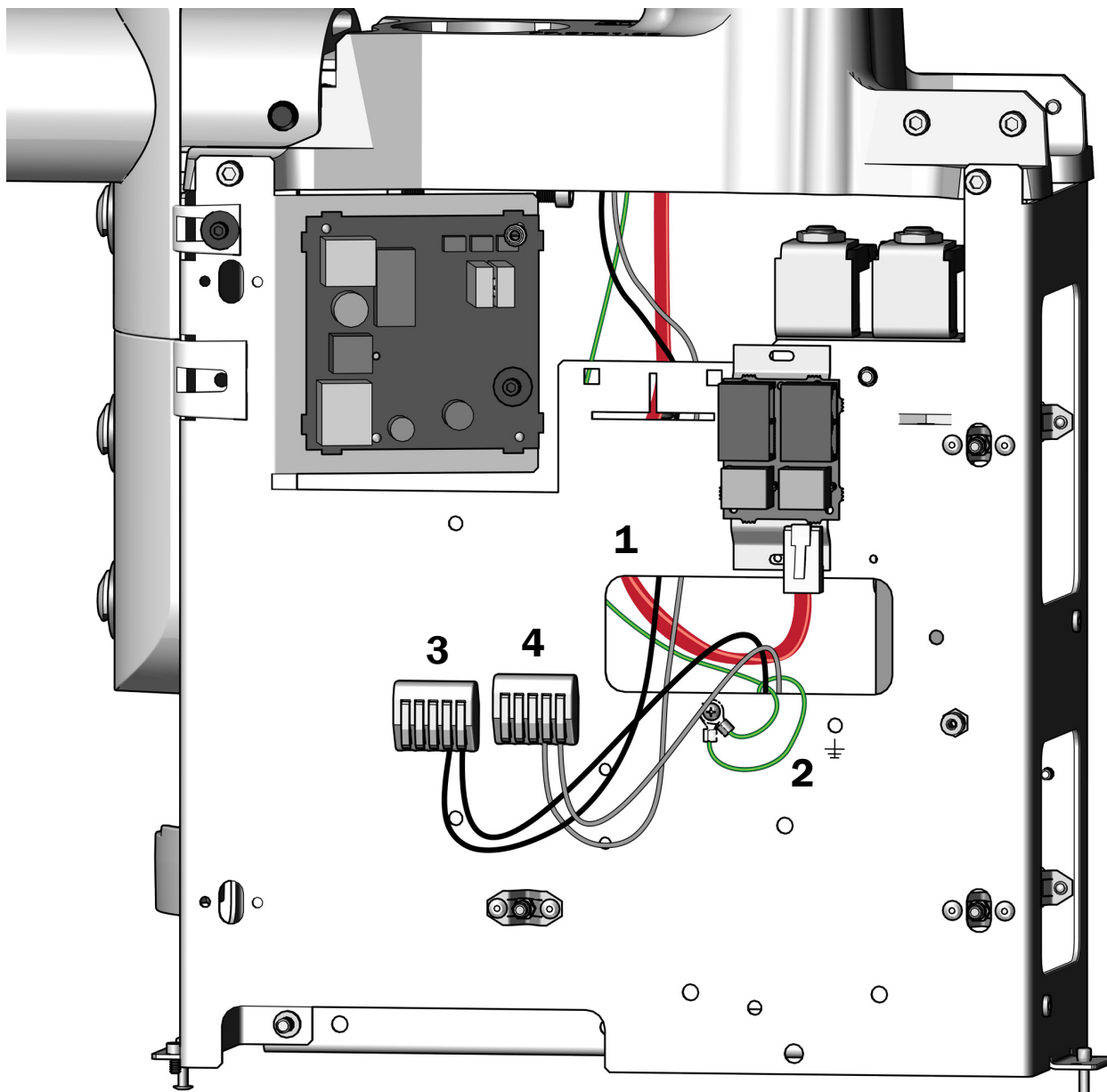
- 1** デリバリーシステムを、チェアの足側のポストホール上で保持し、チューブとワイヤーの束を穴に通します。

A-dec 335pro の図



- 2** デリバリーシステムの支柱を完全に固定されるまでサポートセンターに挿入します。

手順 5.

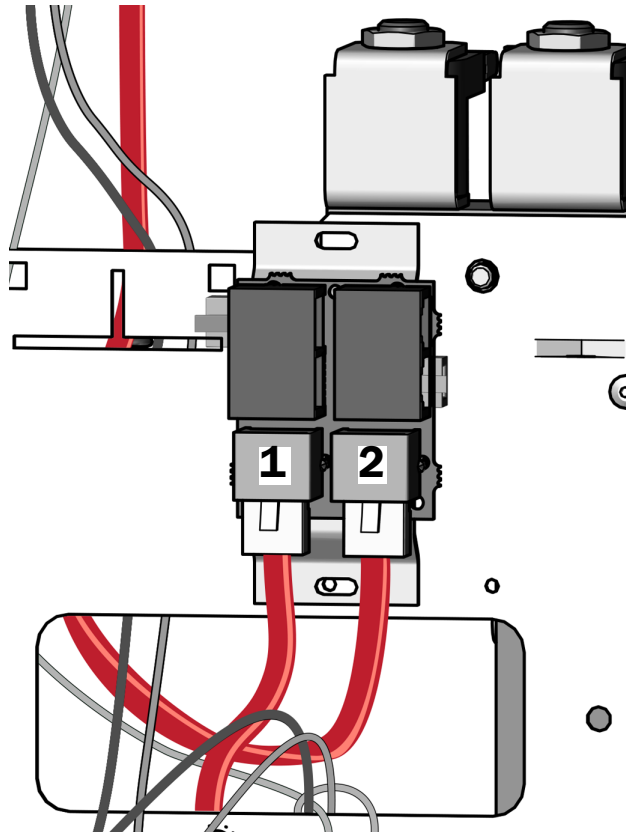


334pro/335pro からのワイヤーおよび赤の DCS2 データ回線の図

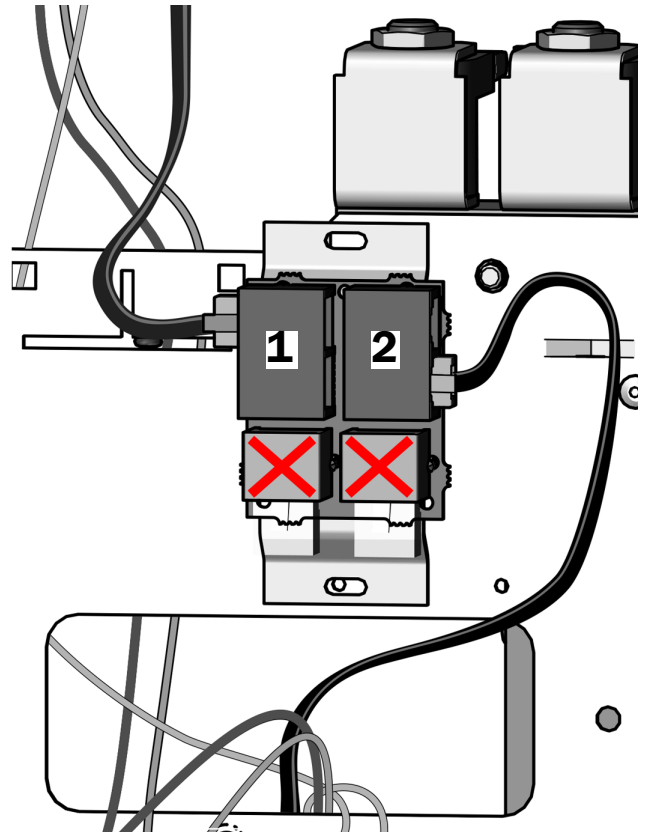
- 1** デリバリーシステムからのワイヤーとデータ回線を、矩形の穴からサポートセンターのフレームの外側に出します。
- 2** アース線を接続します。
- 3** 黒のワイヤーを、別の黒のワイヤーがすでに接続されているワイヤーコネクタに接続します。
- 4** グレーのワイヤーを、別のグレーのワイヤーがすでに接続されているワイヤーコネクタに接続します。

手順 6.

次のうちいずれかを行います。

A-dec 334pro/335pro デリバリーシステム

- 1** チェア回路基板からの赤の DCS2 データ回線を穴に通し、**グレー**の DCS2 データポートに接続します。
- 2** デリバリーシステムからの赤の DCS2 データ回線を、**グレー**の DCS2 データポートに差し込みます。
- 3** 黒の 2 ポジションコネクタを黒の 24 VAC 絶縁リードに接続します (ある場合)。
- 4** 余分なワイヤーを巻いてサポートセンターの中に収納します。

A-dec 334/335 デリバリーシステム

注意 黒の DCS1 データ回線をグレーの DCS2 ポートに差し込むと、製品が損傷することがあります。

- 1** デリバリーシステムからの黒の DCS1 データ回線を、黒の DCS1 データポートに差し込みます。
- 2** チェア回路基板からの黒の DCS1 データ回線を穴に通し、**黒**の DCS1 データポートに接続します。
- 3** 黒の 2 ポジションコネクタを黒の 24 VAC 絶縁リードに接続します (ある場合)。
- 4** 余分なワイヤーを巻いてサポートセンターの中に収納します。

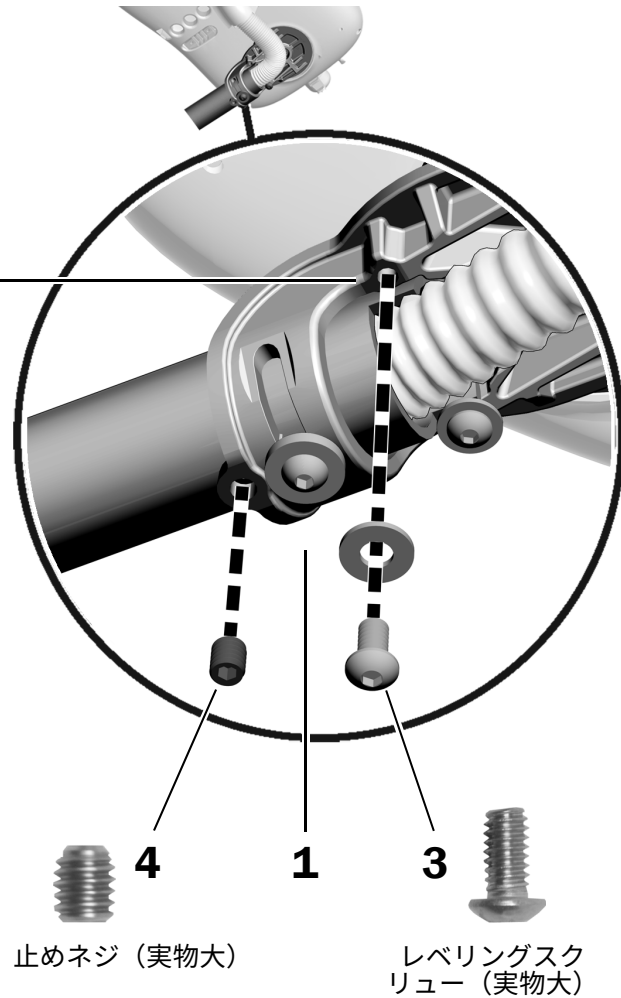
手順 7.

1. ボタンボルトを緩めます。



注 ボタンボルトを完全には引き出さないでください。コントロールヘッドを動かせる程度に緩めれば十分です。

2. コントロールヘッドを回転させ、レベリングスクリュー用の穴の位置に合わせます。
3. 1/4-20 x 1/2 インチのレベリングスクリューとワッシャーを取り付けて締めます。
4. 3/8 インチ止めネジを取り付けます。
5. ボタンボルトを締めます。



手順 8.

ハンドピース管と調整キーの取り付け (A-dec 334pro/334/335 のみ)

- 1 ハンドピース管を、使用に適した位置に設置します。

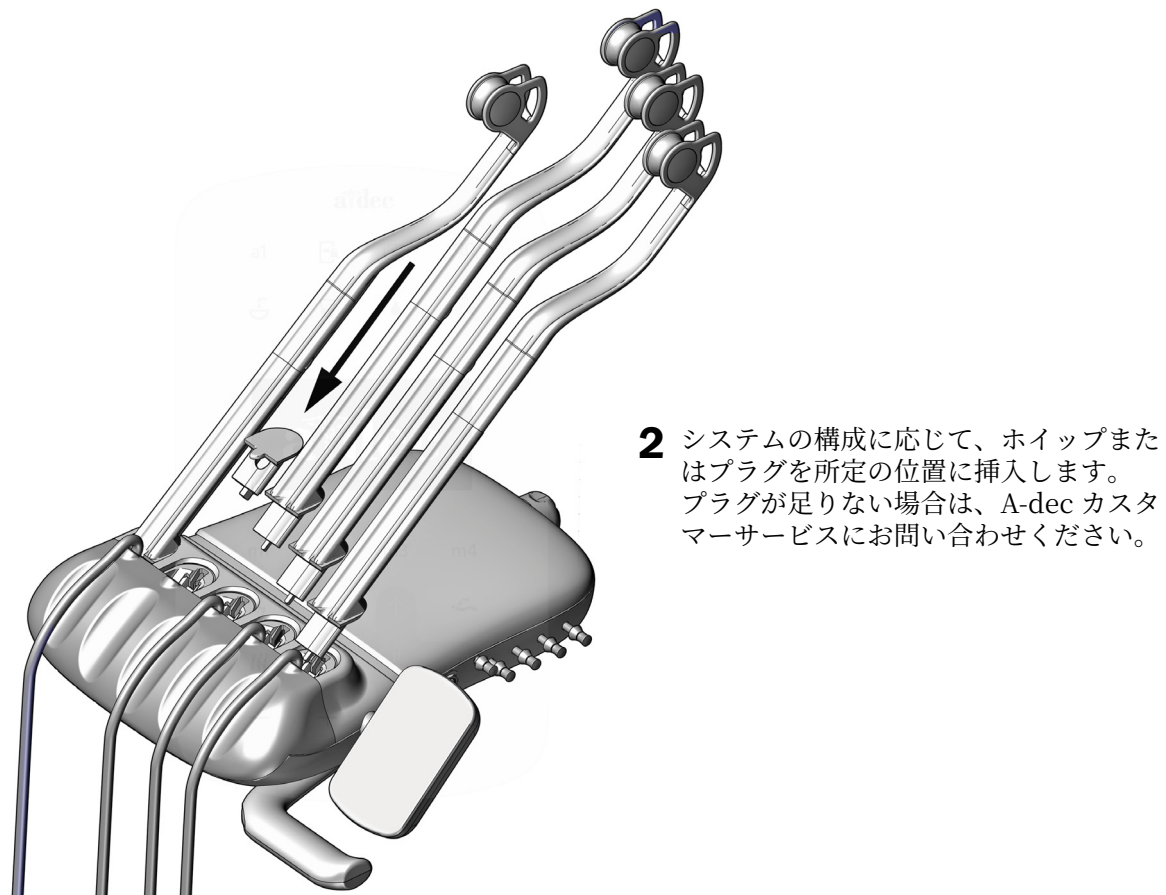
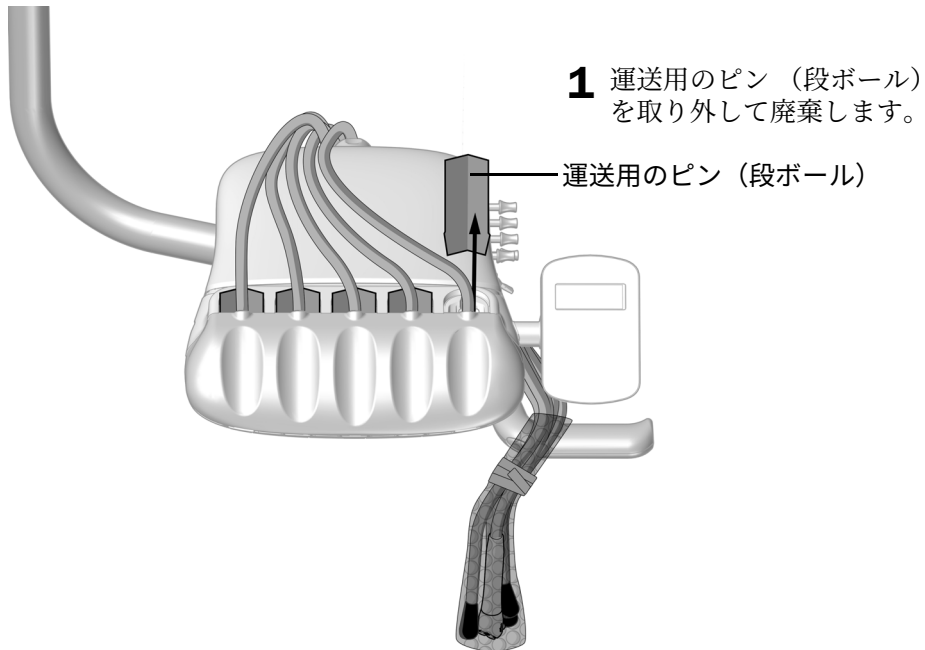
- 2 A-dec 335 Continental デリバリーシステムのみ：ホイップフックを差し込みます。

A-dec 335 の図

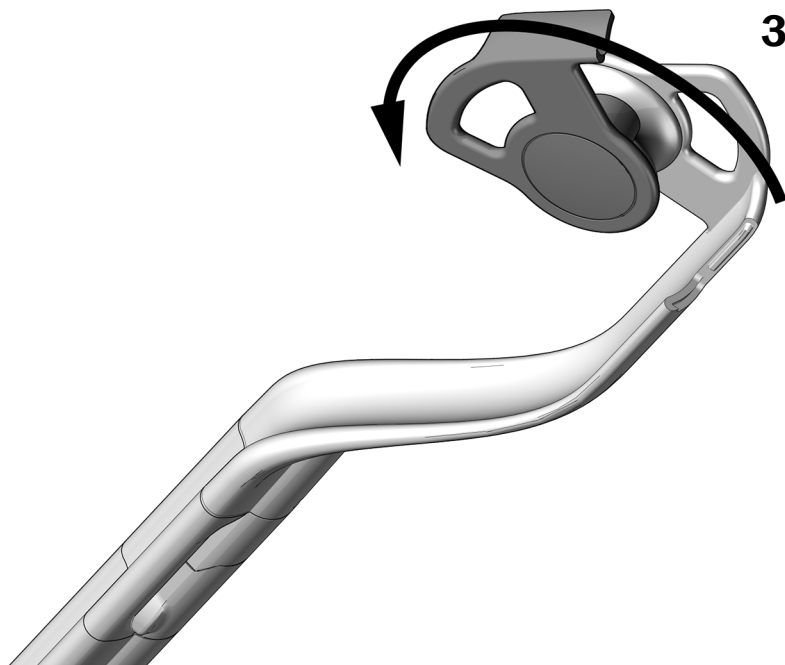
- 3 調整キーを差し込みます。

手順 9.

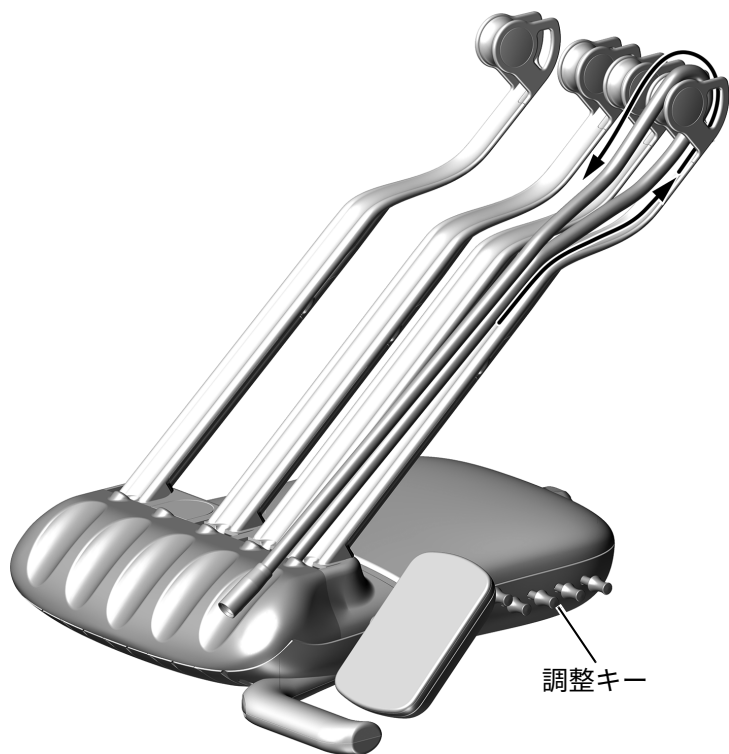
Continental ホイップと調整キーの取り付け (A-dec 335pro のみ)



- 3** ホイップを開くには、配管ガイドを反時計回りに90°回転させます。



- 4** チューブをホイップアセンブリに通します。
- 5** 配管ガイドを閉じ、カチッと音がしてしっかりと閉まったことを確認します。
- 6** ハンドピース管をそれぞれのホルダーに配置し、コントロールヘッドの側面のそれぞれの穴に調整キーを差し込みます。



トレイ・ホルダーマウント（オプション）の取り付け

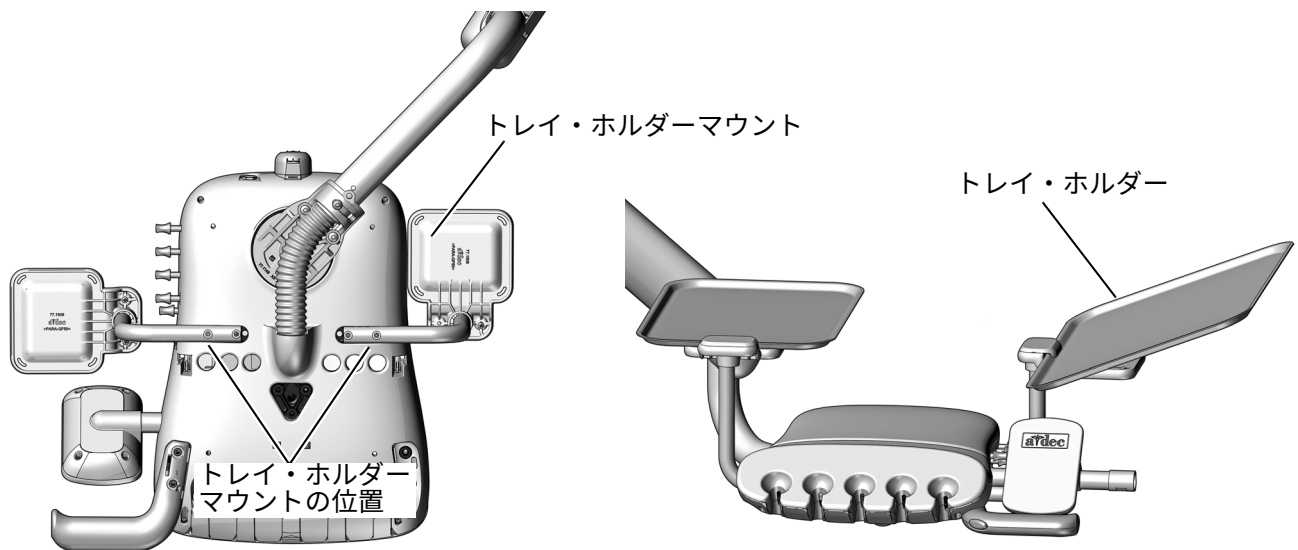
トレイ・ホルダーマウントを取り付けるには、デリバリーシステムのタイプを選択し、必要な手順を実行します。

A-dec 334pro/334 Traditional デリバリーシステム

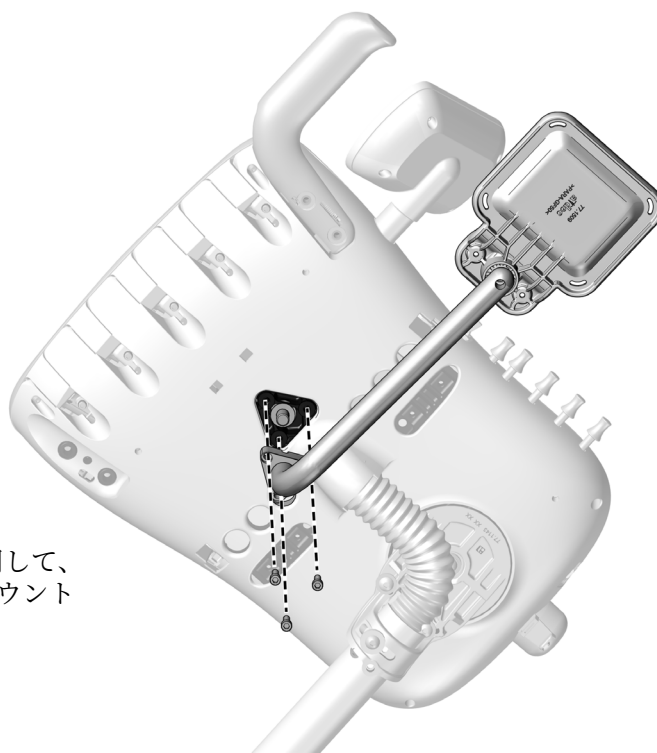
- 1 2本の10-32 x 1インチボタンボルトを使用して、コントロールヘッドの底部側面にトレイ・ホルダーマウントを取り付けます。
- 2 トレイ・ホルダーの一端を上に向け、トレイ・ホルダーの縁をトレイ・ホルダーマウントの端の下に合わせ、トレイ・ホルダーを所定の位置に下げます。



ヒント トレイ・ホルダーはコントロールヘッドのどちら側にも取り付けられますが、調整キーの反対側の側面に取り付けるとキーにアクセスしやすくなります。



A-dec 335/335pro Continental デリバリーシステム



- 1 3本の10-32 x 3/4インチネジを使用して、コントロールヘッドの底部中央にマウントアームを取り付けます。

A-dec 歯科ライトの取り付け

システムに歯科ライトが含まれている場合は、この時点で取り付けます。歯科ライトに付属のサービスガイドを参照してください。

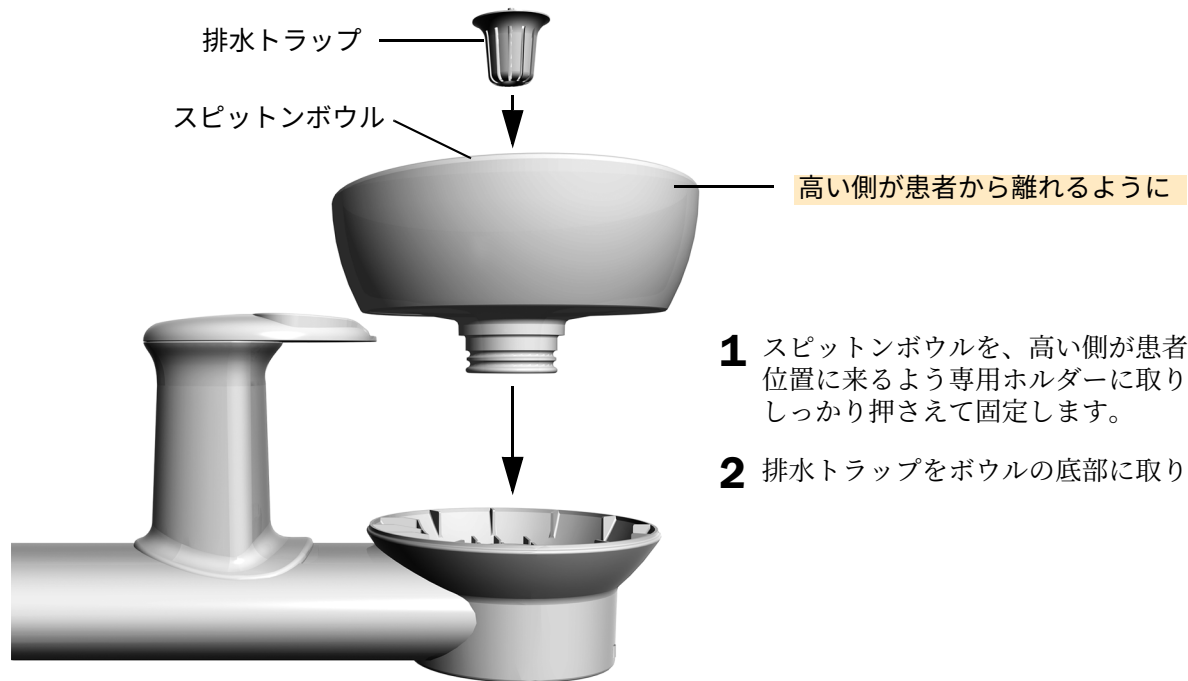
モニターマウントの取り付け

システムにモニターマウントが含まれている場合は、この時点で取り付けます。モニターマウントに付属のサービスガイドを参照してください。

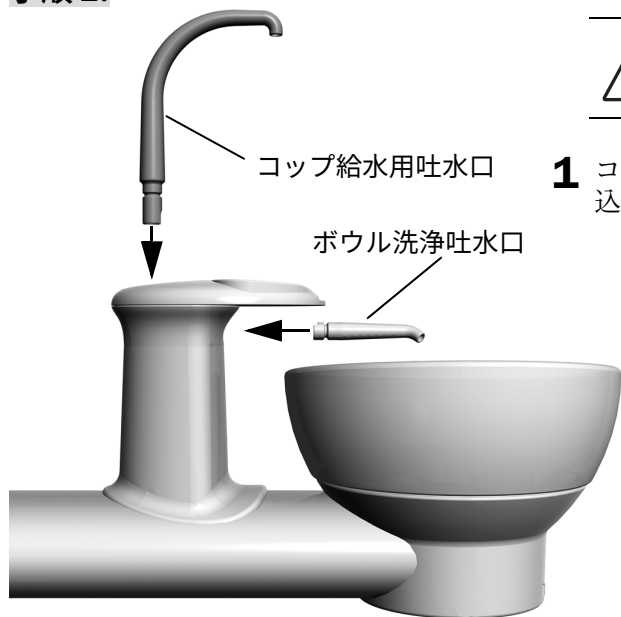
スピットンの取り付け



手順 1.



手順 2.



注意 コップ給水用吐水口を取り付けるとき、回転させないでください。破損するおそれがあります。

1 コップ給水用吐水口を取り付けるには、まっすぐ下方に押し込みます。

2 ボウル洗浄吐水口を取り付けるには、まっすぐ下方に押し込みます。

リモートフロアボックスの取り付け



注 この手順を実行する前に、システムのすべてのモジュールを取り付けます。

推奨する工具

- プラスドライバー



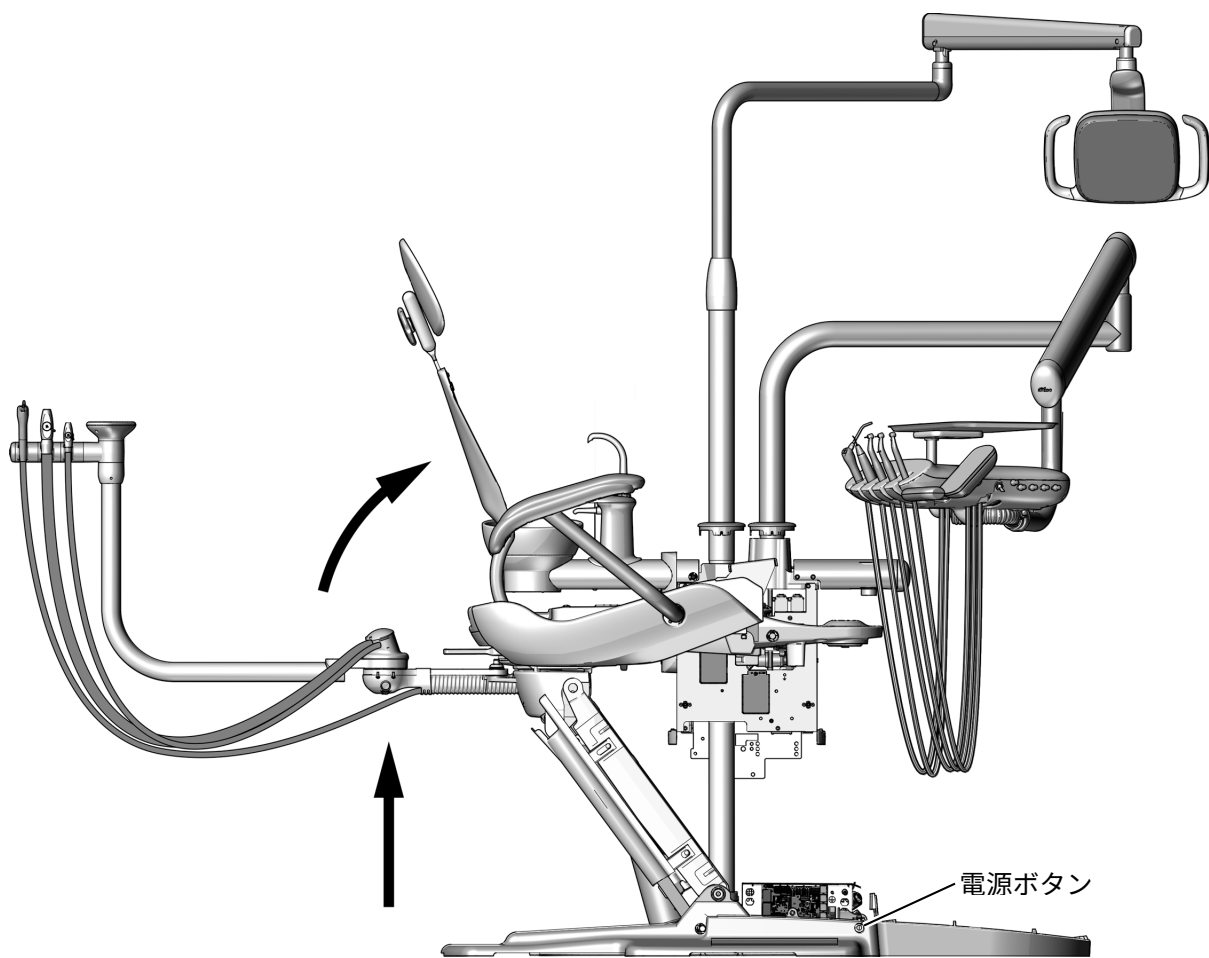
- 1** リモートフロアボックスから保護材を取り除きます。
- 2** ユーティリティの上にフロアボックスを置きます。
- 3** プラスドライバーと6本のサイズ #10 のネジを使用して、床にフロアボックスを固定します。

ユーティリティの配線



注意 ワイヤーやチューブの損傷、外れを防ぐため、配線作業はすべてのシステムモジュールの取り付け完了後に行ってください。

手順 1.



- 1 システムの電源をオンにします。
- 2 チェアのベースと背板が限界まで上がっていることを確認します。



注記 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。



警告 感電の危険があります。カバーを外したり元に戻す際には、ワイヤーやチューブに損傷を与えないよう注意してください。また、カバーを再度取り付け後は、しっかりと固定されていることを確認してください。



警告 この手順を開始する前に電源をオフにしないと、製品の損傷や、重傷または死亡事故につながるおそれがあります。

手順 2. システムの電源をオフにします。

チェアベースとリモートフロアボックスへの配線・配管

システムの構成に応じたセクションを参照してください。

| 歯科用椅子 | データ回線の配線 | 配線（ワイヤー） | 配管（チューブ） |
|---|-------------|-------------|-------------|
| A-dec 311、411、511 | チェアの下 | チェアの下 | リモートフロアボックス |
| A-dec Cascade、Decade、Performer（データポート付き） | チェアの下 | リモートフロアボックス | リモートフロアボックス |
| A-dec Cascade、Decade、Performer、Priority、他メーカーのチェア（データポートなし） | データ回線を取り外す。 | リモートフロアボックス | リモートフロアボックス |

チェアの下への配線 34

リモートフロアボックスへの配線・配管 39

チェアの下への配線

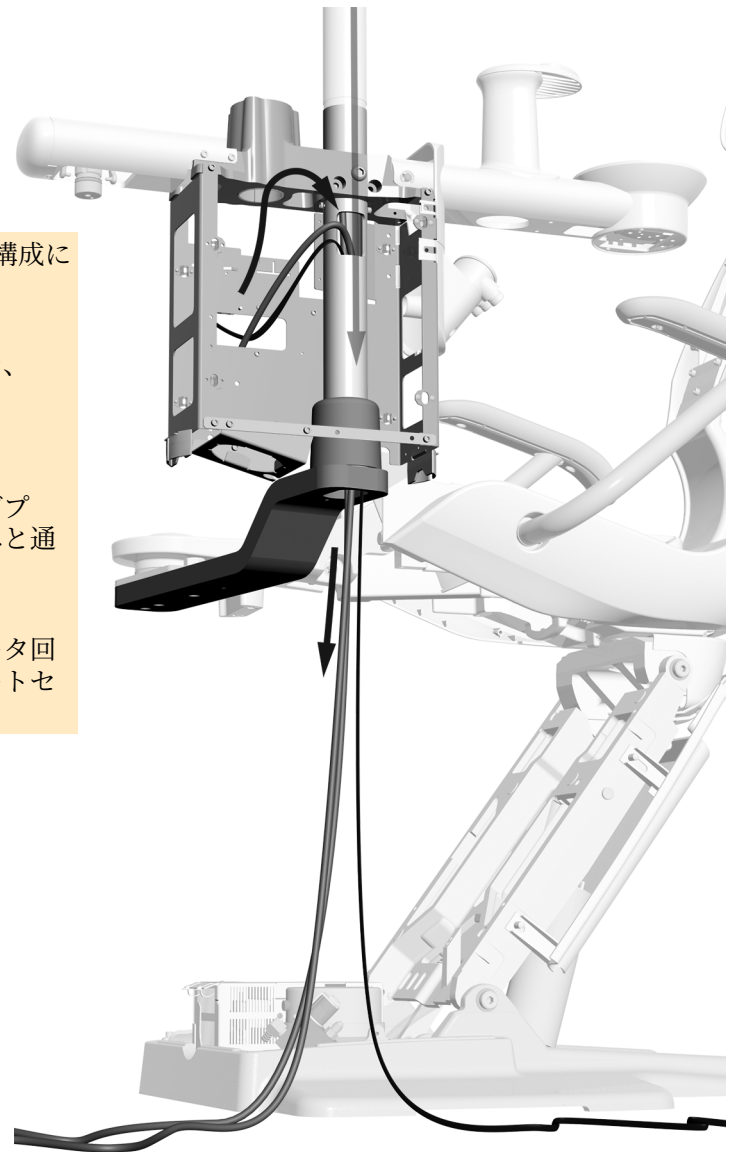
推奨する工具

- 斜ニッパー

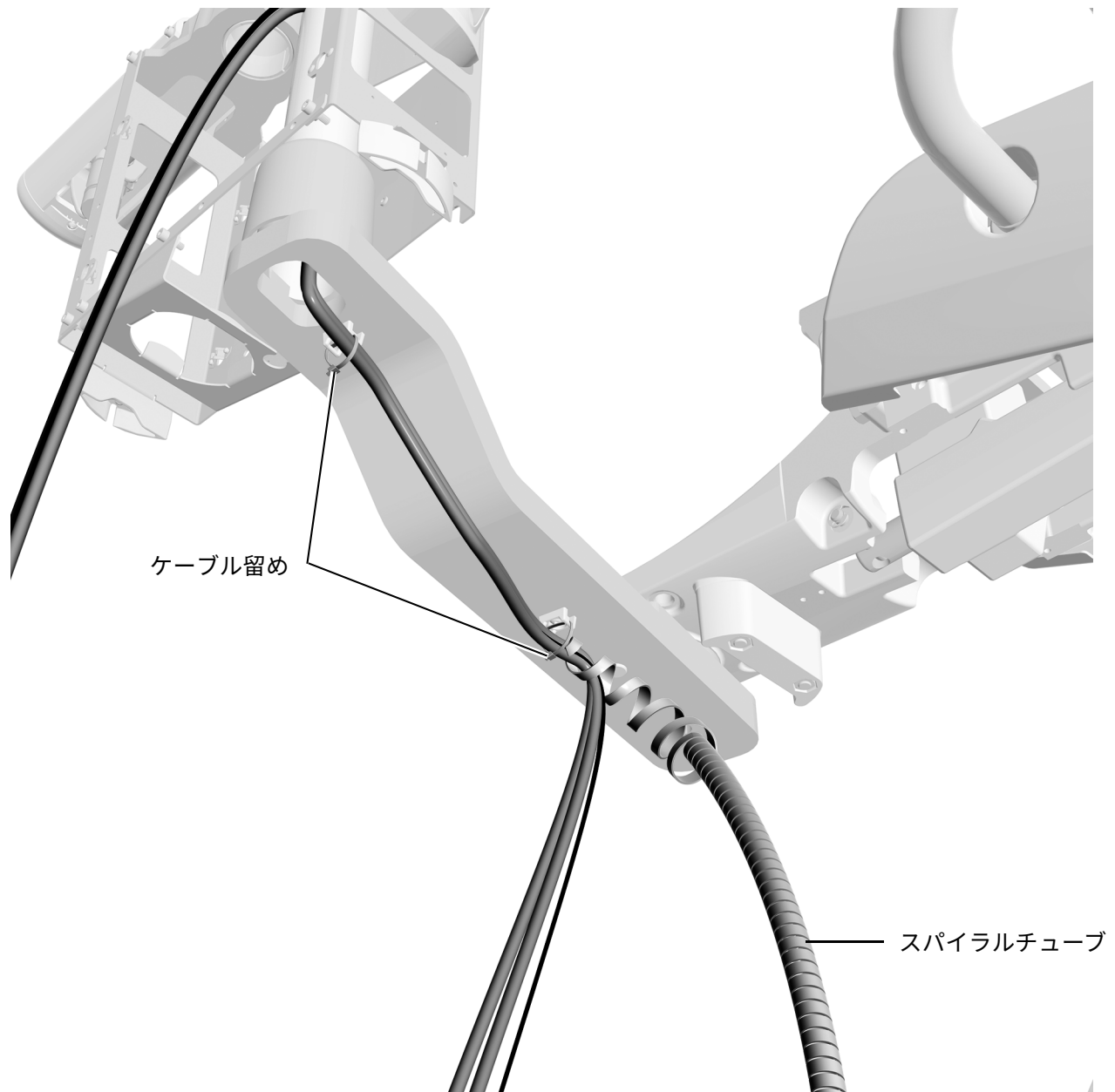
手順 1.

1 サポートセンターのワイヤーとデータ回線を、構成に応じて配線します。

- **支柱の下部に穴があるアダプターアーム**
サポートセンターのワイヤーとデータ回線を、サポートセンターポストの矩形の穴に通し、ポストから下へと引き出します。
- **支柱の上部に穴があるアダプターアーム**
サポートセンターデータ回線を、穴からアダプターアームの内側へ、さらにリフトアームへと通します。
- **穴がないアダプターアーム**
電源ワイヤーをコンポリュートに通し、データ回線はアダプターアームの横を通して、サポートセンターの底部から引き出します。



A-dec 362 サポートセンターの図（A-dec 311 歯科用椅子、および支柱の下部に穴があるアダプターアームの場合）

手順 2.

- 1** ケーブル留めを使用して、ワイヤーの束をアダプターアームの下に固定します。ケーブル留めをきつく締めすぎないようにしてください。



注 アダプターアームがブラケットを備えていない場合は、キットに付属の接着剤付きマウントを使用して、この画像のようにワイヤー束を固定してください。

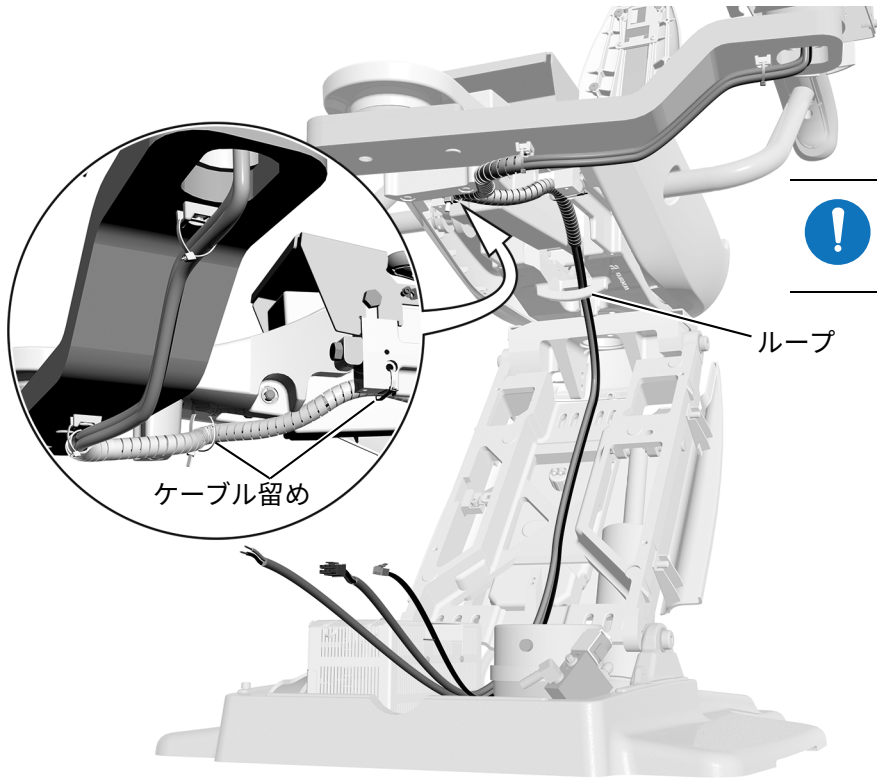
- 2** ケーブル留めの余った端部を切断します。
- 3** ワイヤーとデータ回線をスパイラルチューブに通します。2本目のケーブル留めをスパイラルチューブの開始位置とします。

手順 3.

各チェアタイプに応じた配線手順を実行してください。

A-dec 311、411 歯科用椅子..... 36

A-dec 511、Cascade、Decade、Performer、Priority 歯科用椅子..... 37

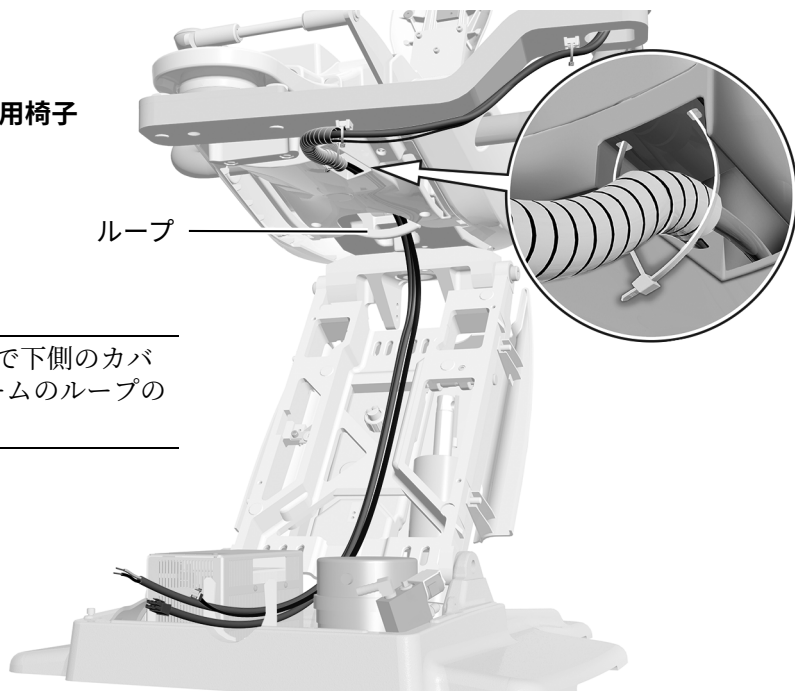


A-dec 311 歯科用椅子



注 2本のケーブル留めで固定し、リフトアームのループの後ろに通します。

A-dec 411 歯科用椅子



注 1本のケーブル留めで下側のカバーに固定し、リフトアームのループの後ろに通します。

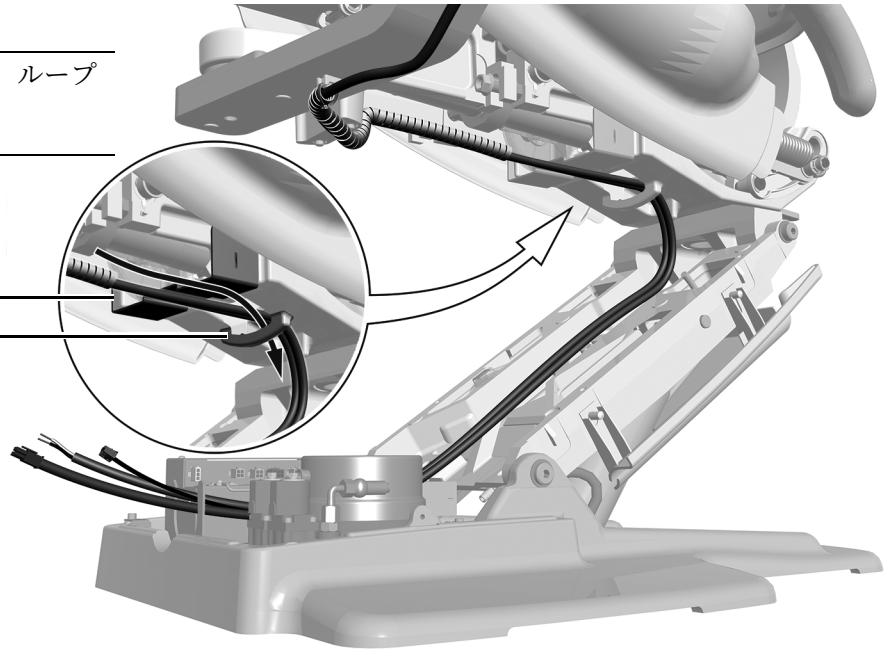
手順 3. (続き)

A-dec 511 歯科用椅子



注 ブラケットの下を通過し、ループの後ろに通します。

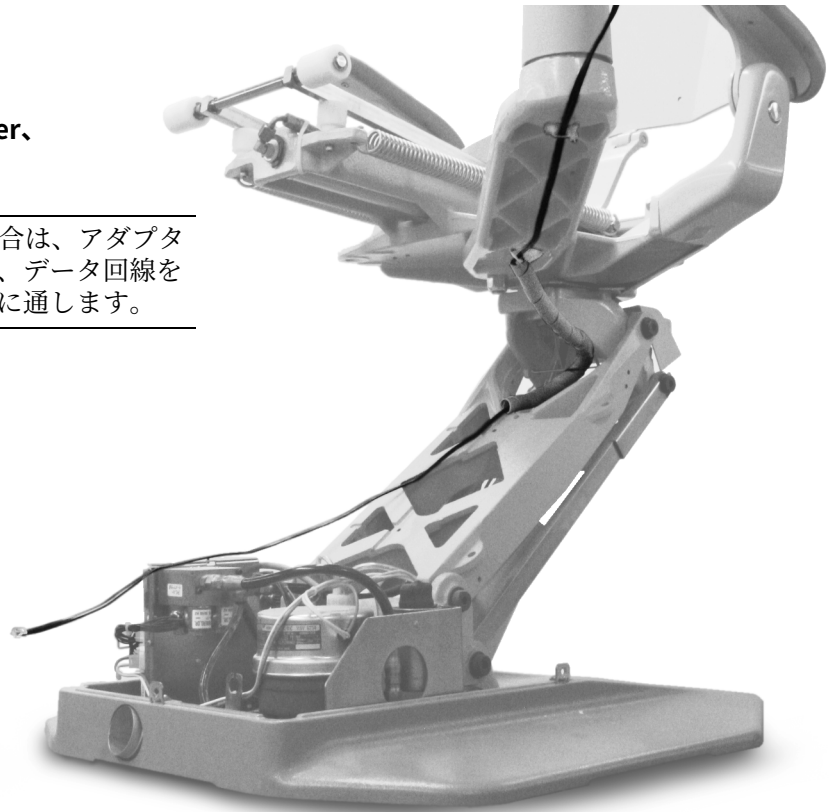
ブラケット
ループ



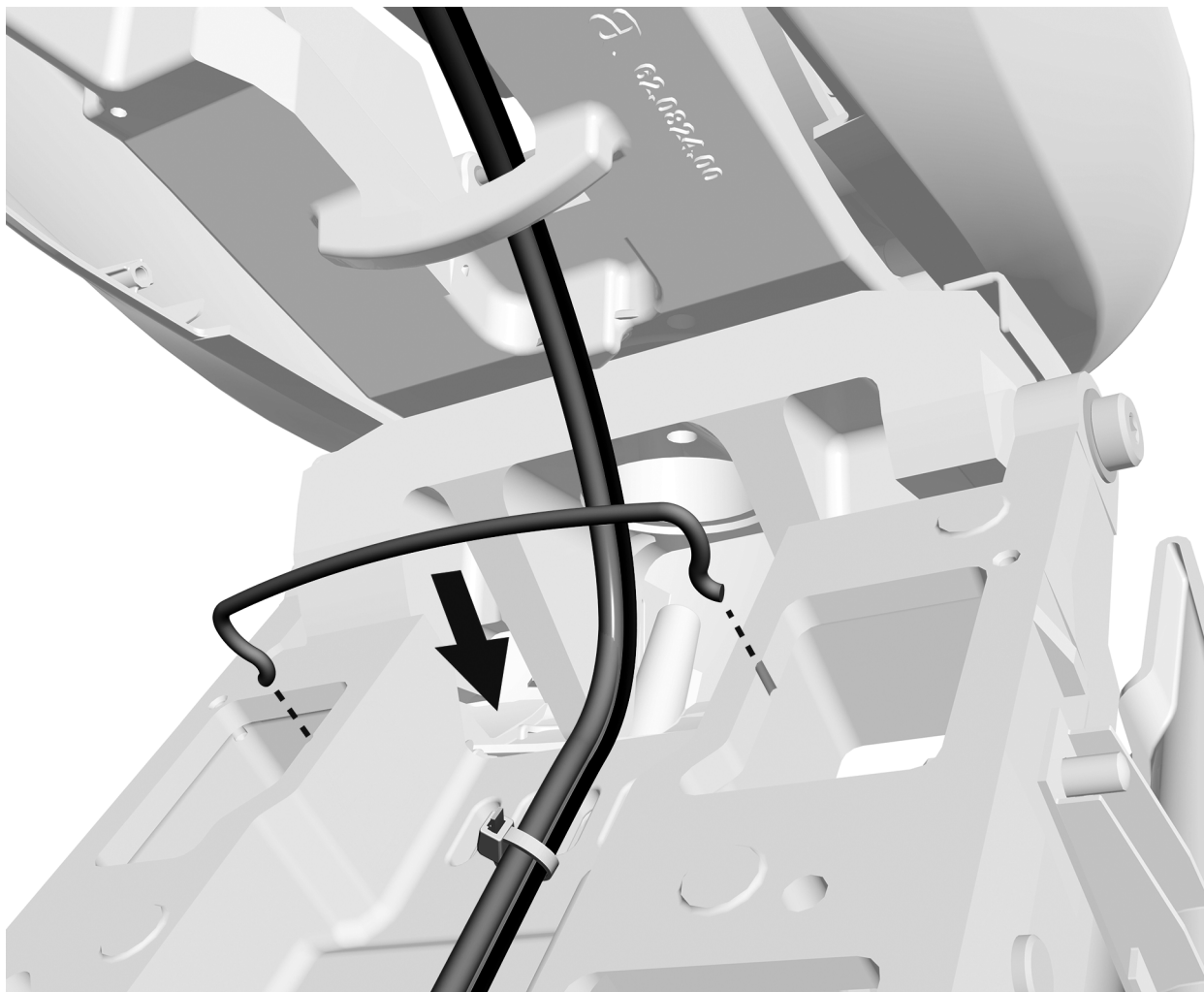
**Cascade、Decade、Performer、
Priority 歯科用椅子**



注 A-dec Cascade チェアの場合は、アダプターアームの上部にある穴を使用し、データ回線をアームの下ではなく、アームの中に通します。



手順 4.



- 1** チェアにベイルが含まれる場合は、リフトアームに取り付けます。ベイルはフロアボックスキットに同梱されています。
- 2** ケーブル留めを使用してワイヤーをまとめ、外観を整えます。



注意 ワイヤーをリフトアームに固定しないでください。チェアが動いても、ワイヤーは自由に動かせる必要があります。

リモートフロアボックスへの配線・配管

推奨する工具

- 斜ニッパー
- 六角レンチセット

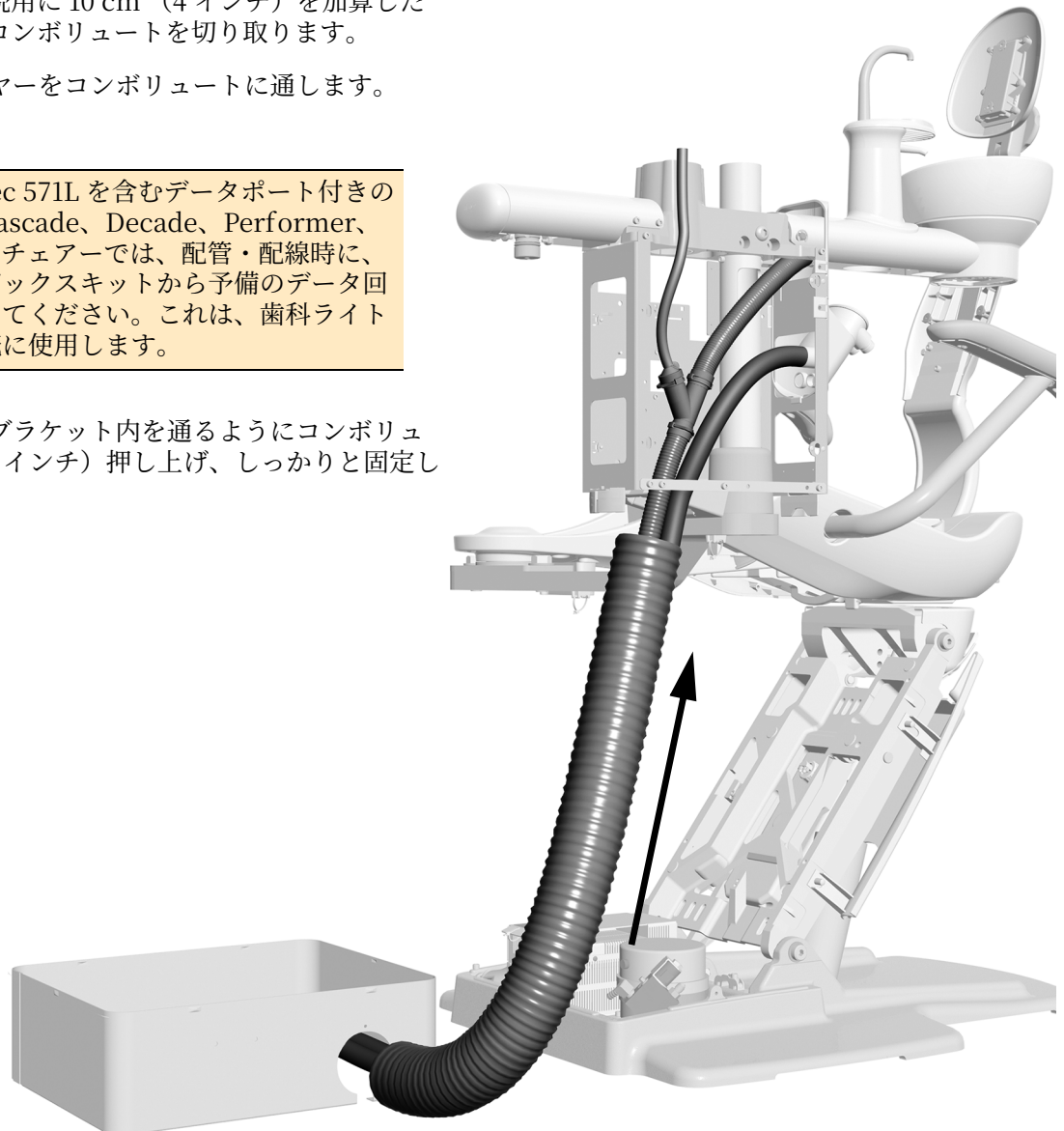
手順 1.

- 1 フロアボックスからサポートセンターの一番下までの距離を測り、接続用に 10 cm (4 インチ) を加算した長さに合わせてコンボリユートを切り取ります。
- 2 チューブとワイヤーをコンボリユートに通します。



注 A-dec 571L を含むデータポート付きの A-dec Cascade、Decade、Performer、Priority チェアでは、配管・配線時に、フロアボックスキットから予備のデータ回線も加えてください。これは、歯科ライトへの接続に使用します。

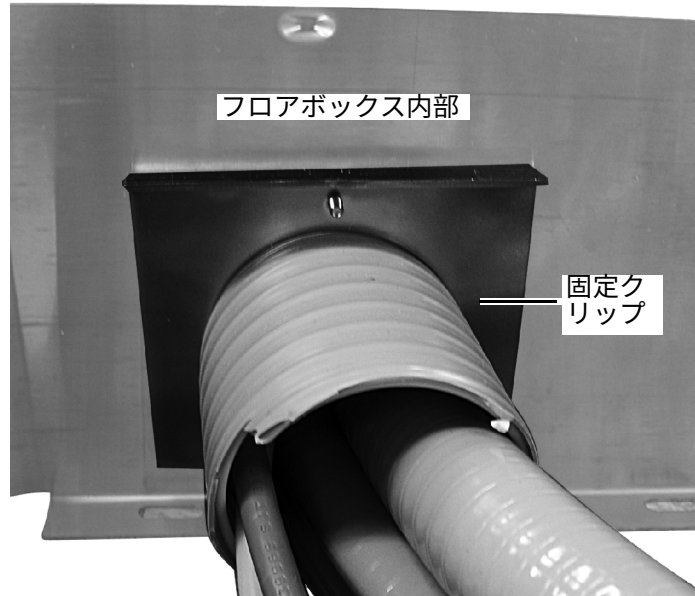
- 3 コンボリユートブラケット内を通るようにコンボリユートを 5 cm (2 インチ) 押し上げ、しっかりと固定します。



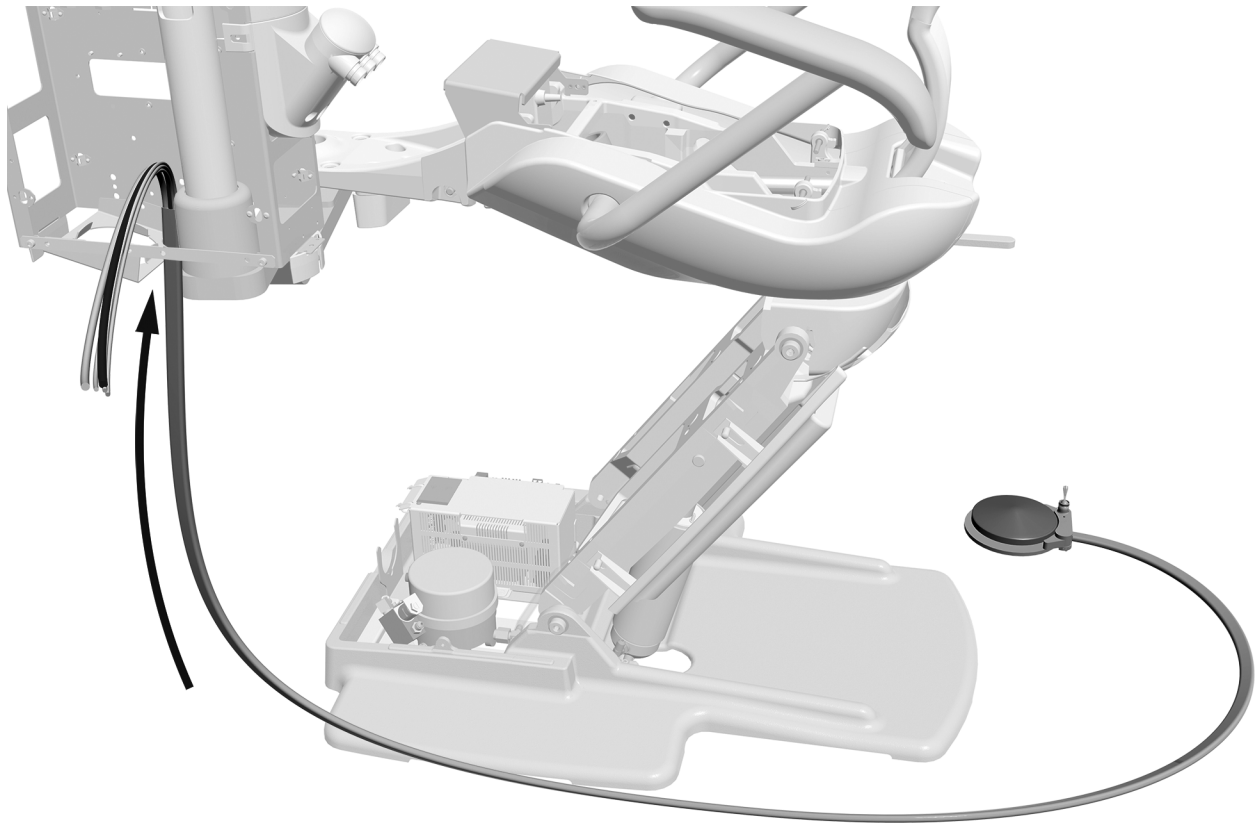
注 サポートセンター下部から、直接コンボリユート内へと配線します。ワイヤーやデータ回線を、サポートセンターポスト経由でコンボリユートに通さないでください。

手順 2.

- 1 コンボリユートをフロアボックス内へと導きます。
- 2 六角レンチを使用して、フロアボックスに固定クリップを取り付け、コンボリユートを固定します。
- 3 フロアボックスの空いている穴にプラグを差し込みます。

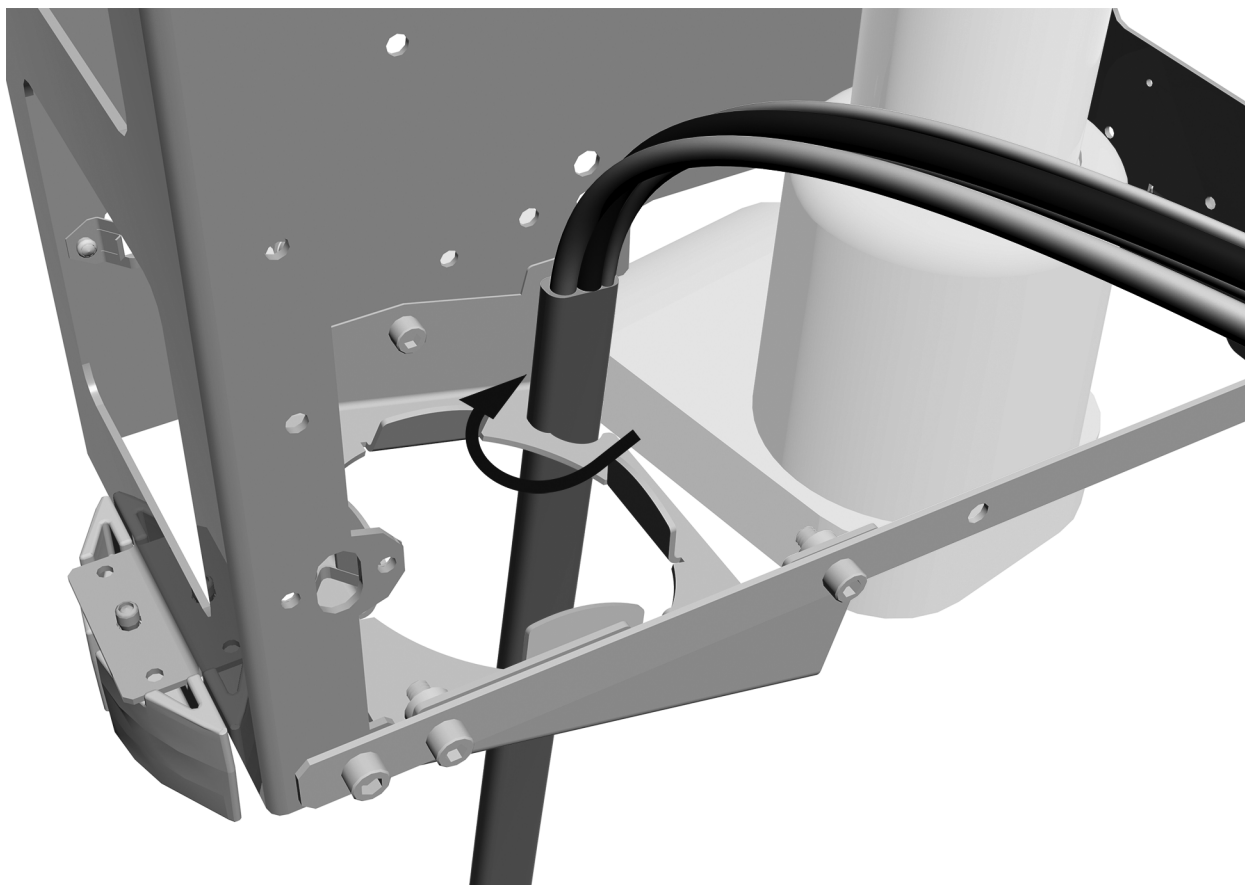


サポートセンターへのフットコントロールの配管 手順 1.



- 1** フットコントロールを通常使用時と同様に配置し、チューブをサポートセンター下部へと導きます。

手順 2.



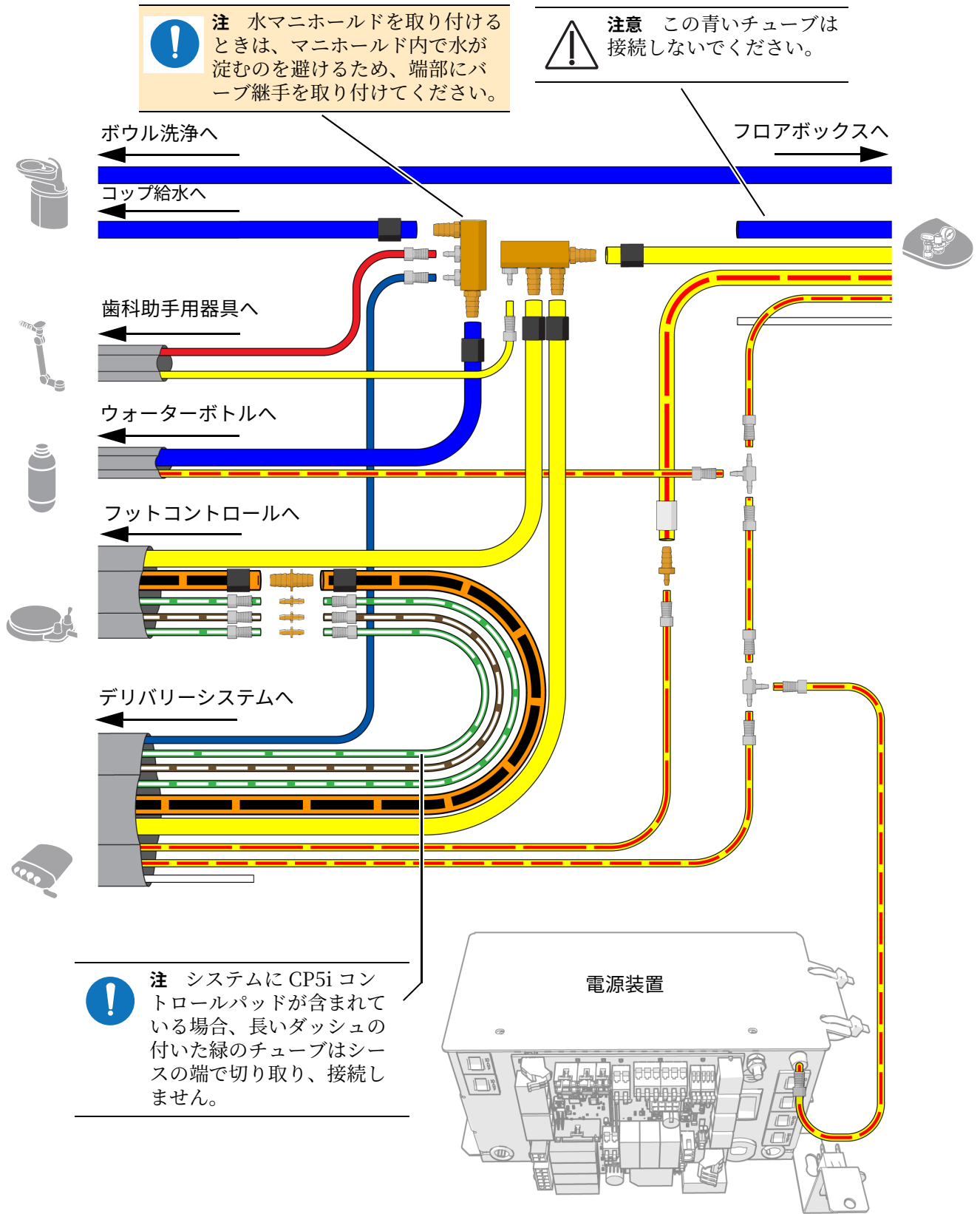
- 1** チューブのリブをサポートセンターのウォールに向け、フットコントロールチューブをコンボリユートフレームのロットに差し込みます。
- 2** チューブを時計回りにねじり、ロットに固定します。

サポートセンターの配管

推奨する工具

- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー

次のページのフローチャートに従ってチューブを接続します。



注 水マニホールドを取り付けるときは、マニホールド内で水が淀むのを避けるため、端部にバース継手を取り付けてください。

注意 この青いチューブは接続しないでください。

ボウル洗浄へ

フロアボックスへ

コップ給水へ

歯科助手用器具へ

ウォーターボトルへ

フットコントロールへ

デリバリーシステムへ

電源装置

注 システムに CP5i コントロールパッドが含まれている場合、長いダッシュの付いた緑のチューブはシースの端で切り取り、接続しません。

電線とデータ回線の接続



注意 ワイヤーやチューブの損傷、外れを防ぐため、接続作業はすべてのシステムモジュールの取り付け完了後に行ってください。



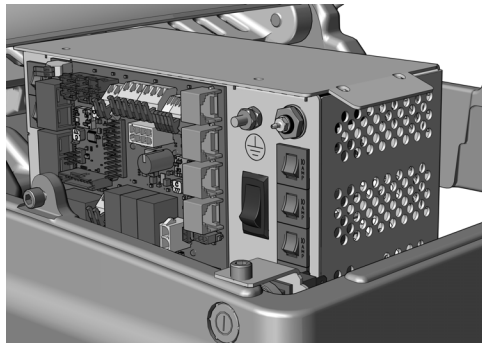
注記 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。



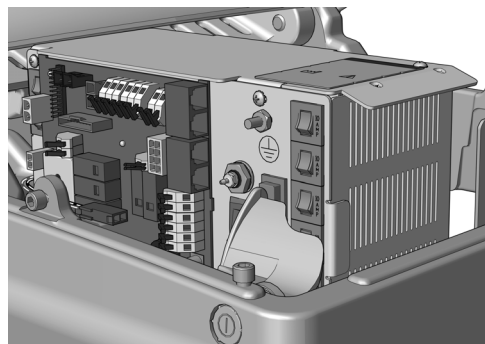
警告 この手順を開始する前に電源をオフにしないと、製品の損傷や、重傷または死亡事故につながるおそれがあります。

1. システムの電源をオフにします。

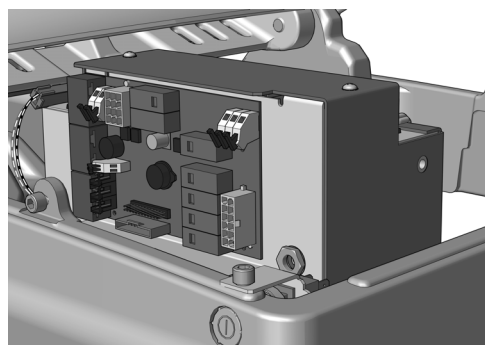
システムに備わっている電源装置に応じて、以下のセクションの手順を実行してください。



2023年6月以降に製造されたA-decユニバーサル電源装置へのワイヤーとデータ回線の接続.....46



2023年6月以前に製造されたA-dec 311/411電源装置へのワイヤーとデータ回線の接続.....48



2023年6月以前に製造されたA-dec 511電源装置へのワイヤーとデータ回線の接続.....51

2023年6月以降に製造された A-dec ユニバーサル電源装置へのワイヤーとデータ回線の接続

A-dec 334pro/335pro デリバリーシステム.....46

A-dec 334/335 デリバリーシステム.....47

A-dec 334pro/335pro デリバリーシステム

推奨する工具

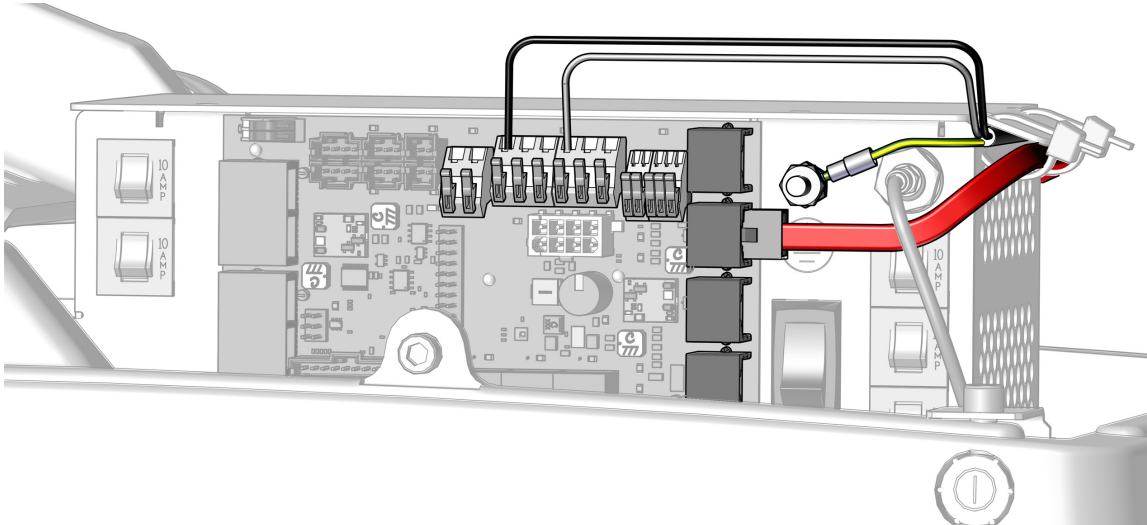
- 斜ニッパー
- 3/8 インチのコンビネーション・レンチ

1. サポートセンターのアース線を接続します。
2. 黒のワイヤーをサポートセンターの 0 V に接続します。
3. グレーのワイヤーをサポートセンターの 24 V に接続します。
4. 赤のデータ回線をいずれかの DCS2 データポートに差し込みます。



注 すべてのチェアモジュールが取り付けられ、他のすべての電気接続が完了している場合のみ、次のステップを実行してください。そうでない場合は、電源装置への他のすべての電気接続が完了してから、このステップを実行してください。

5. システムモジュールのすべての電気接続が完了したら、ワイヤーを電源装置の縁の下に固定します。



次のステップ 58 ページの「フロアボックスユーティリティの接続」に進みます。

A-dec 334/335 デリバリーシステム

推奨する工具

- 斜ニッパー
- 3/8 インチのコンビネーション・レンチ

1. サポートセンターのアース線を接続します。
2. 黒のワイヤーをサポートセンターの 0 V に接続します。
3. グレーのワイヤーをサポートセンターの 24 V に接続します。



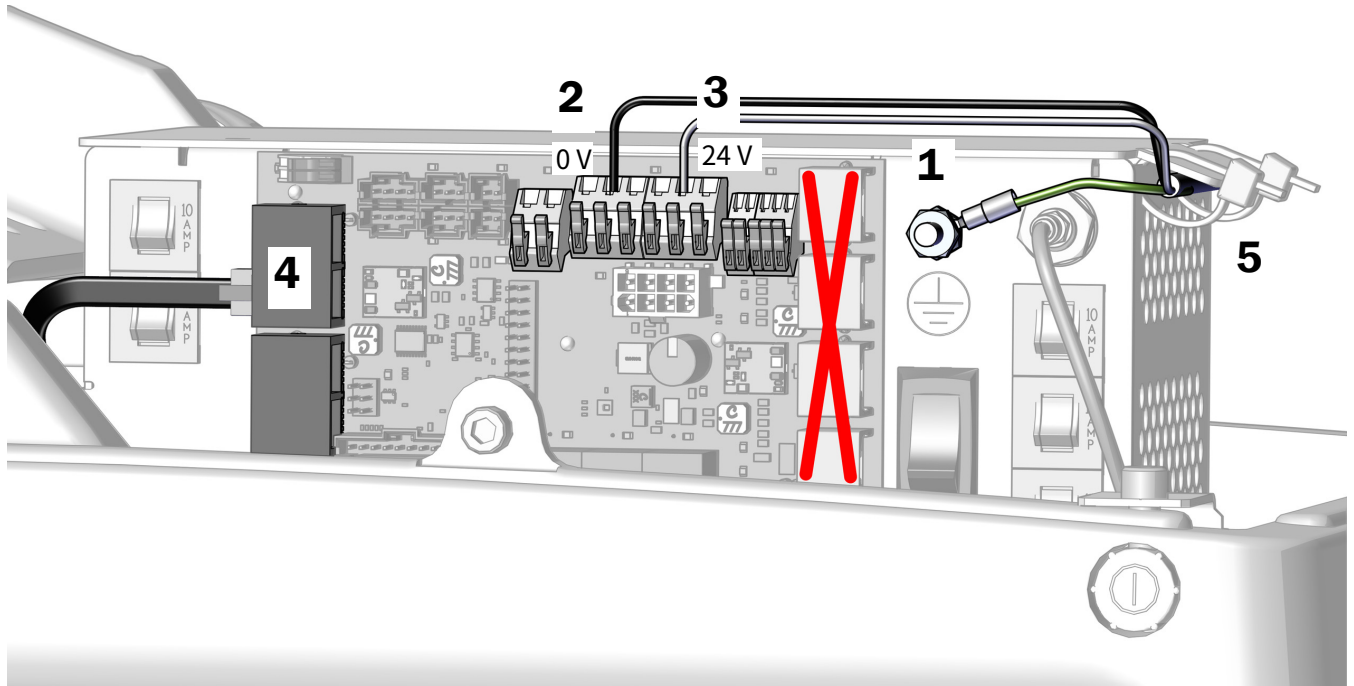
注意 黒の DCS1 データ回線を DCS2 ポートに差し込むと、製品が損傷することがあります。

4. データ回線をいずれかの DCS1 データポートに差し込みます。



注 すべてのチェアモジュールが取り付けられ、他のすべての電気接続が完了している場合のみ、次のステップを実行してください。そうでない場合は、電源装置への他のすべての電気接続が完了してから、このステップを実行してください。

5. システムモジュールのすべての電気接続が完了したら、ワイヤーを電源装置の縁の下に固定します。



次のステップ 58 ページの「フロアボックスユーティリティの接続」に進みます。

2023年6月以前に製造された A-dec 311/411 電源装置へのワイヤーとデータ回線の接続

A-dec 334pro/335pro デリバリーシステム.....48

A-dec 334/335 デリバリーシステム.....50

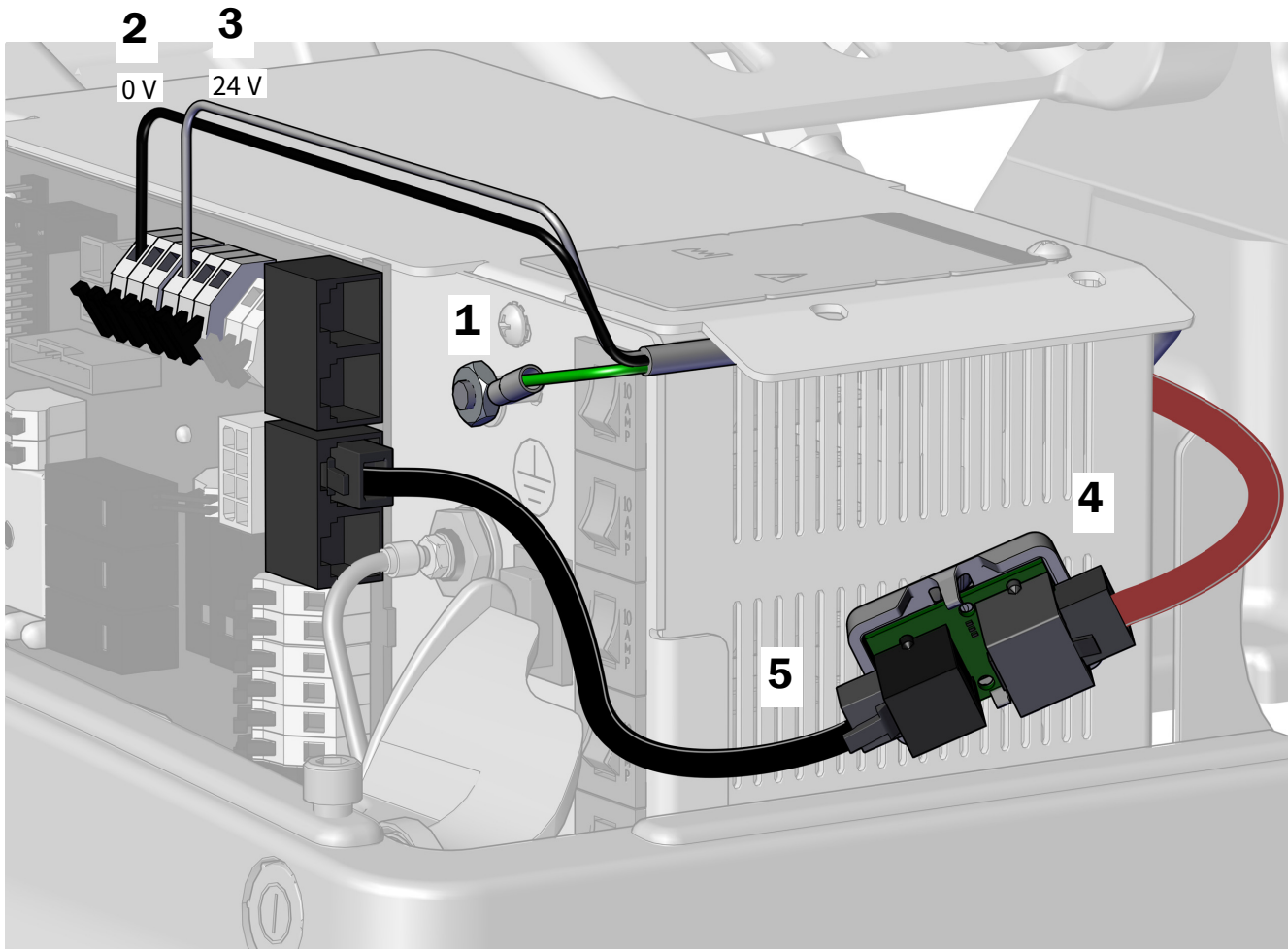
推奨する工具

- 斜ニッパー
- 3/8 インチのコンビネーション・レンチ

A-dec 334pro/335pro デリバリーシステム

手順 1.

1. アース線を電源装置の支柱に取り付けます。
2. 黒のワイヤーを 0 V に接続します。
3. グレーのワイヤーを 24 V に接続します。
4. 中継基板のグレーのポートを電源装置の背面に配置し、赤の DCS2 データ回線をグレーのポートに接続します。
5. 中継基板の黒いポートから、黒の DCS1 データ回線を電源装置のいずれかのデータポートに接続します。



手順 2.

1. 中継基板に付いている保護紙をはがします。



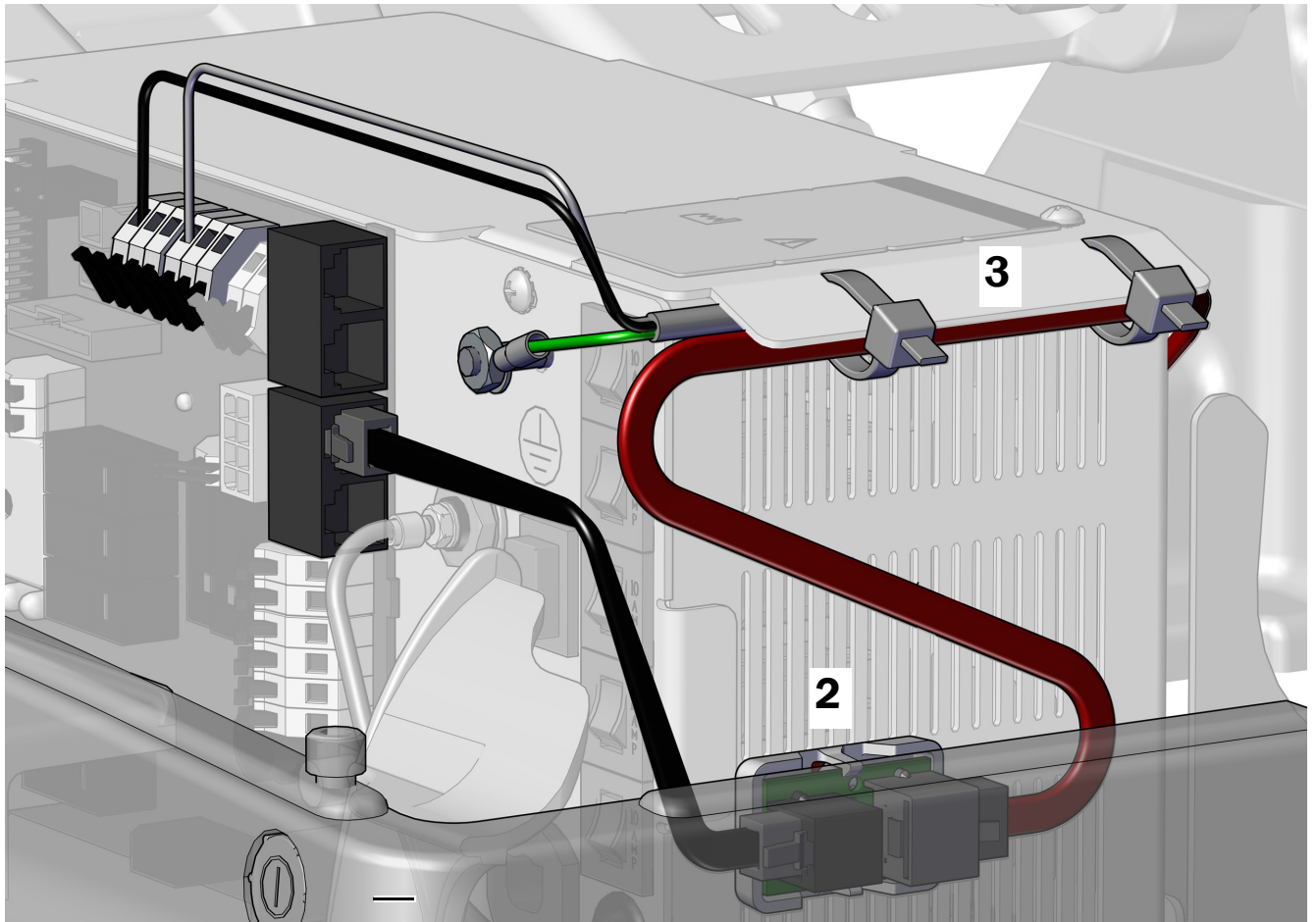
注意 他の装置への損傷や干渉を防ぐため、中継基板は必ずこの位置に取り付けてください。

2. 中継基板を電源装置の側面（チェアの足側を向いている方）に取り付けます。スタブおよび中央通気口の最下部に位置を合わせます。



注 電源装置にすでに発光ダイオード（LED）ライト用のアダプター基板が取り付けられている場合は、その下に中継基板を重ねてください。

3. すべてのモジュールを電源装置に接続したら、ワイヤーを電源装置の縁の下に固定します。



次のステップ 58 ページの「フロアボックスユーティリティの接続」に進みます。

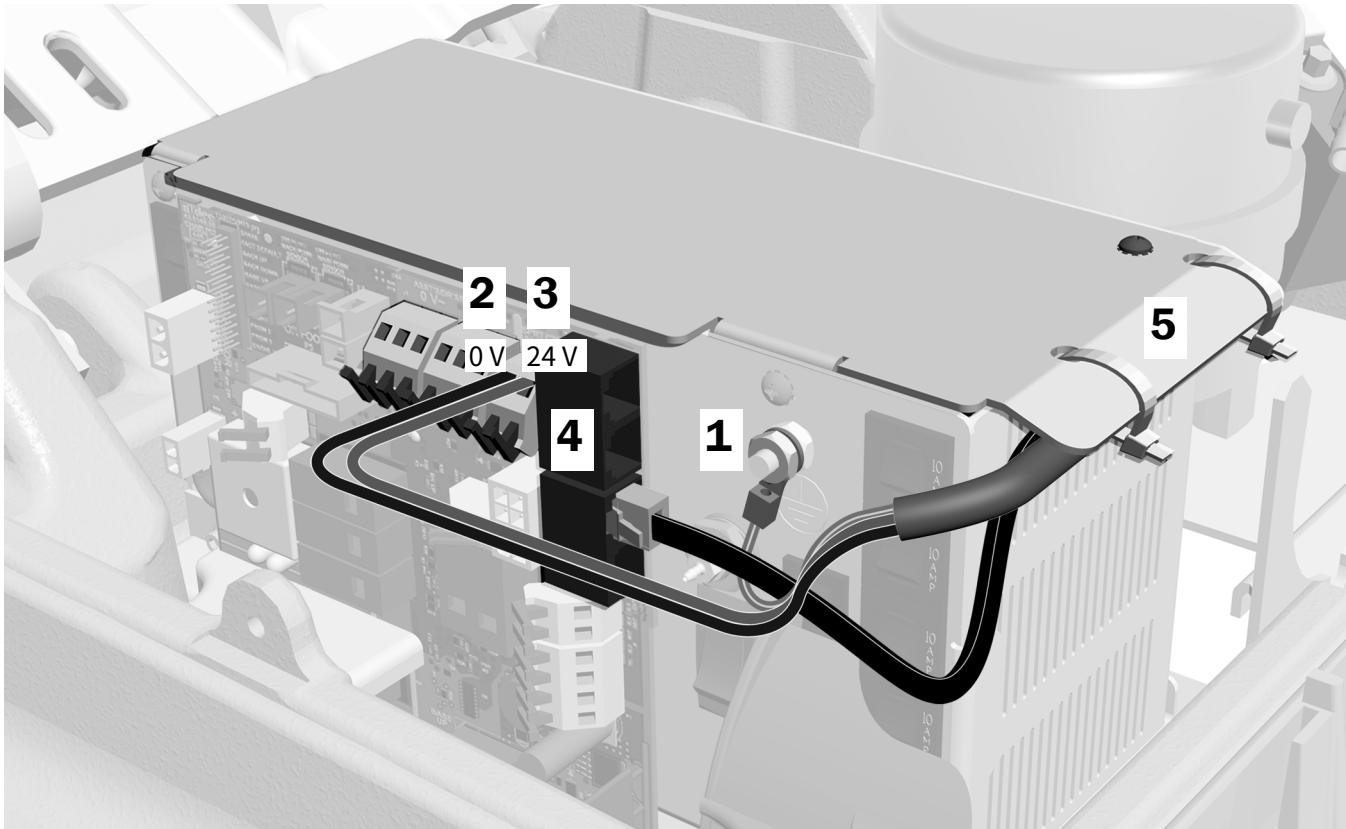
A-dec 334/335 デリバリーシステム

1. サポートセンターのアース線を接続します。
2. 黒のワイヤーをチェアの回路基板のサポートセンター接続（SPRT CTR）0 V ～に接続します。
3. グレーのワイヤーをチェアの回路基板のサポートセンター接続（SPRT CTR）24 V ～に接続します。
4. データ回線をいずれかの DCSI データポートに差し込みます。



注 すべてのチェアモジュールが取り付けられ、他のすべての電気接続が完了している場合のみ、次のステップを実行してください。そうでない場合は、電源装置への他のすべての電気接続が完了してから、このステップを実行してください。

5. システムモジュールのすべての電気接続が完了したら、ワイヤーを電源装置の縁の下に固定します。



次のステップ 58 ページの「フロアボックスユーティリティの接続」に進みます。

2023年6月以前に製造された A-dec 511 電源装置へのワイヤーとデータ回線の接続

システムの構成に適した手順を実行してください。

| | |
|-------------------------------------|----|
| A-dec 334pro/335pro デリバリーシステム | 51 |
| A-dec 334/335 デリバリーシステム | 53 |

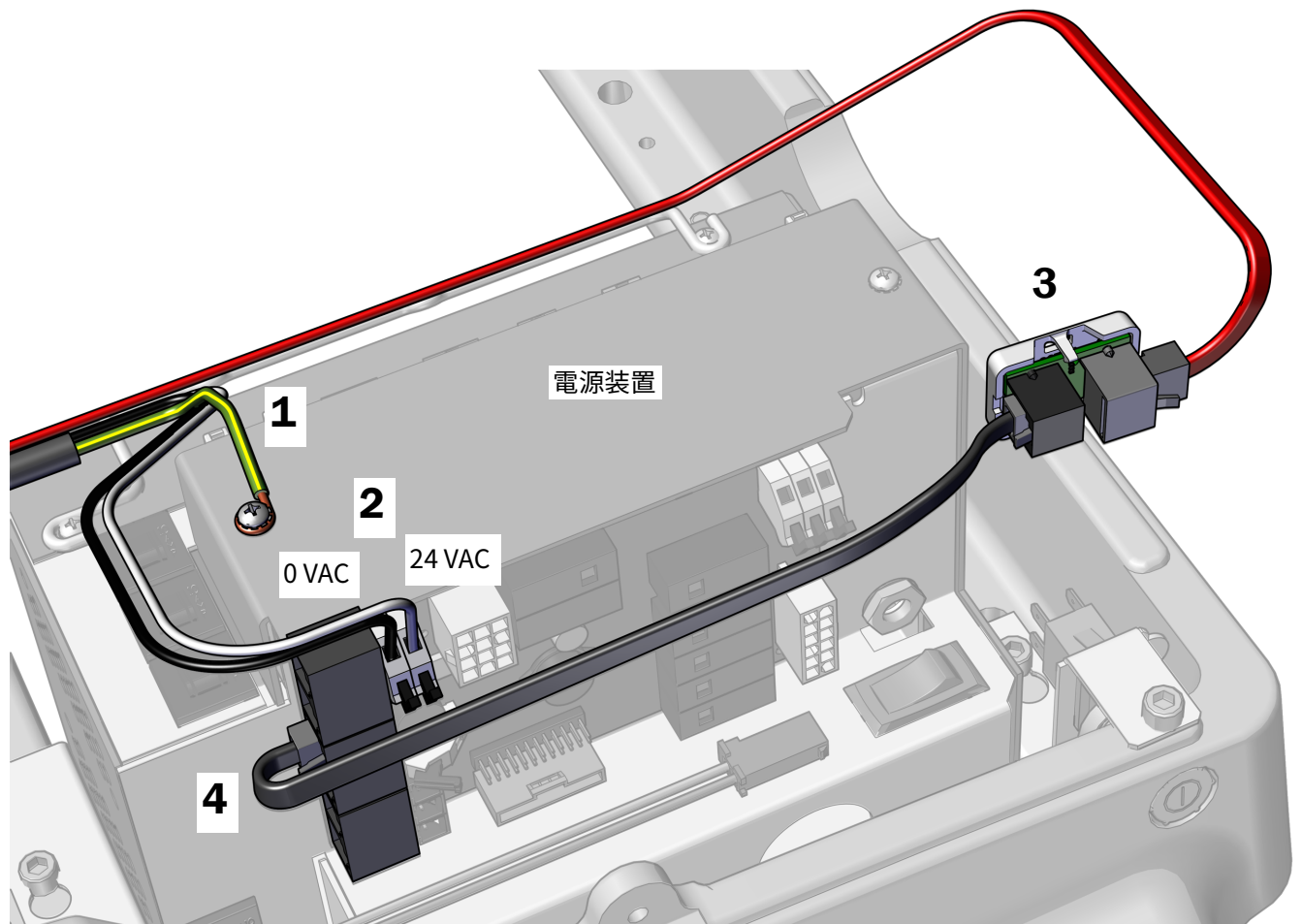
A-dec 334pro/335pro デリバリーシステム

推奨する工具

- プラスドライバー
- 斜ニッパー

手順 1.

1. プラスドライバーを使用して、アース線を電源装置の上部に接続します。
2. チェア基板の端子板の 0 VAC に黒のワイヤーを、24 VAC にグレーのワイヤーを接続します。
3. グレーの DCS2 ポートがチェアの足側を向くように中継基板を配置し、このグレーのポートに赤の DCS2 データ回線を接続します。
4. 中継基板の黒いポートから、黒の DCS1 データ回線を電源装置のポートに接続します。



手順 2.



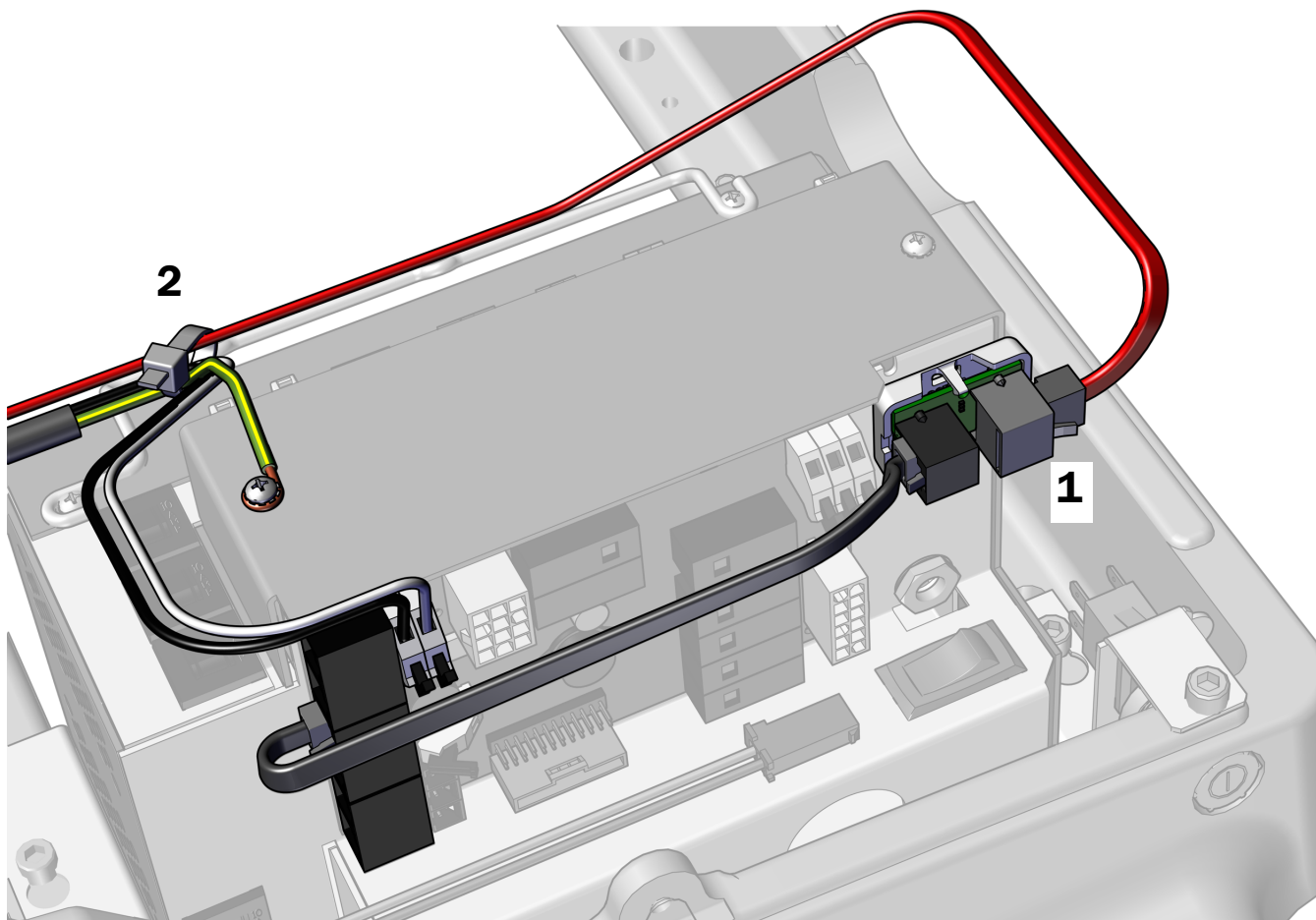
注意 中継基板は、電源装置シャーシの上部には取り付けないでください。ポンプカバーを適切に取り付けられなくなります。

1. 中継基板に付いている保護紙をはがします。中継基板を電源装置前面の右上隅に取り付けます。



注 電源装置にすでに発光ダイオード（LED）ライト用のアダプター基板が取り付けられている場合は、その下に中継基板を重ねてください。

2. ケーブル留めでワイヤーをベイルに固定します。



次のステップ 58 ページの「フロアボックスユーティリティの接続」を参照してください。

A-dec 334/335 デリバリーシステム

推奨する工具

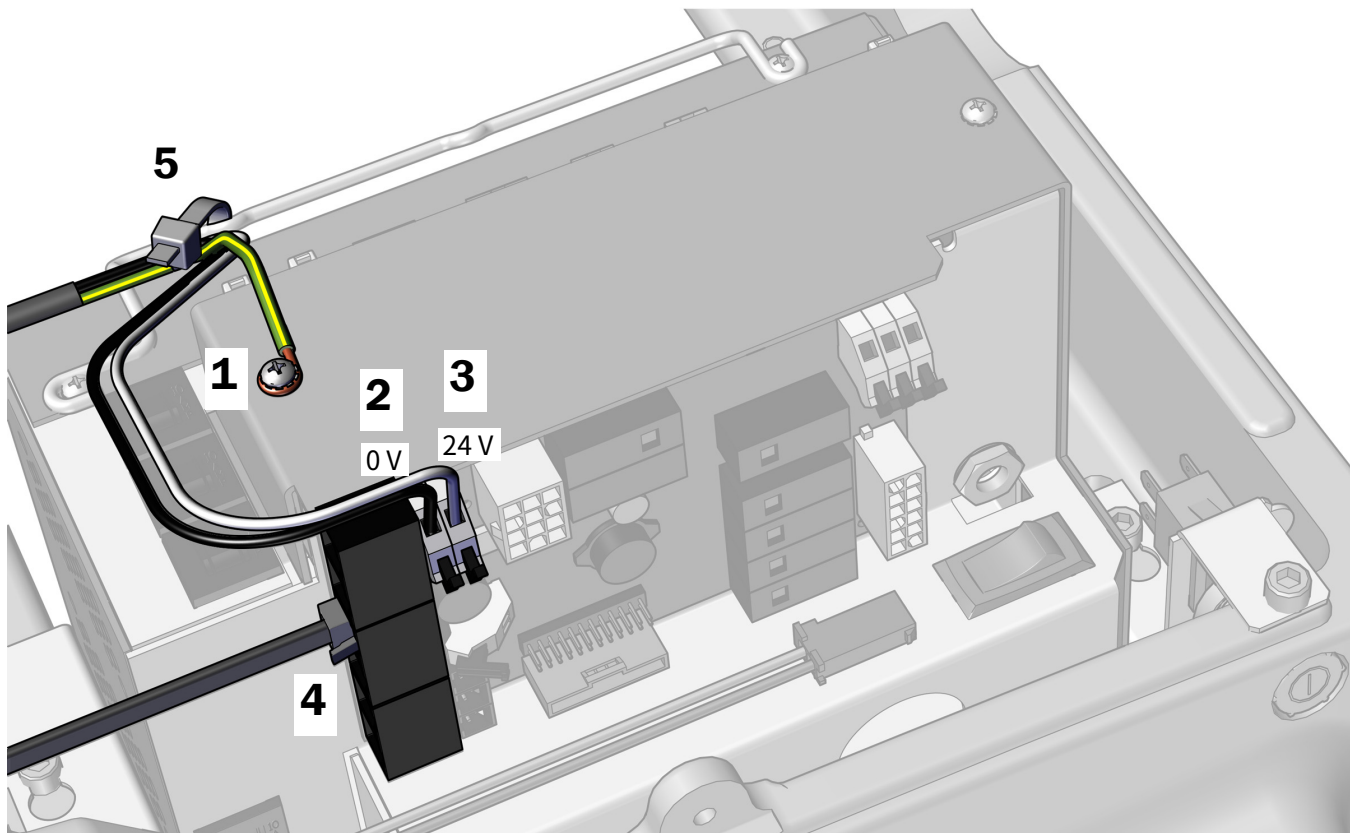
- プラスドライバー
- 斜ニッパー

1. デリバリーシステムのアース線を接続します。
2. デリバリーシステムのケーブルの黒のワイヤーを 0 V コネクタに接続します。
3. デリバリーシステムのケーブルのグレーのワイヤーを 24 V コネクタに接続します。



注 必要に応じて、1つの端子に複数のワイヤーを接続することができます。

4. データ回線をいずれかのデータポートに差し込みます。
5. システムモジュールのすべての電気接続が完了したら、ワイヤーを電源装置のベイルに固定します。



次のステップ 58 ページの「フロアボックスユーティリティの接続」に進みます。

Cascade、Decade、Performer、Priority 歯科用椅子、または他メーカーのチェアへのワイヤーとデータ回線の接続

推奨する工具

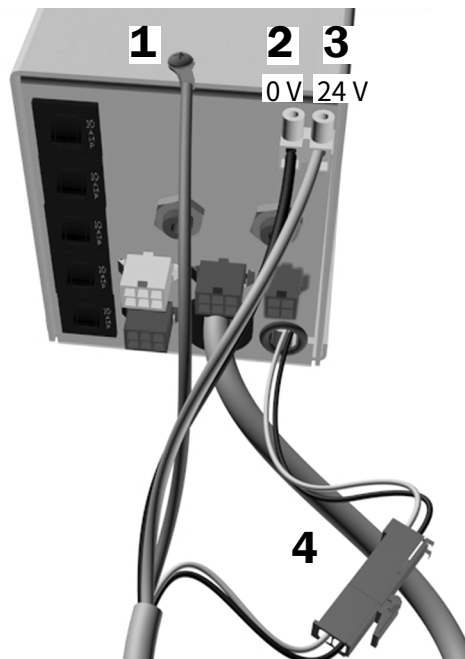
- プラスドライバー
- 斜ニッパー
- ワイヤーストリッパー

手順 1.



注 必ず、A-dec 100、110 ~ 120、または 220 ~ 240 VAC ISLN 電源装置を使用してください。

1. プラスドライバーを使用して、アース線を電源装置の上部にあるネジに接続します。システムにライトが含まれる場合は、歯科ライトリレー回路基板もこのネジで固定します。
2. 黒のワイヤーをチェアの回路基板のサポートセンター接続 0 V に接続します。
3. グレーのワイヤーをチェアの回路基板のサポートセンター接続 24 V に接続します。
4. 黒の 2 ポジションコネクタを、電源装置にある黒の 2 ポジション 24 VAC 分離リードに接続します。

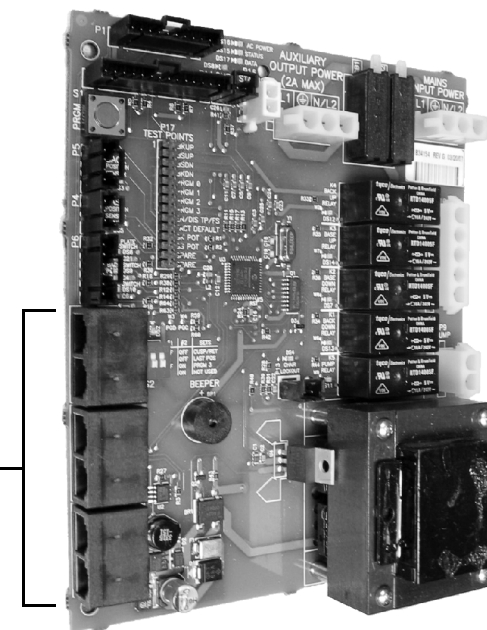


5. システムが DCS 機能に対応している場合は、データ回線をチェアの回路基板上のデータポートに接続します。チェア基板は、チェアの下にあります。



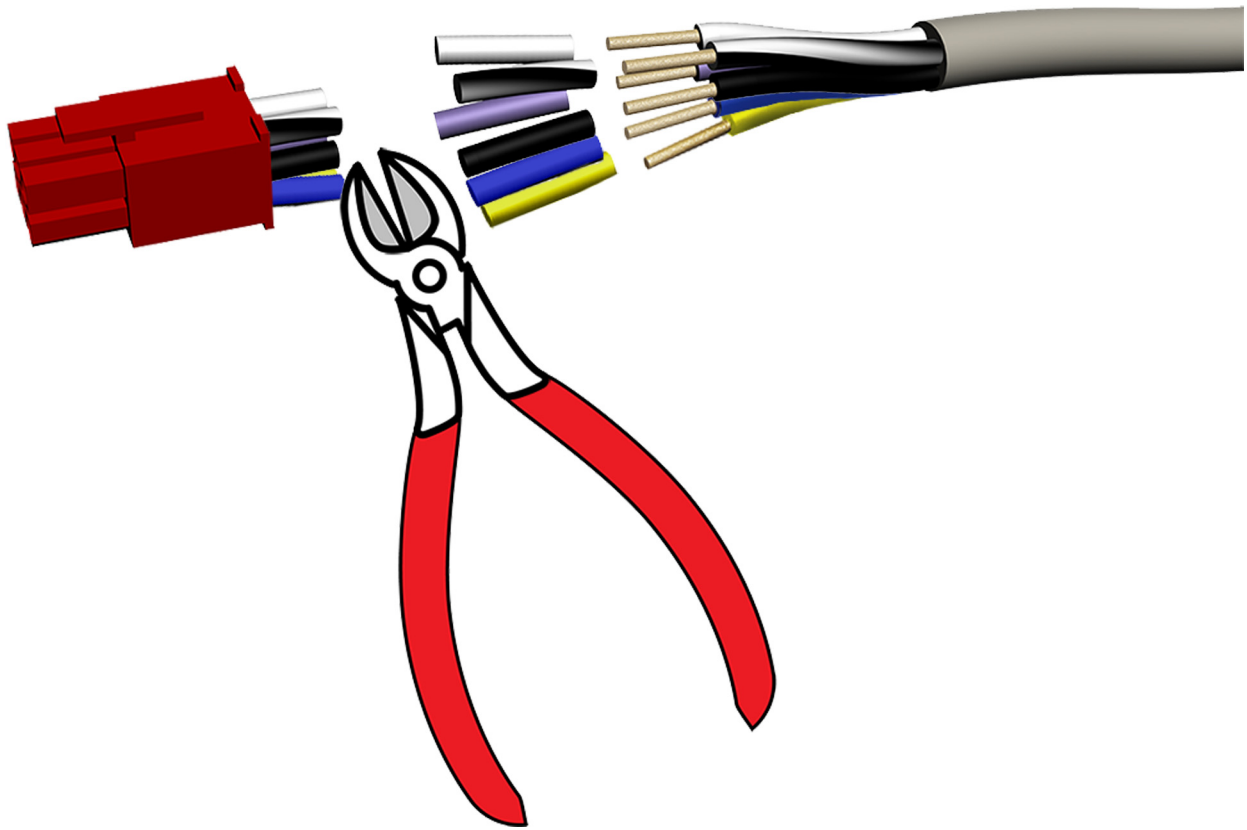
注 DCS 機能に対応していない A-dec システムは、アップグレード可能な場合があります。詳細については、A-dec カスタマーサービスにお問い合わせください。

5
データポート



データポートを備えたチェアの回路基板

手順 2.



1 赤のコネクタを切り離します。



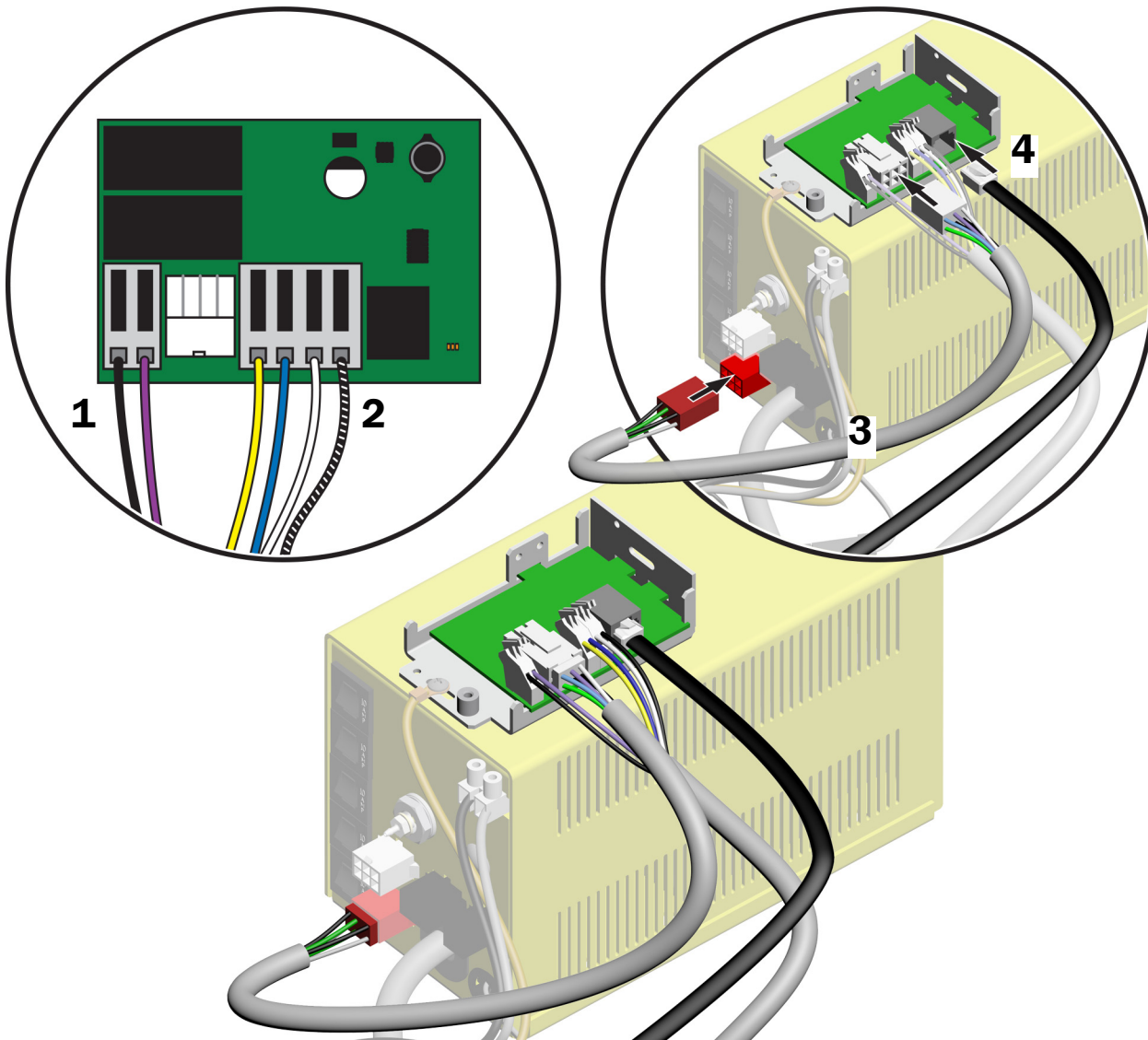
注 ケーブルが長すぎる場合は、適切な長さに切ります。



注意 外側の撚り線を意図せず取り除いてしまい、芯部の導線を傷めることがないように、芯部の導線に適したサイズのワイヤーストリッパーを使用してください。

2 ワイヤーの被膜を 10 mm (3/8 インチ) はがします。撚り線は 1.31 mm² (16 AWG) です。

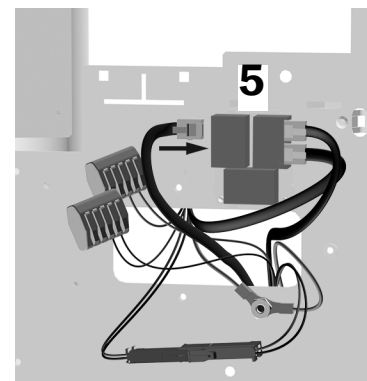
手順 3.



1. 黒と紫のワイヤーを端子板 J5 に接続します。
2. 黄色、青、白、黒 / 白の各ワイヤーを端子板 J6 に接続します。
3. キットに含まれている歯科ライトケーブルを接続します。
4. データ回線をリレー基板に接続します。

! **注** このデータ回線は、残りのチューブやワイヤーとともにコンポリュートを通して配線する必要があります。
39 ページの「リモートフロアボックスへの配線・配管」を参照してください。

5. サポートセンターで、データ回線の他方の端をデータポートに接続します。

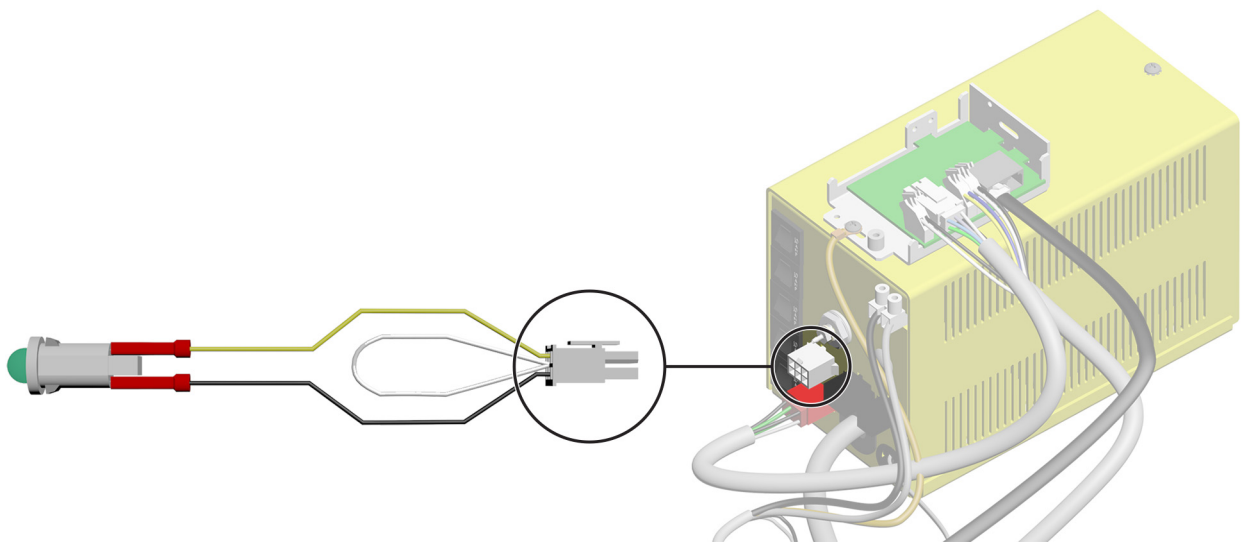


手順 4.



- 1 黒と黄色のワイヤーを発光ダイオード（LED）インジケータライトに接続します。

手順 5.



- 1 インジケータライトのケーブルを電源装置に接続します。

フロアボックスユーティリティの接続

システムの構成に適した手順で接続を行います。

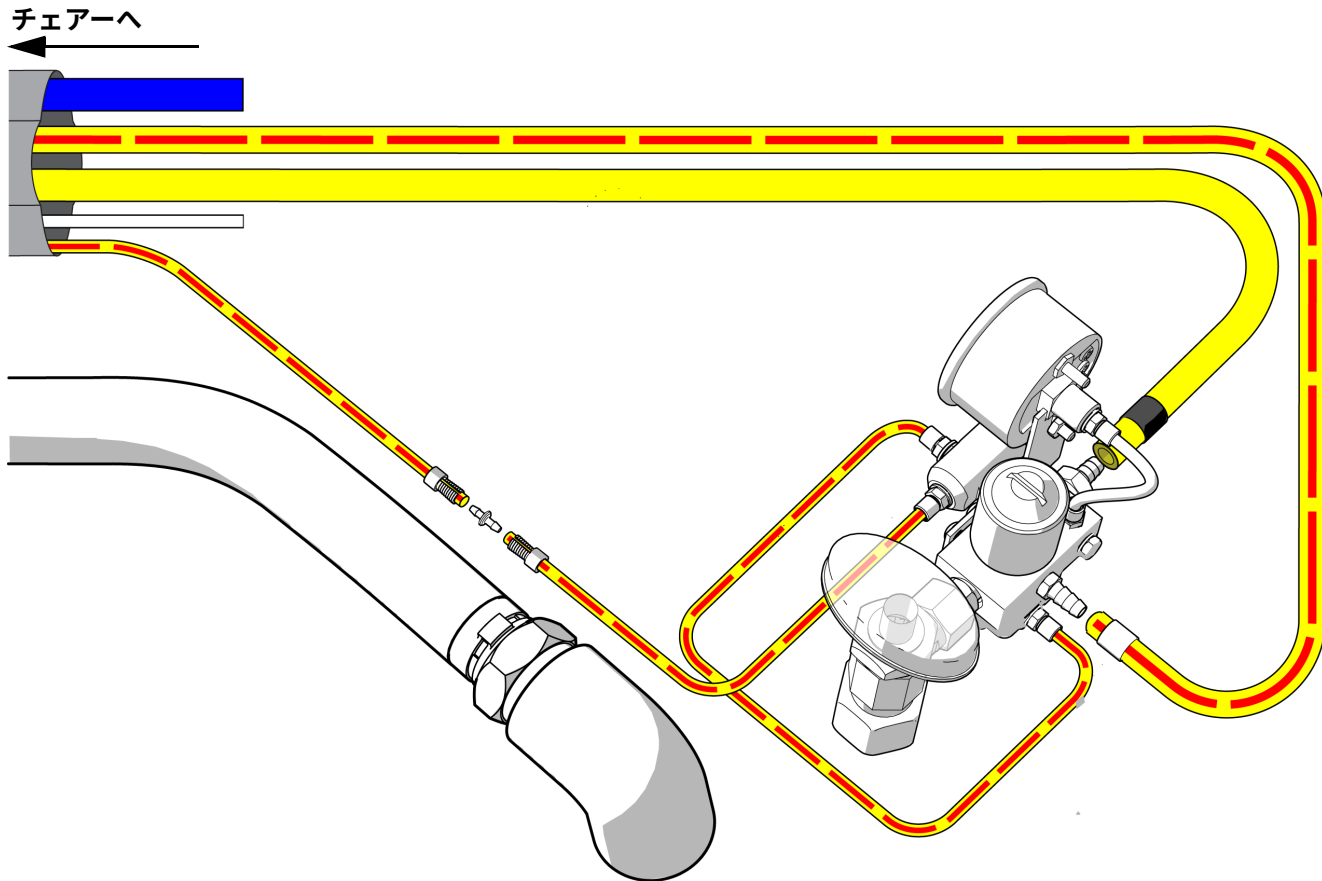
| | |
|---------------------------|----|
| デリバリーシステムのための接続..... | 58 |
| 複数のモジュールが含まれるシステムの接続..... | 59 |

デリバリーシステムのための接続

システムにデリバリーシステム以外のモジュールが含まれていない場合は、この図を使用します。

推奨する工具

- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー



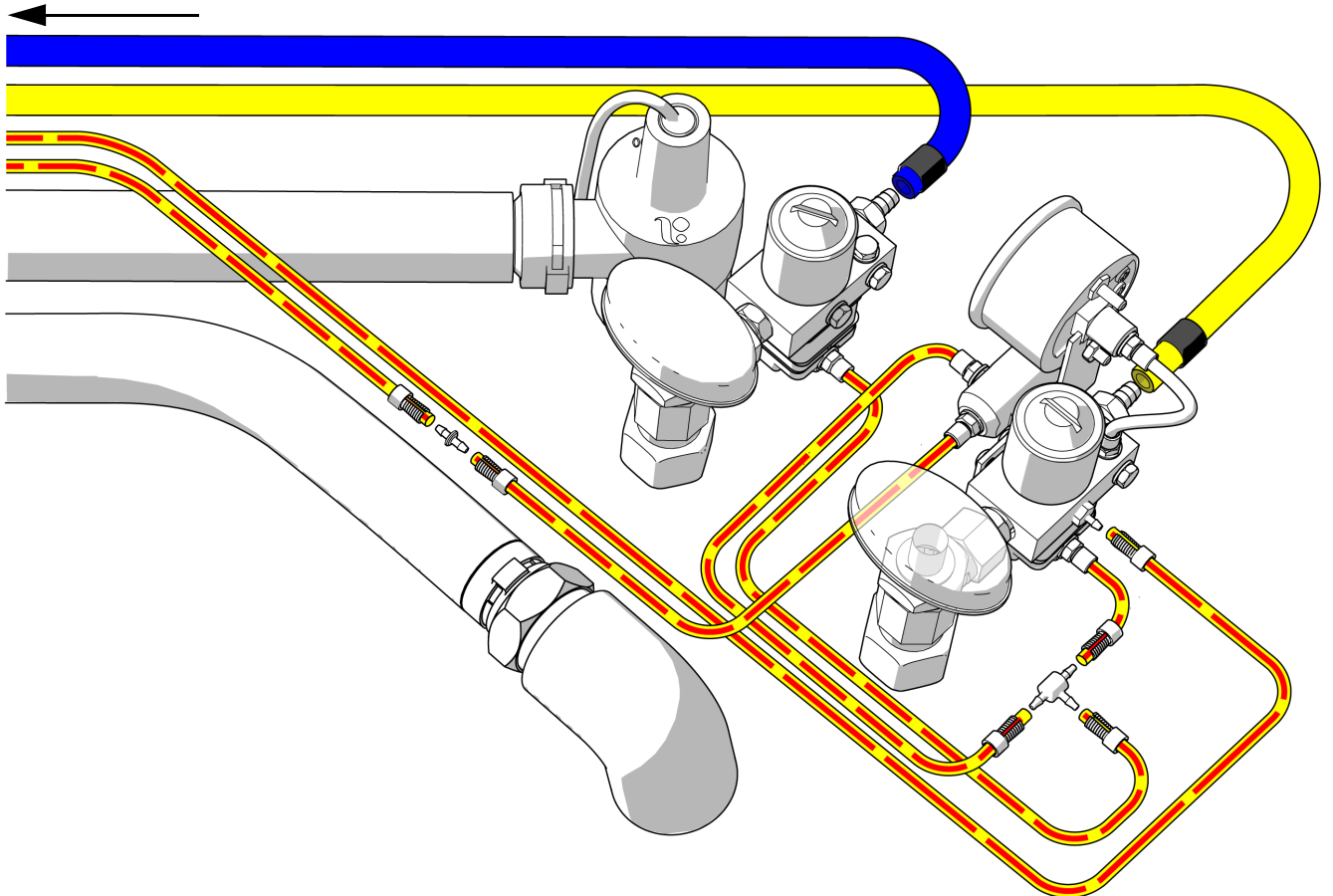
複数のモジュールが含まれるシステムの接続

システムにデリバリーシステム以外にもモジュールが含まれている場合は、この図を使用します。

推奨する工具

- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー

チェアへ



湿分分離器の取り付け（オプション）

湿分分離器の取り付けについては、湿分分離器キットに同梱されている説明書を参照してください。

システムの準備

ウォーターボトルの取り付け

手順 1.



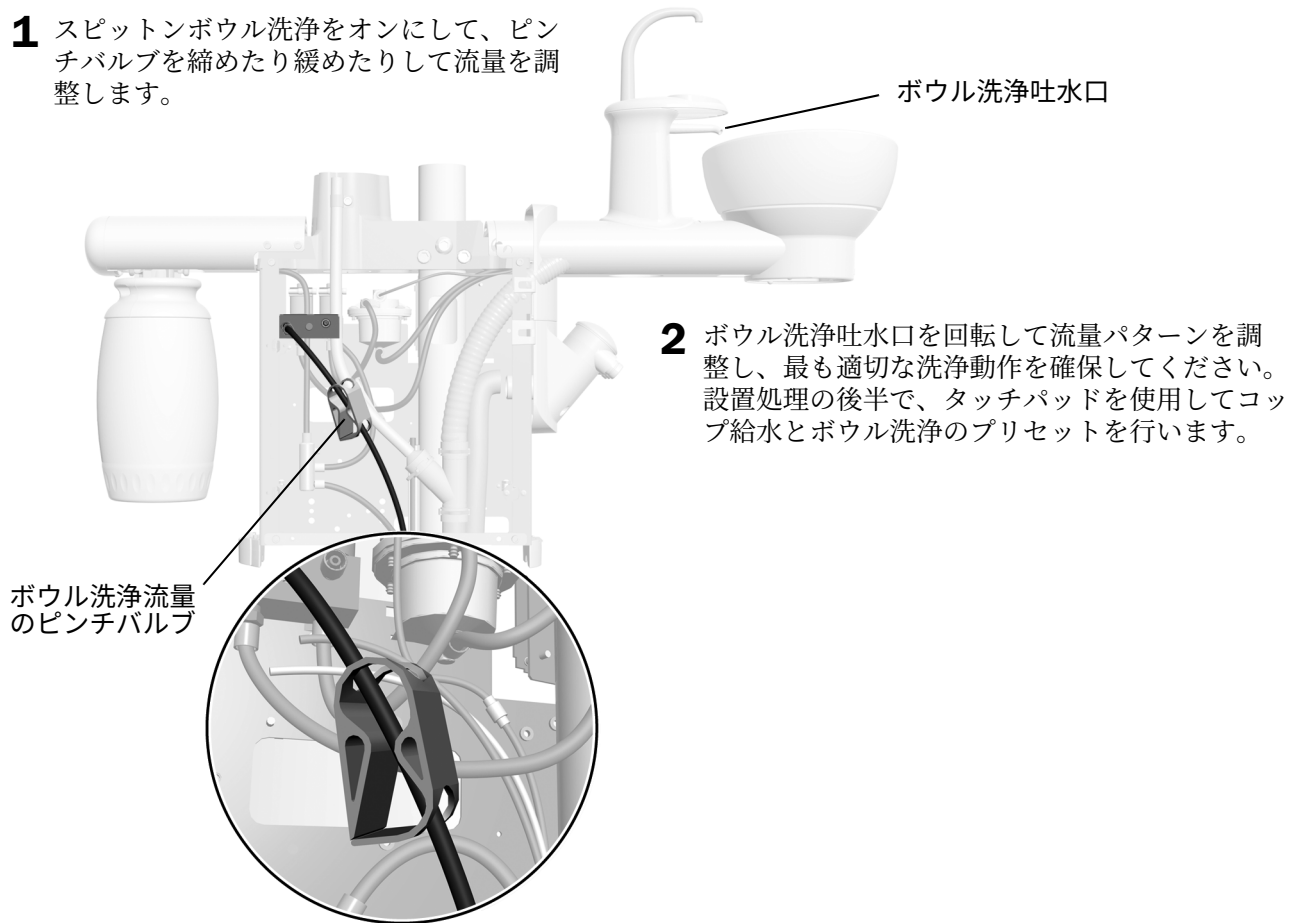
重要 A-decでは、システムの初回使用前に、歯科チームで歯科治療ユニットウォーターラインのショックトリートメントを実行すること、また継続的なウォーターライン保守プログラムを確立することをお勧めしています。詳細については、『ウォーターライン保守ガイド』（部品番号 (P/N) 85.0983.05) および『A-dec 内蔵型給水システム使用方法』（部品番号 (P/N) 86.0609.05) を参照してください。



- 1** レセプタクルの O リングに A-dec シリコン潤滑油を塗布します。
- 2** ウォーターボトルを持ち上げてウォーターボトルレセプタクルに押しかぶせ、右に回転させます。

スピットンボウル洗浄流量の設定の調整

- 1 スピットンボウル洗浄をオンにして、ピンチバルブを締めたり緩めたりして流量を調整します。



システムの調整

システムのモジュールを調整する方法については、機器に同梱されているサービスガイドを参照してください。

システムの水平調整

システムが水平になるように調整するには、以下のセクションの手順を実行します。システムを水平にすることで、モジュールの位置がずれたり器具がトレイ上で転がったりするのを防止できます。



注 システムを手際よく水平にするには、表示された順序に従って以下のセクションを完了することが肝要です。

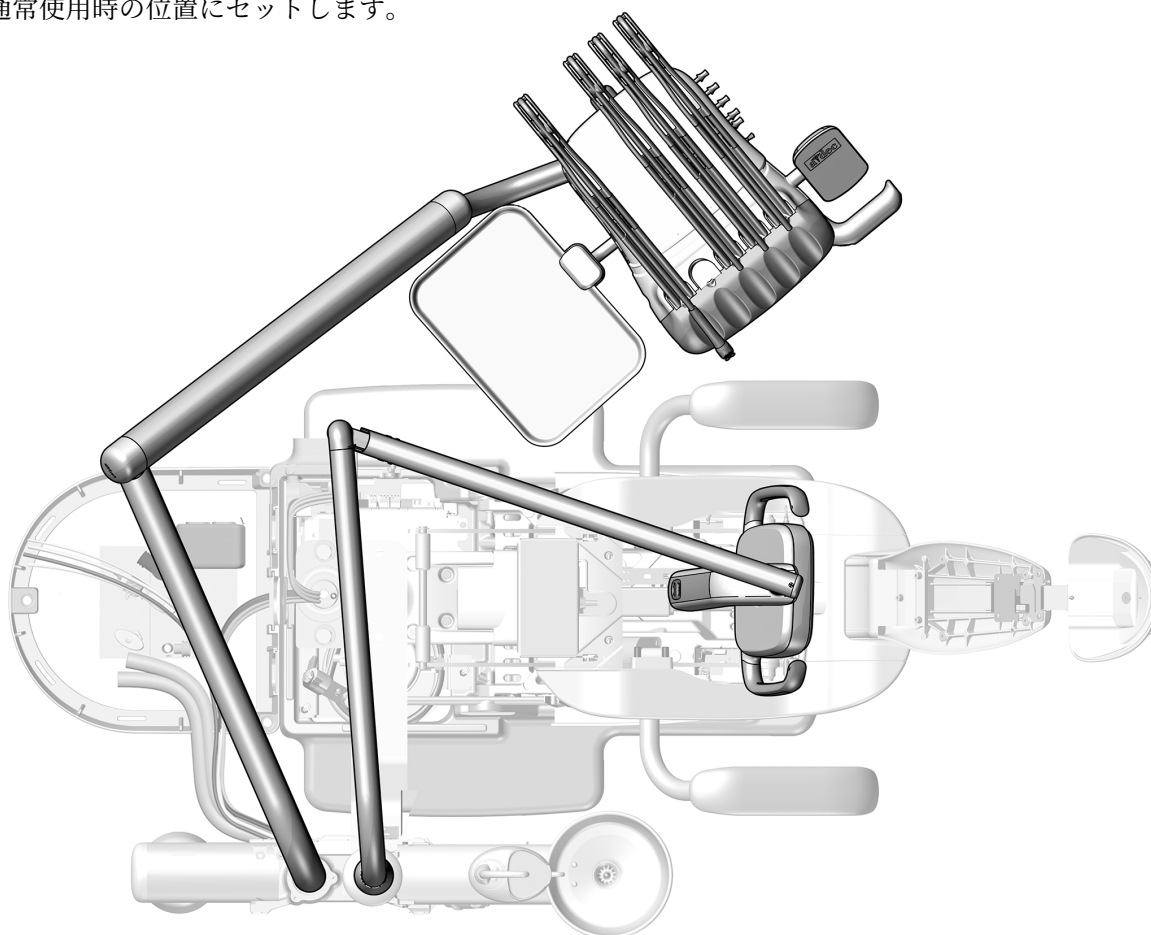
サポートセンターの水平調整

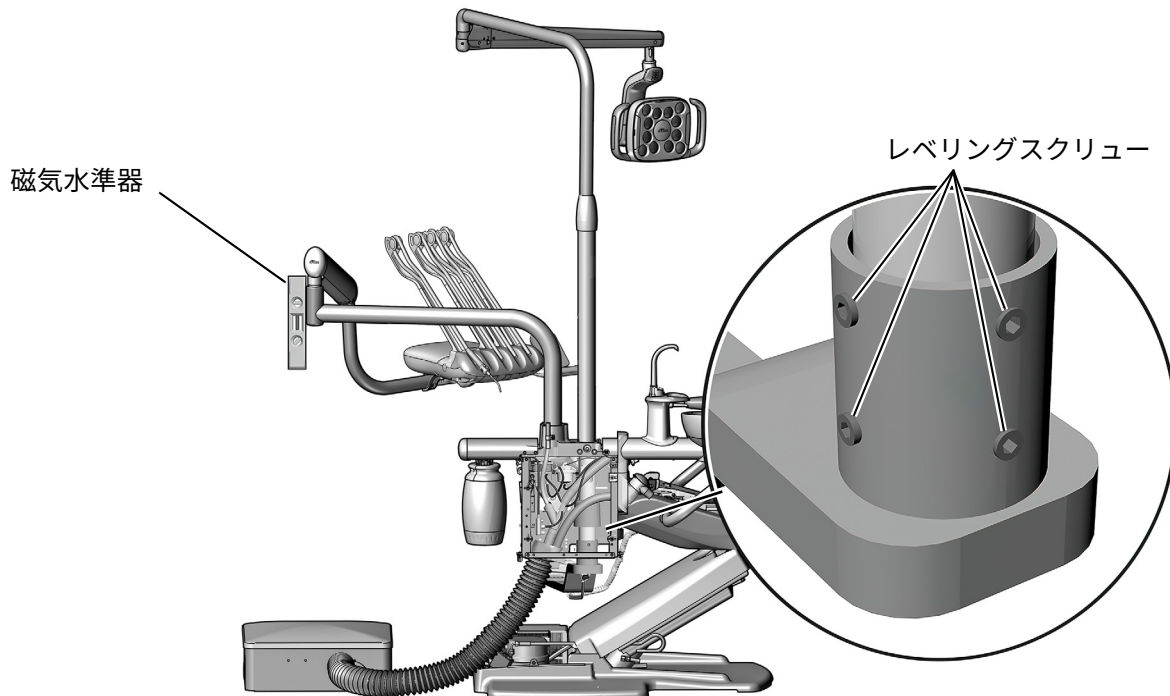
推奨する工具

- 磁気水準器
- 3/16 インチの六角レンチ

手順 1.

- 1 チェア、コントロールヘッド、歯科ライトを、医師による通常使用時の位置にセットします。



手順 2.

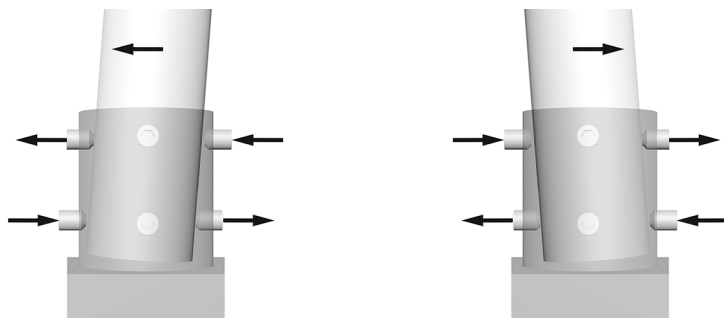
- 1 磁気水準器をデリバリーシステムの固定アームのナックルに垂直に置きます。支柱の根元のマウントのレベリングスクリューを調整して、傾きを修正します。



ヒント 所定の位置に水準器を保持するため、必要に応じて短いテープを1本使用します。

手順 3.

- 1 傾きを変更するには、マウントの上下にあるレベリングスクリューを互いに反対方向に調整します。どのスクリューを締めたり緩めたりするかは、修正したい傾きの方向によって決まります。レベリングスクリューは、2本を1組として締めたり緩めたりします。



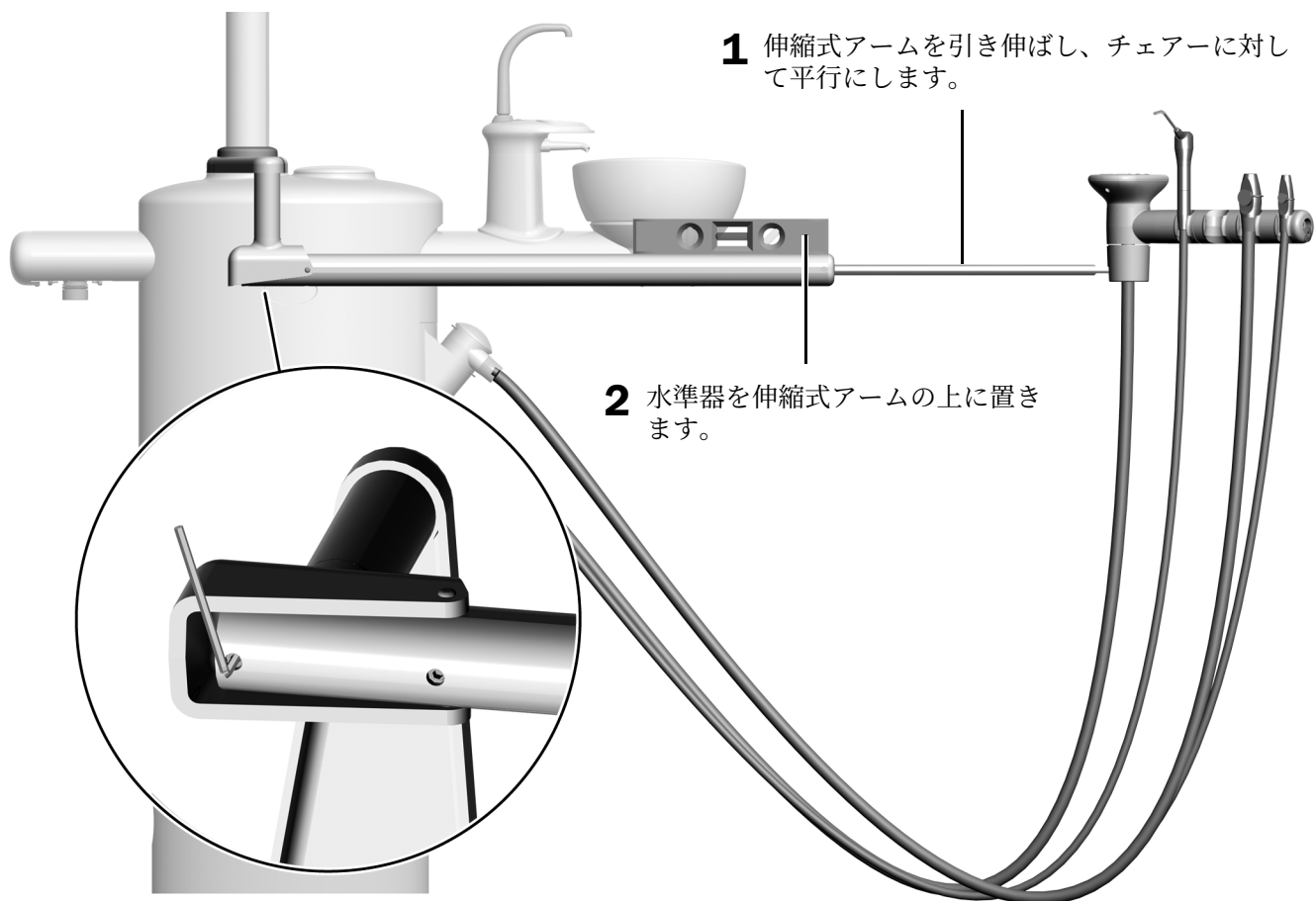
- 2 マウントの周囲にある8本すべてのレベリングスクリューを調整して、支柱が垂直になり、デリバリーシステムがずれなくなるようにします。

歯科助手用器具の伸縮式アームの水平調整

推奨する工具

- 1/8 インチの六角レンチ

手順 1.



- 3** 六角レンチを使用してアームを水平にします。

デリバリーシステムの水平調整

推奨する工具

- 5/32 インチの六角レンチ
- 水準器

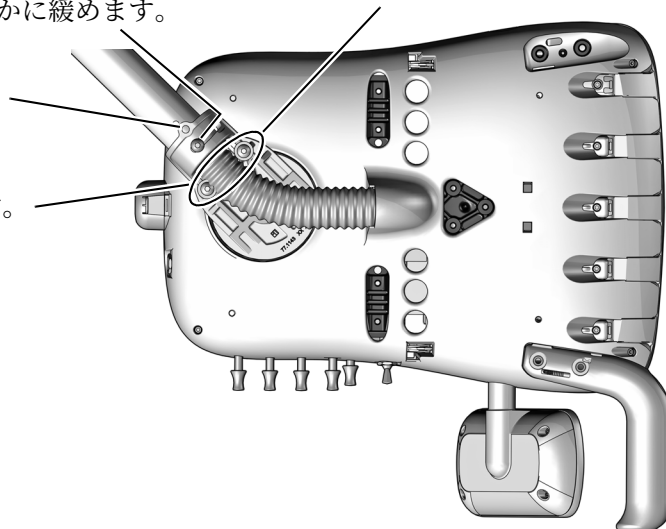
手順 1.



- 1** コントロールヘッドを通常使用時の位置にセットした状態で、フレックスアームと直線上に並ぶように動かします。
- 2** 水準器をトレイ・ホルダーまたはコントロールヘッドの上に置きます。

手順 2.

- 1** レベリングスクリューをわずかに緩めます。
- 2** ボタンボルトをわずかに緩めます。
- 3** 前後を水平に調整します。
- 4** 左右を水平に調整します。
- 5** ボタンボルトを締めます。



タッチコントロール操作

お使いのシステムのタッチコントロールインターフェースの種類に応じたセクションを参照してください。

| | |
|--|----|
| CP5i/CP5 コントロールパッドによるスピットンの操作 | 66 |
| A-dec 300 Deluxe/ 標準タッチパッドでのスピットンの操作 | 67 |
| 取り付けられたモジュールの操作 | 68 |



注 タッチコントロール上の記号やアイコンは、A-dec, Inc. の専有物です。

CP5i/CP5 コントロールパッドによるスピットンの操作



タッチスクリーンとコントロールパッドの使用については、以下のリンクから『A-dec タッチスクリーンおよびコントロールパッド使用方法』（部品番号（P/N）86.0857.05）を参照してください。

a-dec.com/touchscreen-manual



接続機能の設定については、以下のリンクから『A-dec+™ 使用方法』（部品番号（P/N）86.1030.05）を参照してください。

a-dec.com/connectivity-manual



A-dec 300 Deluxe/ 標準タッチパッドでのスピットンの操作







注 タッチコントロール上の記号やアイコンは、A-dec Inc. の専有物です。



標準タッチパッドの図

コップ給水およびボウル洗浄のオン / オフの切り替え




タッチパッドアイコンまたはスピットンボタンを使用して、コップ給水およびボウル洗浄機能を制御します。

| アイコン/機能 | 動作/オプション |
|---|---|
| コップ給水 タッチパッド  スピットン  | スピットンからコップに注入される流量を制御します。 <ul style="list-style-type: none"> 1 回押すと、時限操作を行います。給水の工場出荷時のプリセットは 2.5 秒です。 長押しすると、手動操作が可能です。 |
| ボウル洗浄 タッチパッド  スピットン  | スピットンボウルに洗浄水を供給します。 <ul style="list-style-type: none"> 1 回押すと、時限操作を行います。洗浄の工場出荷時のプリセットは 30 秒です。 2 回押すと水流が継続し、1 回押すと止まります。 長押しすると、手動操作が可能です。ボタンを離すと水が止まります。 |





コップ給水およびボウル洗浄時間のカスタマイズ

コップ給水とボウル洗浄時間は、タッチパッドまたはスピットンで設定できます。

時間のカスタマイズ（タッチパッドから）

1. タッチパッドの  を長押しします。ビーブ音が 1 回鳴ったらボタンを離します。
2. 5 秒以内に、目的の時間にわたって  または  を長押しします。
3. ビーブ音が 3 回鳴り、新しい設定が保存されたことを示します。

時間のカスタマイズ（スピットンから）

1. コップ給水用吐水口の下にある  と  を長押しします。ビーブ音が 1 回鳴ったらボタンを離します。
2. 5 秒以内に、目的の時間にわたって  または  を長押しします。
3. ビーブ音が 3 回鳴り、新しい設定が保存されたことを示します。

取り付けられたモジュールの操作

システムのモジュールのタッチコントロール設定については、機器に同梱されているサービスガイドを参照してください。

システムのテスト

サポートセンターとモジュールの設置が完了したら、次のチェックリストを使用してシステムをテストします。

ユーティリティ

- 空気圧が 552 kPa (5.52 バール) に調整されているか。
- フロアボックスに空気および水の漏れがないか。
- チューブや接続にねじれがないか、また空気や水の漏れがないか。
- 余分なチューブやワイヤーがコイル状に巻かれて可動部品から離れた場所に収められているか。

歯科助手用器具、スピットン、コップ給水

- バキューム / 吸引が以下の仕様に従って設定されているか：
 - ウェットバキューム - 最小 34 ± 7 KPa (10 ± 2 インチ Hg)、255 sl/分 (9 SCFM)
 - ドライ / セミドライバキューム - 最小 16 ± 3.5 KPa (4.5 ± 1 インチ Hg)、340 sl/分 (12 SCFM)
- 空気および水のシリンジボタンは滑らかに作動するか
- HVE および排唾管に装備されたバルブの動作に支障はないか
- コップ給水の時間は適切に設定されているか
- スピットン流量パターンはボウルを効果的に洗浄し、ボウル排水は正常か
- スピットンベンチレーションチューブの終端がサポートセンターのフレームの 13 mm (1/2 インチ) 上に位置しているか
- スピットンボウルとアームレストの間に 29 mm (1-1/8 インチ) のクリアランスがあるか

追加モジュール

追加モジュールのテストチェックリストについては、機器に同梱されているサービスガイドを参照してください。

カバーの取り付け



警告 感電の危険があります。カバーを外したり元に戻す際には、ワイヤーやチューブに損傷を与えないよう注意してください。また、カバーを再度取り付け後は、しっかりと固定されていることを確認してください。



注 システムを調整、テストしてからカバーを取り付けます。

トリムキャップの取り付け

システムにデリバリーシステム、歯科ライト、またはモニターがない場合は、これらのモジュール用のポストホールにトリムキャップを取り付けてください。

推奨する工具

- プラスドライバー

サポートセンターポストホール用トリムキャップ



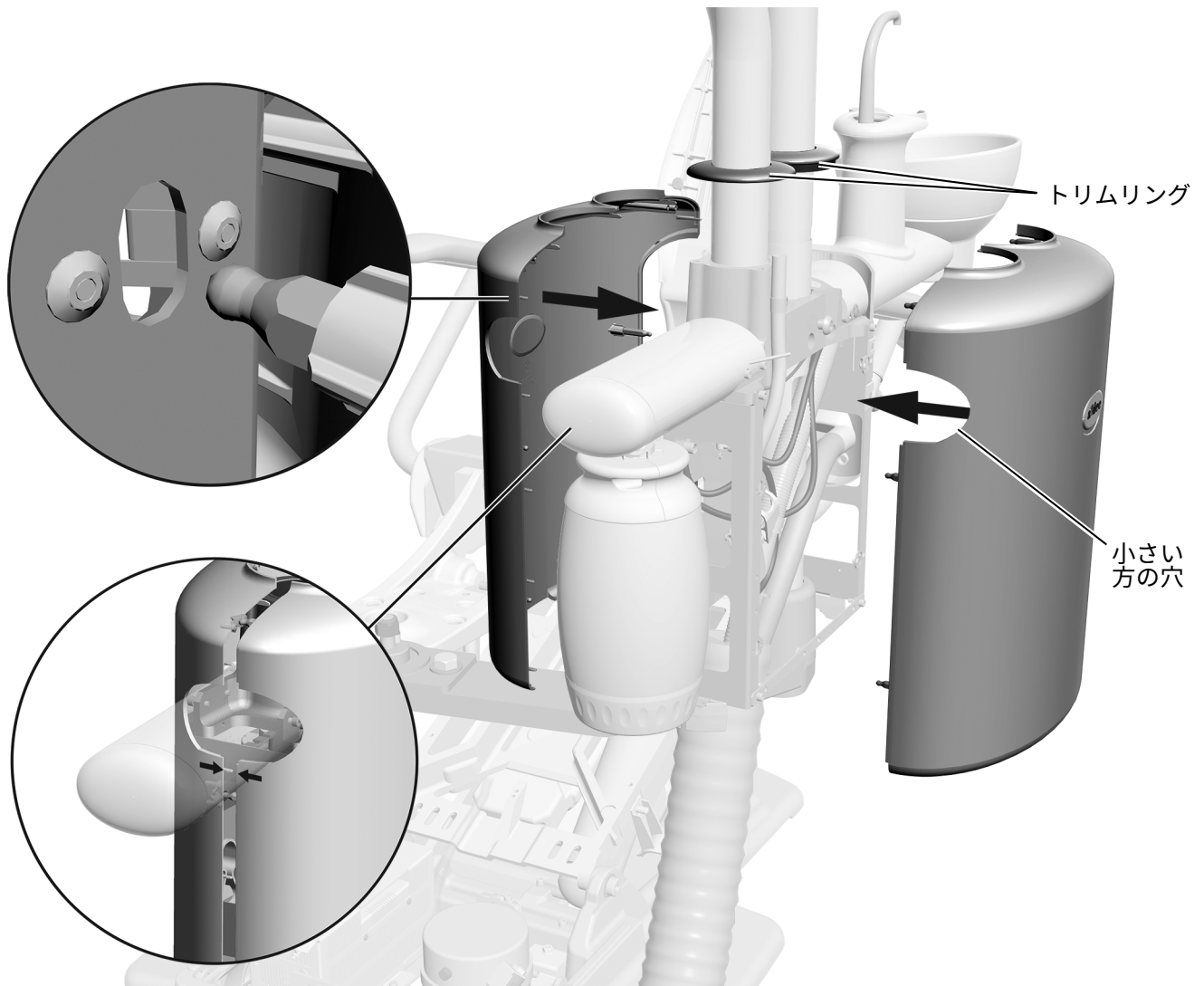
- **サポートセンターポストホール**：プラスドライバーと 6-19 x 1.2 インチのネジを使用して、フローチャートに示されていないサポートセンターのカバーにトリムキャップを取り付けます。
- **間柱**：システムの間柱にモニターが取り付けられていても、歯科ライトがない場合は、間柱の端部にトリムキャップを押し込みます。
- **歯科助手用器具ハブ**：システムの伸縮式アームに歯科助手用器具が取り付けられていても、デリバリーシステムがない場合は、ハブの上部にトリムキャップを押し込みます。



間柱および歯科助手用器具ハブのトリムキャップ

サポートセンターのカバーの取り付け

1 支柱のトリムリングを上にはスライドさせます。



2 カバーをサポートセンターの適切な側にそれぞれ配置します。側面の小さい方の穴がチェアの足側を向くようにします。

3 カバーの小さいピンをサポートセンターフレームの穴に挿入し、一方のカバーの大きいピンを他方のカバーのコネクタに挿入します。

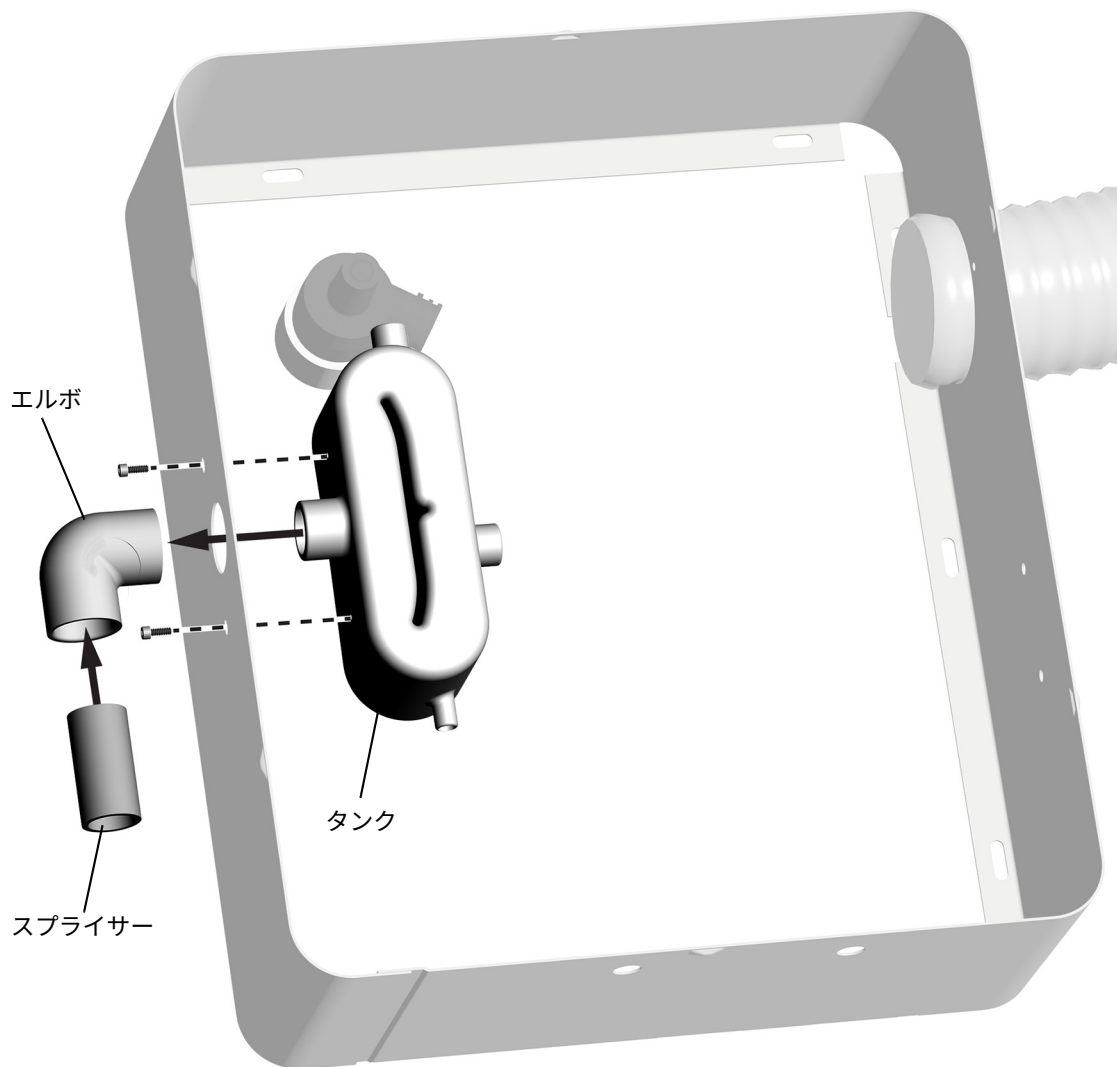
4 トリムリングを下にはスライドさせます。

付録 A：エアバキュームシステム（AVS）の接続

AVS タンクと排気管の取り付け

推奨する工具

- 5/64 インチの六角レンチ



1. フロアボックスの側面にある 32 mm（1.25 インチ）の穴にエア排出スタップを挿入します。
2. 六角レンチと 2 本の 3/8 インチのソケットスクリューを使用して、タンクをフロアボックスに取り付けます。
3. エルボをエア排出スタップに取り付けます。
4. エルボにスプライサーを挿入します。

AVS チューブの接続

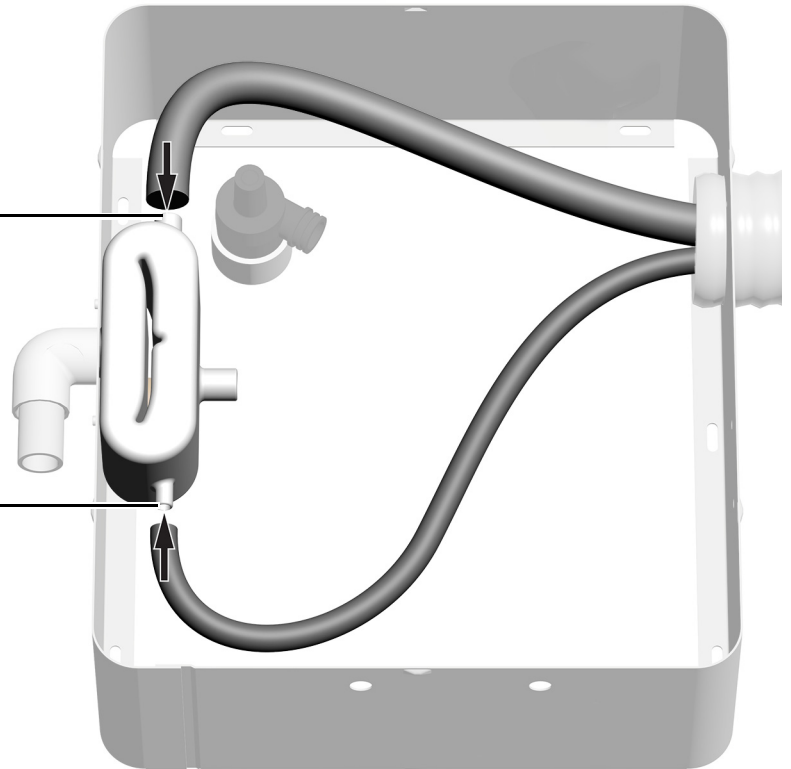
推奨する工具

- 斜ニッパー
- 1/4 インチコンビネーション・レンチ

手順 1.

- 1** HVE チューブを HVE インレットに接続します。

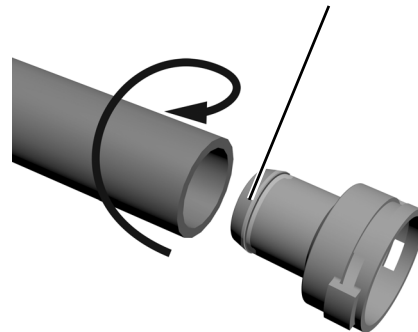
- 2** 排唾管を排唾管吸込み口に接続します。



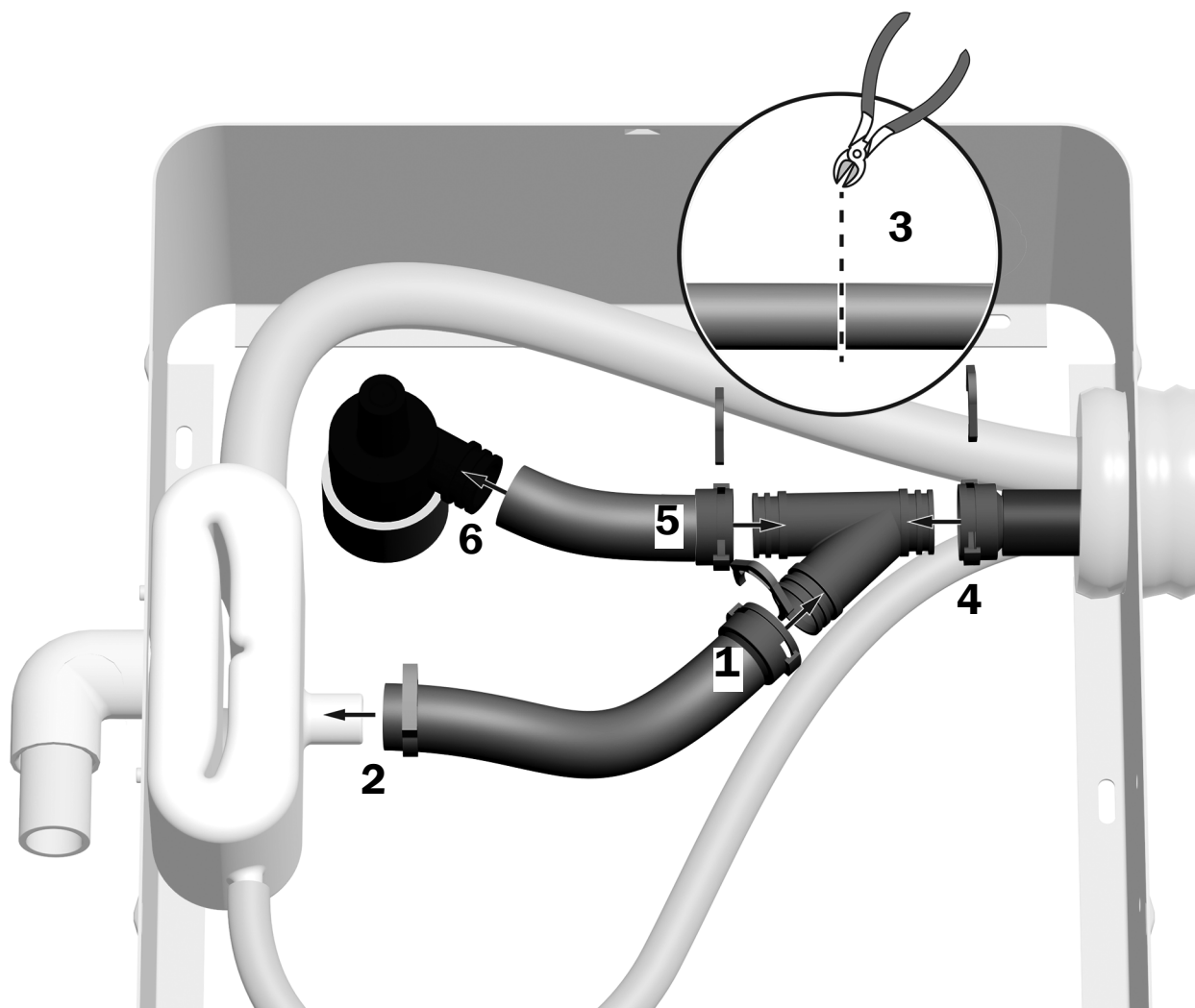
手順 2.

- 1** Y コネクタの上部からアダプターを取り外し、そのリップに Loctite[®] 411™ を塗布します。

- 2** 20 mm のチューブを回転させながらアダプターに押しかぶせます。20 mm のチューブはキットに含まれています。



手順 3.



1. アダプターを Y コネクタの上部に再度取り付けます。
2. ラチェット式クランプを使用して、チューブの他方の端を液体分離器ドレインに取り付けます。
3. スピットンの排水管をドレインにつなぎ、Y コネクタをチューブの横に置きます。Y コネクタの上部に至る位置でチューブを切断します。
4. アダプターと Loctite[®] を使用して、サポートセンターからのスピットン排水管を Y コネクタの下部に接続します。
5. アダプターと Loctite[®] を使用して、チューブの残りの部分を Y コネクタの上部に接続します。
6. チューブの他方の端をドレインに接続します。

手順 4.



- 1** 1/4 インチのコンビネーション・レンチを使用して、エアフィルターとレギュレーターのプラグのひとつを 5/16 インチバープ継手に置き換えます。
- 2** サポートセンターからの黄色いチューブを、エアフィルターとレギュレーターのバープ継手に接続します。

規制情報および保証

当局から指定された規制に関する情報と A-dec の保証については、『*規制情報、仕様および保証*』（部品番号 (P/N) 86.0221.05) に記載されています。この文書は、www.a-dec.com のリソースセンターから入手できます。



このドキュメントをオンラインでご覧になるには、左の QR コードをスキャンまたはタップ、クリックしてください。以下のリンクに移動します。
a-dec.com/regulatory-guide

Loctite および Loctite 411 は Henkel IP & Holding GmbH の米国における商標または登録商標であり、その他の国においても商標または登録商標である可能性があります。本書に記載されているその他の商標はすべて A-dec, Inc. の米国における登録商標または商標であり、その他の国においても商標または登録商標である可能性があります。



A-dec 本社

2601 Crestview Drive
Newberg, OR 97132 USA
電話：1.800.547.1883 米国 / カナダ国内
電話：+1.503.538.7478 米国 / カナダ国外
www.a-dec.com

A-dec, Inc. は本書の内容について、商品性および特定用途への適合性の黙示的保証を含む（ただしこれに限定されない）一切の保証を行いません。